TOSHIBA
Leading Innovation >>>

CELL REGZA

ハードディスク内蔵
地上·BS·110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ

46XE2/55XE2/55X2

取扱説明書	操作編



■ 最初に別冊の「準備編」をお読みください。
■ 本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
■ 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

もくじ

過去の番組を見る ～ タイムシフトマシン～

録画・予約をする 47

再生する 58

編集・ダビングする 65

接続機器の映像・音声を楽しむ(レグザリンク) 68

ブロードバンド機能で楽しむ 82

映像・音声を調整する 97

困ったときは 106

その他 121

テレビの楽しみかた

■部屋の明るさは新聞が読める程度で

- 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
  ときどき目を休めましょう。



■音量は適切に

- 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

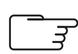
この取扱説明書内のマークの見かた



機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。



用語の説明をしています。（分野によっては、同じ用語を別の意味で使用していることがあります）


関連する内容が記載されているページの番号を示しています。



取扱上のお願いを記載しています。



取扱上のご注意を記載しています。

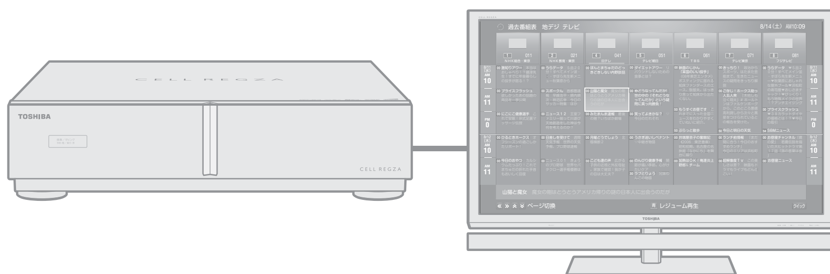


- この取扱説明書は、46XE2、55XE2、55X2で共用です。記載しているモニターのイラストは55XE2のものです。46XE2、55X2はイメージが多少異なります。

本機の特長 ～こんなことができます～

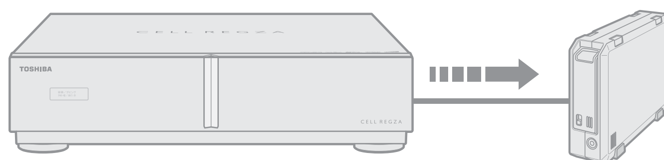
過去の番組を見る ⇨ 42ページ

タイムシフトマシン録画機能で、最大8チャンネルの地上デジタル放送を内蔵ハードディスクに毎日自動的に同時録画することができます。
※自動録画された番組を視聴したり、保存したりすることができます。



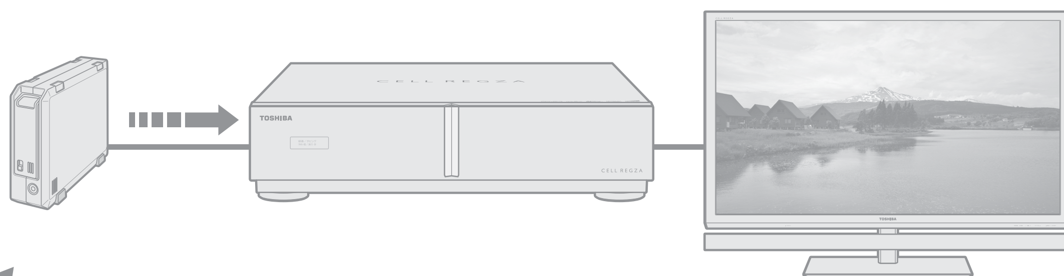
録画する ⇨ 47ページ

内蔵ハードディスクや市販のUSBハードディスクでデジタル放送の録画・予約ができます。



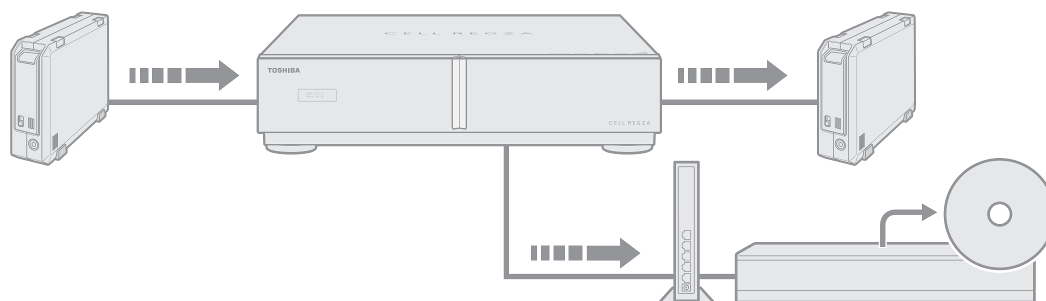
見る ⇨ 58ページ

内蔵ハードディスクや市販のUSBハードディスクに録画した番組の再生ができます。



残す（ダビングする） ⇨ 66ページ

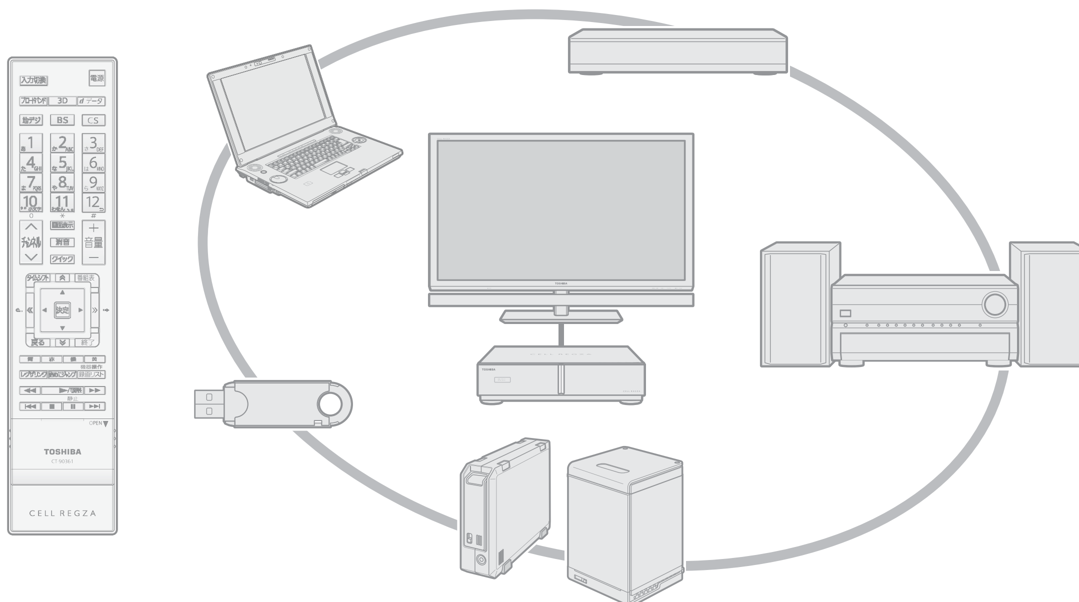
内蔵ハードディスクや市販のUSBハードディスクに録画した番組のダビングができます。



本機の特長 ～こんなことができます～

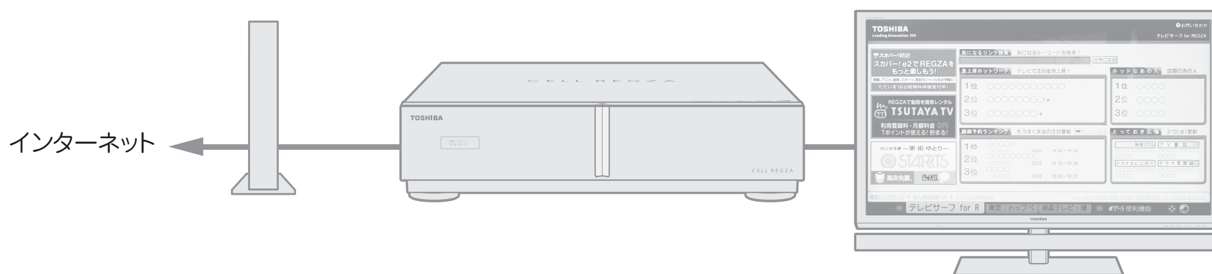
接続機器の映像・音声を楽しむ（レグザリンク） ⇨ 68ページ

HDMI連動機器を本機のリモコンで操作したり、接続機器の動画・静止画・音楽コンテンツを楽しんだりすることができます。

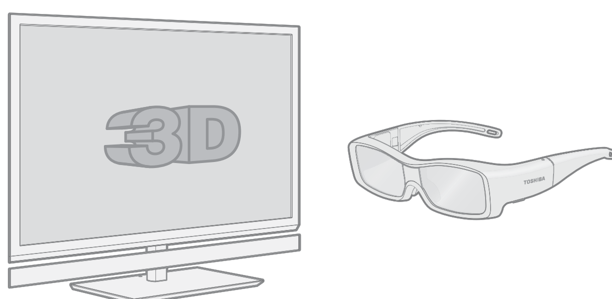


ブロードバンド機能を楽しむ ⇨ 82ページ

本機の汎用ブラウザ「インターネット」でさまざまな情報を見たり、「Yahoo! JAPAN」で情報や画像を探したり、「アクトビラ」、「YouTube」、「T’s TV」、「TSUTAYA TV」、「ひかりTV」などのサービスを利用したりすることができます。



3D映像を楽しむ ⇨ 32ページ



各部のなまえ

● モニターのイラストは55XE2です。46XE2、55X2はイメージが多少異なります。

● 詳しくは[ ]内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています)

チューナー前面

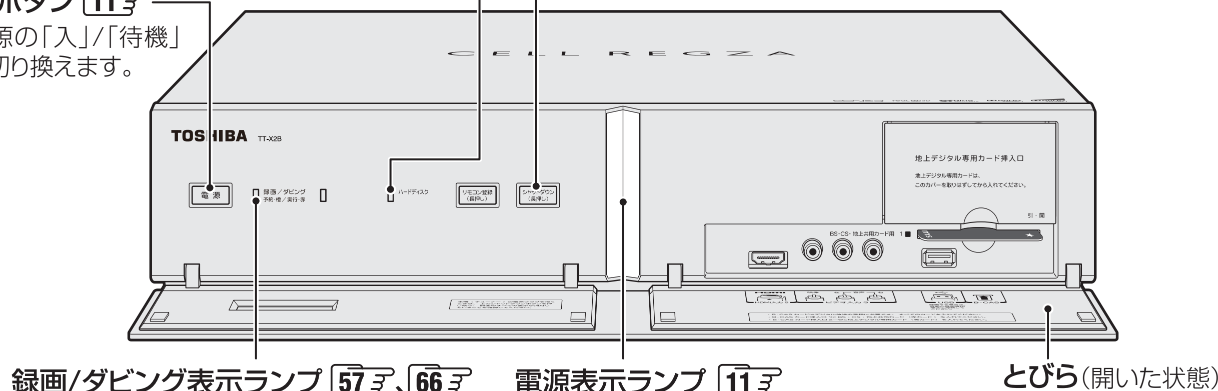
ハードディスク表示ランプ
- 内蔵ハードディスクが動作しているときに青色に点灯します。

! 点灯時は電源プラグを抜かないでください。

シャットダウンボタン
- 本機(チューナー)の電源プラグを抜く場合は、その前にこのボタンを押し続けて、前面の表示ランプがすべて消えるまで待ちます。

! 表示ランプの点灯中に電源プラグを抜くと、故障やコンテンツ消失などの原因になります。

電源ボタン 11
- 電源の「入」/「待機」を切り換えます。



録画/ダビング表示ランプ 57、66

電源表示ランプ 11

とびら(開いた状態)

モニター前面

画面(液晶パネル)

形名表示

色温度センサー 98

オンタイマー表示ランプ 40

スピーカー

3Dグラス用赤外線発信部 32

電源表示ランプ 11

■ オンタイマー

タッチパネル
- 操作したい表示に指先(素手)で触れます。

放送切換　入力切換　− 音量 ＋　▼ チャンネル ▲　■ 電源 ── 入-青/待機-赤

この部分は、この付近にタッチしたときに光って表示されます。
表示が光っているときにタッチすれば、操作ができます。

電源 11
- 「電源」の文字表示にタッチして、電源を入/切します。

チャンネル ▲·▼ 15
- チャンネルを順に切り換えます。

放送切換 15
- 放送の種類を切り換えます。

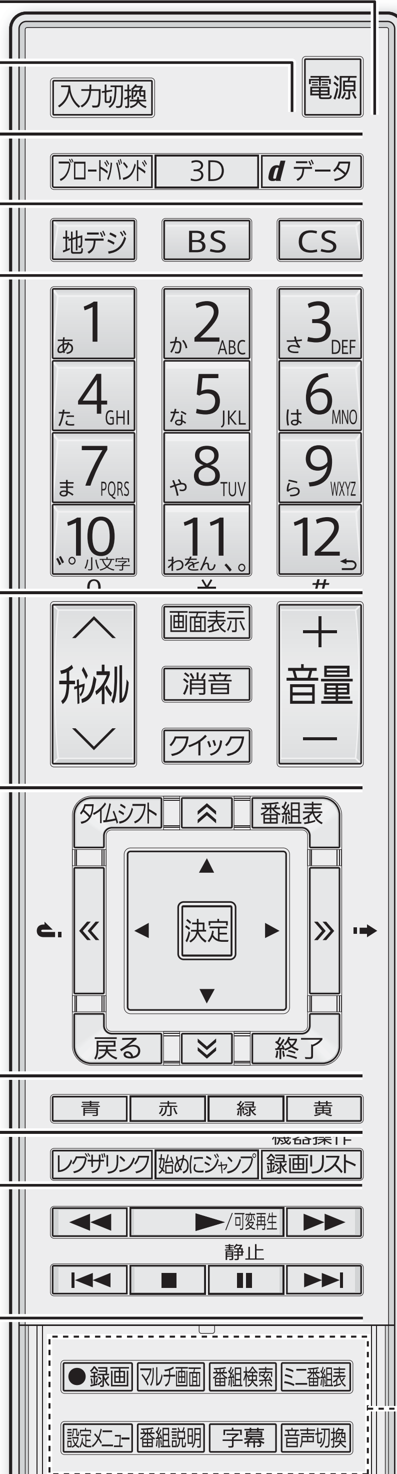
音量 ＋・− 15
- 音量を調節します。

入力切換 30
- 入力を順に切り換えます。

- ヘッドホーン端子はモニターの背面にあります。41

リモコン操作ボタンガイド

- 電源を入れる/待機にする……… 11
- BDやDVDなどを見る/ゲームを楽しむ…… 30
- ブロードバンド機能で楽しむ……… 82
- 3Dメニューを表示させる……… 34
- データ放送を楽しむ……… 17
- 放送の種類を切り換える……… 15
- チャンネルを選ぶ……… 15
- 文字を入力する……… 26
- チャンネルを順番に選ぶ……… 15
- 番組名や放送局名、放送時間などを見る…… 16
- 音を消す……… 15
- クイックメニューを使う……… 13
- 音量を調節する……… 15
- 地デジの過去番組を視聴する……… 42
- 番組表を表示させる……… 18
- メニューから選ぶ、決定する
- メニュー操作で一つ前の画面に戻る
- 操作を終了する
- ワンタッチリプレイ(少し戻す)……… 59
- ワンタッチスキップ(少し進む)……… 59
- カラーボタン………多様な用途があります
- レグザリンクメニューを表示させる……… 58
- 再生番組の始めにジャンプする……… 59
- 録画リストを表示させる……… 59
- 再生、可変速再生をする……… 59
- 早送り、早戻しをする……… 59
- チャプターをスキップをする……… 59
- 録画や再生を停止させる……… 59
- 再生を一時停止させる……… 59
- 映像を静止させる……… 41
- 録画をする……… 49
- マルチ画面で見る……… 31
- 見たい番組を探す……… 22
- ミニ番組表を表示させる……… 19
- 設定メニューを表示させる
- 番組説明を見る……… 16
- 字幕を表示させる……… 15
- 音声を切り換える……… 38



ふたの中のボタン

ふた(開いた状態)
両側の突起部分(◯印)に指をかけて、
矢印の方向へスライドさせます。

基本操作

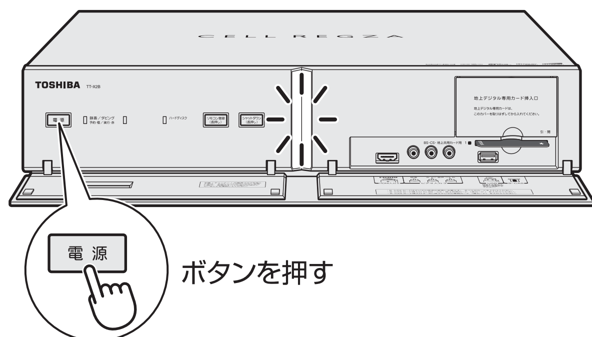
電源を入れる(「入」にする)

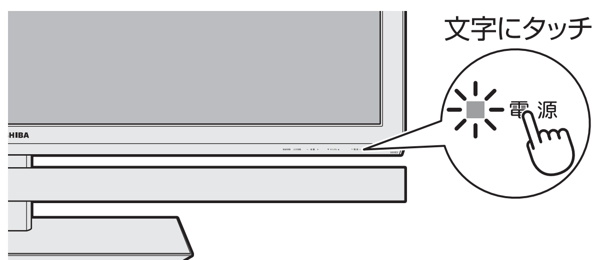
モニターの電源表示ランプが消えているとき

モニターの電源表示ランプが消えているとき、リモコン操作はできません。

❶ **チューナーの電源ボタンを押す、またはモニターのタッチパネルの「電源」にタッチする**

- 電源が「入」になり、チューナーとモニターの電源表示ランプが青色に点灯します。





モニターの電源表示ランプが赤色に点灯しているとき

❶ **リモコンの電源またはチューナーの電源ボタンを押す**

- 電源が「入」になり、チューナーとモニターの電源表示ランプが青色に点灯します。

電源を「待機」にする

❶ **電源が「入」のときに、リモコンの電源またはチューナーの電源ボタンを押す**

- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、モニターの電源表示ランプが赤色に点灯します。(チューナーの電源表示ランプは消灯します)
- リモコンで電源を入れることができます。

電源を切る(「切」にする)

❶ **電源が「入」または「待機」のときに、モニターのタッチパネルの「電源」にタッチする**

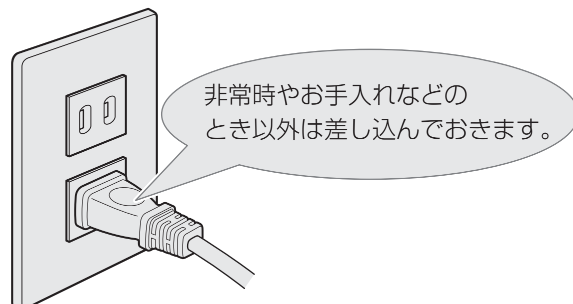
- モニターの電源が「切」になり、電源表示ランプが消灯します。
- チューナーは電源が「待機」になり、電源表示ランプが消灯します。
- リモコンでの操作ができなくなります。

※ チューナーの電源ボタンでは「入」/「待機」の繰り返しになります。「切」にはなりません。

ご注意…電源プラグの取扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 電源プラグは、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。(旅行などで長期間使用しないときはコンセントから抜いてください)



※ 電源プラグを抜いたままにしておくと…
- デジタル放送の番組情報が取得できません。
- タイムシフトマシン録画や予約した録画ができません。
- 外出先からEメールで録画予約をしても、Eメールが届きません。

電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、予約した番組の録画などは、電源が「待機」や「切」の場合でも行われます。

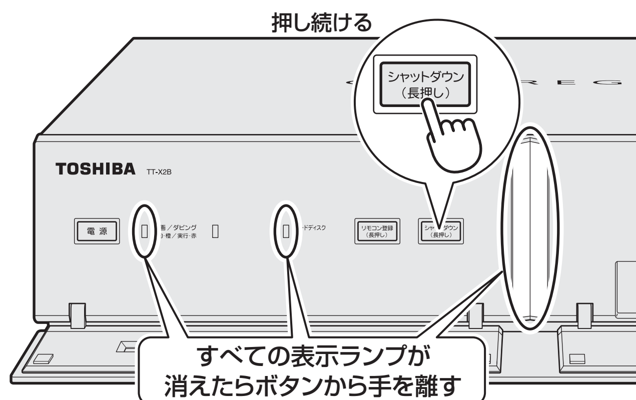
電源プラグを抜く際のご注意と操作

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを切ったりする際は、以下の手順で取り扱ってください。

※ 動作中に電源プラグを抜くと、内蔵ハードディスクが故障したり、すべての録画番組が再生できなくなったりすることがあります。

❶ **チューナー前面の表示ランプがすべて消えるまで、シャットダウンボタンを押し続ける**

❷ **電源プラグをコンセントから抜く、またはコンセントの元につながっているブレーカーを切る**



※ 録画中(通常録画およびタイムシフトマシン録画)やダビング(保存を含む)中に上記❶の操作をした場合、録画番組は途中まで録画したものが残りますが、ダビング先の番組は残りません。

⚠ **万一の異常時には、上記の取扱いではなく、すみやかに電源プラグを抜いてください。**

基本操作 つづき

メニュー操作手順の表記について

- クイックメニューや設定メニューの操作手順については、以下の例のように一部を簡略化して記載しています。
- 操作が終わったときにメニューを消す手順を省略しています。

1 クイック を押す

2 ▲･▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「映像メニュー」を選び、決定 を押す

4 お好みの映像メニューを▲･▼で選び、決定 を押す

5 終わったら、終了 を押す

例 ➡

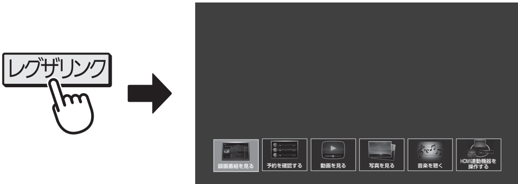
1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む

2 お好みの映像メニューを▲･▼で選び、決定 を押す

- 操作が終わったときに表示されているメニュー画面や確認画面を消すときには、終了 を押してください。

レグザリンクメニューについて

- レグザリンク を押してレグザリンクメニューを表示させ、録画番組の再生や、写真・音楽の再生、HDMI連動機器の基本操作などができます。

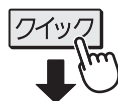


メニュー	機能	ページ
録画番組を見る	内蔵、USBハードディスクの録画番組を視聴することができます。 録画番組のチャプター編集や、削除、保護などをすることができます。 録画番組を他の機器にダビングすることができます。	58 63～66
予約を確認する	予約の確認や削除ができます。 新規予約(日時指定予約)のメニューが呼び出せます。	56
動画を見る	DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーの動画コンテンツを視聴できます。	73
写真を見る	DLNA認定サーバー、USB機器の写真(JPEG)が見られます。	75
音楽を聴く	DLNA認定サーバーの音楽コンテンツ(リニアPCM、MP3)を聴くことができます。	79
HDMI連動機器を操作する	レグザリンク対応のレコーダーやパソコン、オーディオ機器などを本機のリモコンで操作することができます。	69

クイックメニューについて

- クイック を押してクイックメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- クイックメニューの内容は、クイック を押すときの場面によって変わります。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 放送番組などを視聴中



クイックメニュー

クイックメニュー	機　能　（一部省略しています）	ページ
映像設定	お好みの映像メニューを選んだり、お好みの映像に調整したりできます。	97、98
音声設定	お好みの音声メニューを選んだり、お好みの音声に調整したりできます。	103、104
画面サイズ切換	画面の表示サイズを切り換えることができます。	36
３Ｄ表示モード	3D映像の表示モードを切り換えることができます。※1	34
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが次回から毎回録画されるように予約することができます。	51
今すぐニュース	自動録画された最新のニュース番組を視聴します。	62
タイマー機能	タイマー機能を使って電源を切ったり入れたりすることができます。	40
ＣＨ番号入力	3ケタのチャンネル番号を入力して選局することができます。	15
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに、内容を確認します。	121
タイムシフトマシン録画の一時停止	タイムシフトマシン録画を一時停止させたり、再開させたりすることができます。※2	44
その他の操作		

※1 3D映像の2D表示中は、「2D表示モード切換」になります。
※2 タイムシフトマシン録画の停止中は、「タイムシフトマシン録画の再開」になります。

その他の操作

その他の操作	機　能	ページ
信号切換		
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認することができます。	準備編 45
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	17
親切ヘッドホーン音量	ヘッドホーンの音量を調節することができます。（ヘッドホーン接続時）	41
３Ｄ左右映像反転	3D映像の左目用の映像と右目用の映像を入れ替えます。	35
テレビ/ラジオ/データ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	17

信号切換

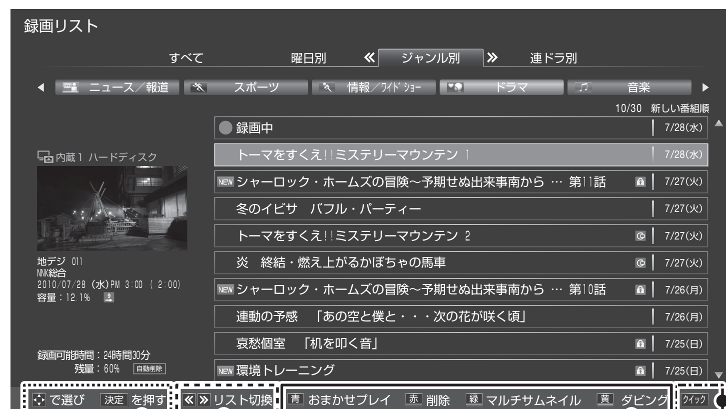
信号切換	機　能	ページ
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	39
音声信号切換	一つの番組で複数の音声が送られている場合に切り換えられます。	39
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	39
データ信号切換	一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り換えられます。	39
字幕切換	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	39
降雨対応放送切換	豪雨などのときに降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	39

基本操作 つづき

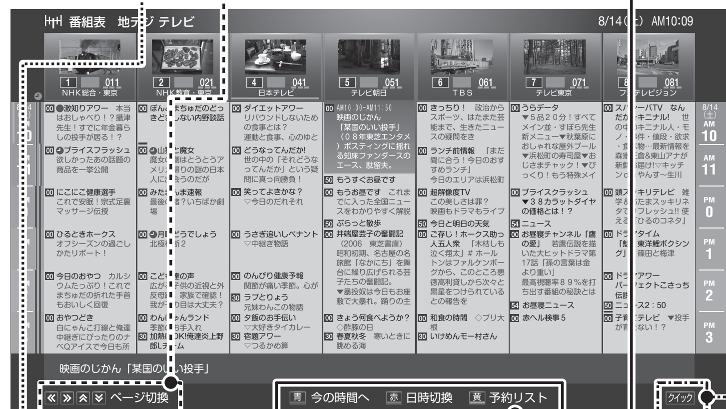
操作ガイドについて

- 番組表、録画リスト、操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青 、 赤 、 緑 、 黄)や クイック に割り当てられています。

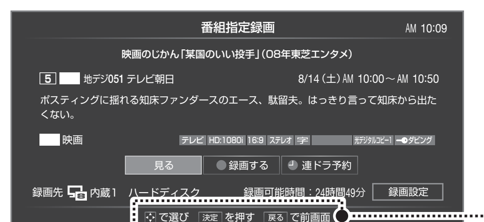
例 録画リスト

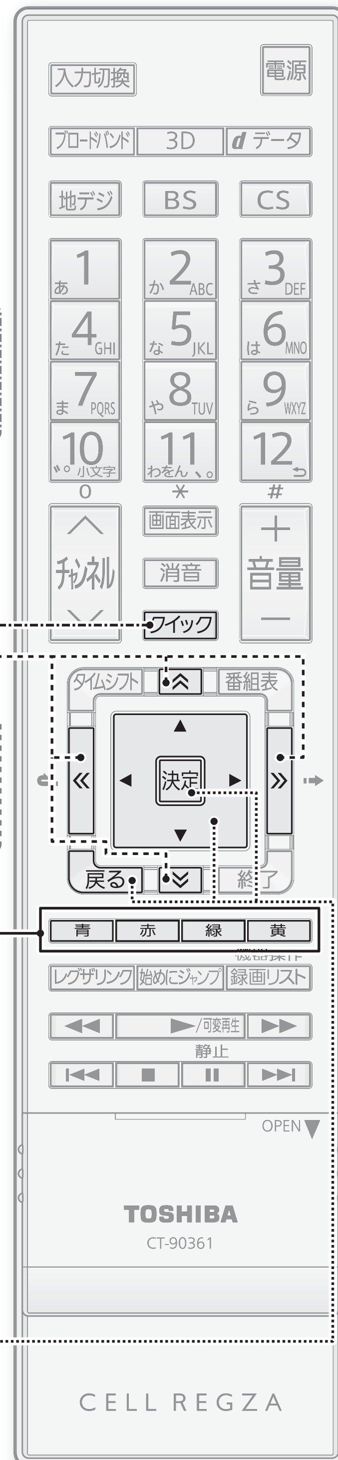


例 番組表



例 操作画面





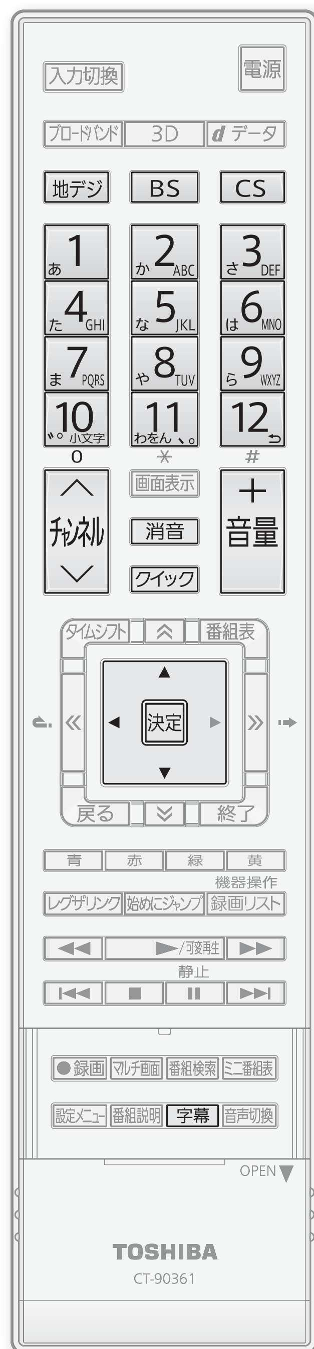
クイック の表示
クイックメニューがあることを示します。

≪ ≫ ⩓ ⩔ の表示
ページやリストの切換えができることを示します。

青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

✥ 決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。

テレビ番組を楽しむ



リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ、BS、CSで放送の種類を選ぶ

● 視聴中の放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。
● モニターのタッチパネルの「放送切換」でも放送の種類が切り換えられます。「放送切換」にタッチするたびに、放送の種類が順に切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

● 以下の3とおりの選局方法があります。

チャンネルボタンで選局する（ワンタッチ選局）

● チャンネルボタン1～12を押して選局します。

チャンネル∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

● チャンネル∧∨またはタッチパネルの「チャンネル▲･▼」でチャンネルが順に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する

❶ クイックを押し、▲･▼で「CH番号入力」を選んで決定を押す
● 選択中の放送の種類に応じて、画面の右上に 地デジ--- または BS--- または CS--- が表示されます。

❷ 1～10(0)でチャンネル番号を入力する
例 014チャンネルを選ぶ場合➡10(0)1 4の順に押す。(「0」は10で入力)
● ＊ボタン(11(＊))を使って、次のように選ぶこともできます。
例 300番台のチャンネルを見たいとき3 11(＊)の順に押します。
・ 入力した番号を消すには、◀を押します。
→ 300番台以降で、放送されている最小番号のチャンネルが選ばれます。

枝番のついた放送一覧が表示されたとき

● ▲･▼で選んで決定を押すか、10(0)～9で枝番(カッコ内の数字)を指定して選びます。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

❶ リモコンの＋音量－を押す、またはタッチパネルの「音量＋・－」にタッチする

音を一時的に消す

❶ リモコンの消音を押す
● 画面右下に 消 音 が表示されます。もう一度消音を押せば音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える(デジタル放送のみ)

❶ リモコンの字幕(ふたの中)を押す


お知らせ

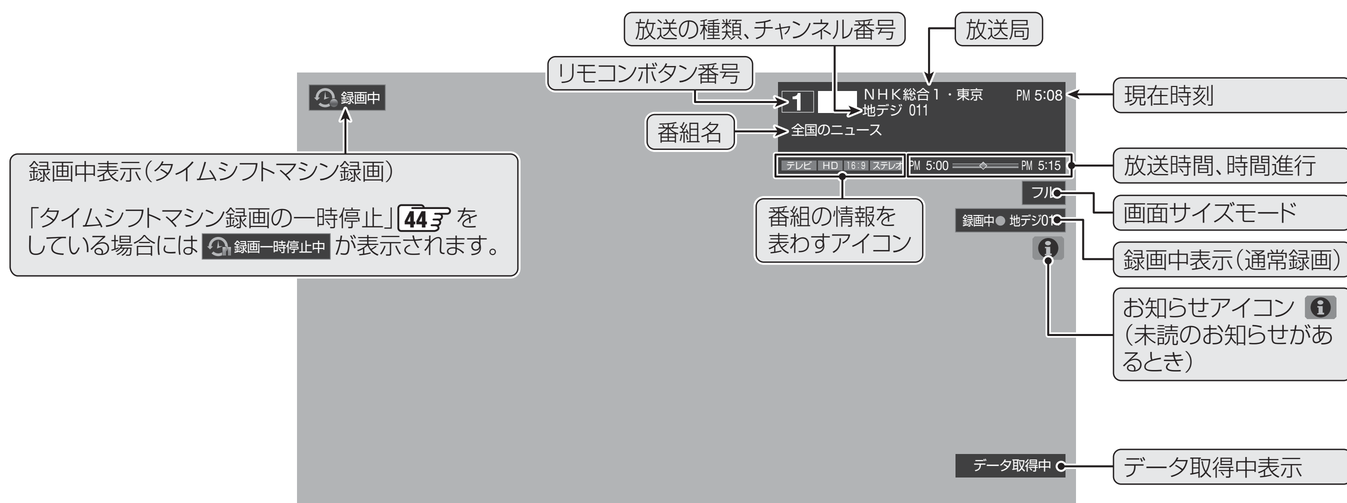
● 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表 18☞ で確認することができます。
● 1～12でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。地デジ難視対策衛星放送のワンタッチ選局ができるようにするなど、設定をお好みに変更する場合は、「チャンネルをお好みに手動で設定する」(準備編 49☞)の操作をしてください。
・ 地デジを押したとき→「はじめての設定」(準備編 40☞)で各ボタンに登録されたチャンネル
・ BSを押したとき→BSデジタル放送の各チャンネル
・ CSを押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(1と2のみ)
◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルが順番に選べます。
● 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います。(番号順にならない場合があります)
● 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
● お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した(準備編 91☞)直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。
● 本機はペイ・パー・ビュー放送(PPV放送：番組単位で料金を支払う放送)およびアナログ放送には対応していません。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

● 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。（数秒後にチャンネル以外の表示は消えます）
● すべての表示を消すには、もう一度 画面表示 を押してください。
● 選局時には一部省略された状態で表示されます。



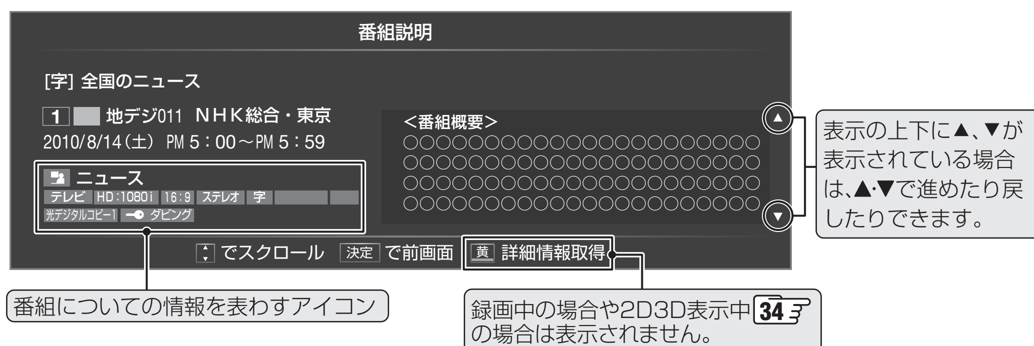
番組説明を見る

1 番組説明（ふたの中）を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

● 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、 黄 を押します。
- 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
- 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定を押す





● 画面に表示されるアイコンについての説明は、「アイコン一覧」128 をご覧ください。
● 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
● 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
● 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

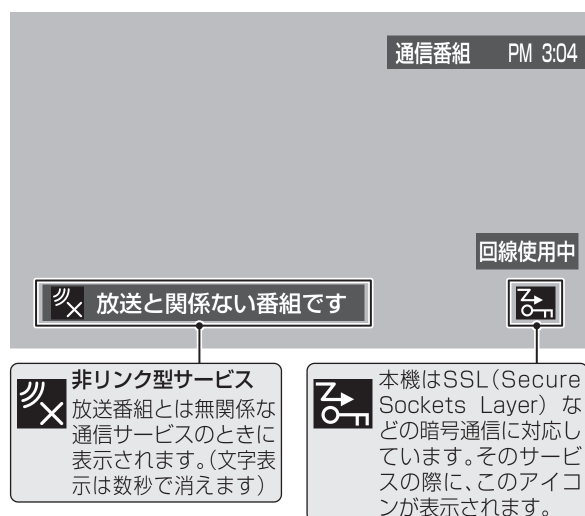
データ放送を楽しむ

データ放送について

● デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
● データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

● 電話回線やインターネットを利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
● 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



ラジオ放送について

● 2010年9月現在、ラジオ放送は運用されておりません。
● ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

● 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
● テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 放送番組の視聴中に［d データ］を押す
● 番組によっては押す必要がない場合があります。
● 画面に表示されるメニューや操作ガイドに従って操作をしてください。

2 データ放送を終了するには、［クイック］を押し、▲･▼と［決定］で「その他の操作」⇨「データ放送終了」の順に進む
● 番組によっては、もう一度［d データ］を押した場合にもデータ放送が終了します。

独立データ放送を楽しむ

● BSデジタル放送などで行われている独立データ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送番組の視聴中に［クイック］を押し、▲･▼と［決定］で「その他の操作」⇨「テレビ/ラジオ/データ切換」の順に進む

2 ▲･▼で「データ」を選び、［決定］を押す
● ラジオ放送が運用された場合には、「ラジオ」を選択することもできます。
● ［チャンネル∧∨］で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
● データ放送の視聴を終了するには、「テレビ」を選びます。


● 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。
● 放送画面の操作説明などで、［d データ］は「データボタン」「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
● モニターのタッチパネルでは、データ放送の選択やチャンネル切換はできません。

■ 双方向サービスについて
● 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定(準備編 74、75)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申込みなどが必要な場合があります。
● インターネットを利用した双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていないことがあります。
● 録画中は、データ放送には切り換えられません。
● テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
● 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

見たい番組を探す

番組表で探す

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは 地デジ 、 BS 、 CS のどれかを押します。
- データ放送の番組表を見るときは、クイックメニュー操作で「データ」を選びます。 21

2 現在放送中の番組を▲･▼･◀･▶で選ぶ

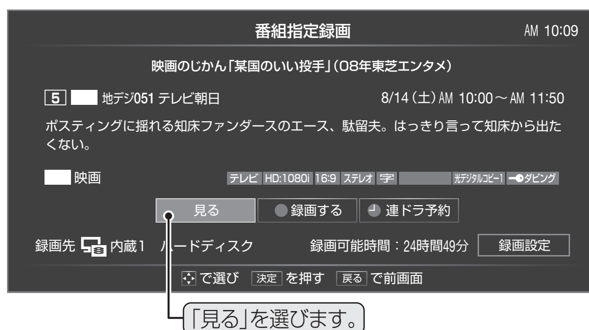
- 番組説明を見るには、 番組説明 (ふたの中)を押します。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには|≪|･|≫|を押します。

3 決定 を押す

- テレビ放送番組を選んだ場合は、「番組指定録画」画面が表示されます。手順**4**の操作をします。
- データ放送番組を選んだ場合は、そのチャンネルに切り換わります。

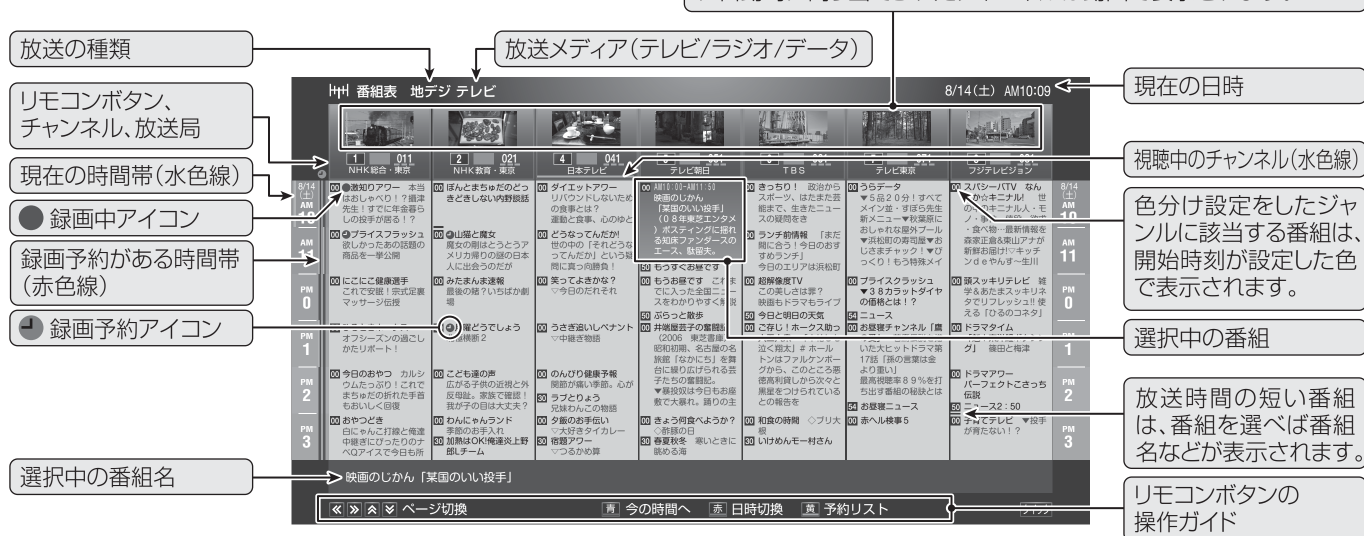
※ これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面になります。 50 の手順**3**以降をご覧ください。

4 ▲･▼･◀･▶で「見る」を選び、 決定 を押す



- 選んだ番組の放送画面になります。

［番組表画面： 地デジ7チャンネル･6時間表示の例**］**



お知らせ

■ 番組表、ミニ番組表(次ページ)について

- テレビを視聴している条件などによっては番組表やミニ番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」 19 の操作をしてください。
- 番組表やミニ番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。(チャンネル数や番組情報量によって異なる場合があります)
- 「チャンネルスキップ設定」(準備編 50)で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- 番組表やミニ番組表で予約済番組を選ぶと、予約内容の確認や予約の取消しなどができます。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表やミニ番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表やミニ番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 地上デジタル放送の番組表の動画表示チャンネルは、「マルチ画面チャンネル設定」(準備編 80)で変更することができます。
- 番組の中止･変更･延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表やミニ番組表、番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

番組を見ながら他の番組を探す

● 2時間分の番組表で番組を選べます。

1 ミニ番組表（ふたの中）を押す

● ミニ番組表が表示されます。

● 操作は前ページの番組表の場合と同じです。



番組表やミニ番組表を便利に使う

● 番組表やミニ番組表が表示されているときに、リモコンのカラーボタンやクイックを押してさまざまな操作をすることができます。

今の時間帯の番組表を表示させる

● 数日先の番組表を見ているときなどに、簡単に今の時間帯の番組表に戻ることができます。

1 青を押す

● 今の時間帯の番組表に戻ります。

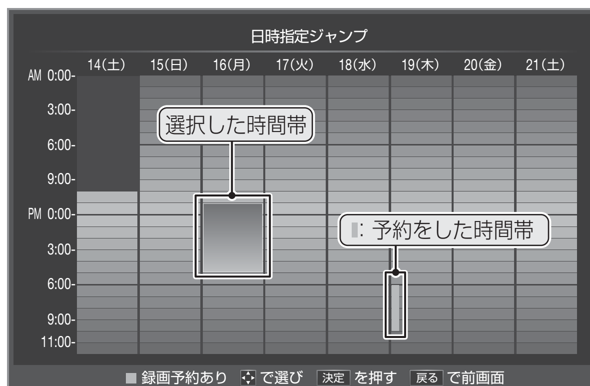
指定した日時の番組表を表示させる

● ミニ番組表ではこの操作はできません。

1 赤を押す

● 現在から7日後までの日時指定画面が表示されます。

2 表示させたい日時を▲·▼で選び、決定を押す



● 選んだ日時の番組表が表示されます。

予約の内容を確認する

● 予約内容を一覧画面で確認することができます。

1 黄を押す

● 予約リストが表示されます。



● 予約番組を▲·▼で選んで決定を押すと、予約内容を確認したり、予約を取り消したりできます。56をご覧ください。

● 青を押すと、「日時指定予約画面」52を表示させることができます。

番組表を更新する

1 クイックを押し、▲·▼で「番組情報の取得」を選んで決定を押す

● 番組情報の取得が始まります。

番組情報の取得中に表示されます。



※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。

※ 録画中は番組情報の取得ができません。

◇ 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。

◇ BSデジタル放送の場合は番組表全体が更新されます。将来、放送の運用が変更された場合は、選択中の番組を含むTS（トランスポートストリーム）の番組だけが更新されます。

◇ 110度CSデジタル放送の場合は、選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。

● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中にクイックを押し、▲·▼で「番組情報の取得中止」を選んで、決定を押します。

用語

■ TS（Transport Stream: トランスポートストリーム）
多重信号形式の一つで、デジタル放送の多重化信号として採用されています。

■（放送の）ネットワーク
デジタル放送の放送の単位。チャンネルや番組についての情報は、このネットワークごとに送られてきます。

見たい番組を探す つづき

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

● BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送のみ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、クイックを押す

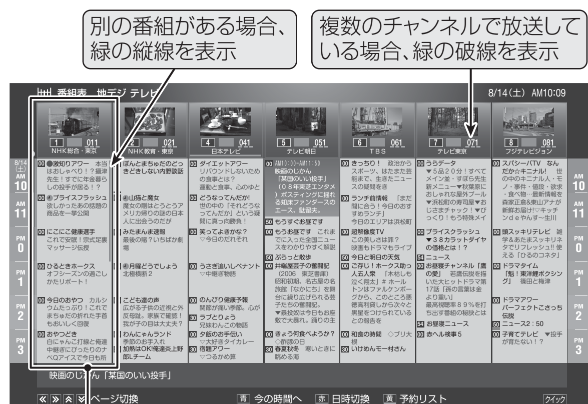
2 ▲·▼で「マルチ表示」（または「1チャンネル表示」）を選び、決定を押す

● メニューには現在の番組表の表示とは逆のモード（「マルチ表示」、「1チャンネル表示」のどちらか）が表示されています。

●「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

別の番組がある場合、緑の縦線を表示

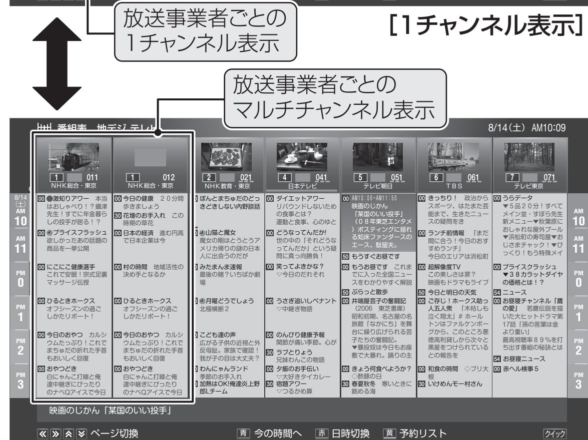
複数のチャンネルで放送している場合、緑の破線を表示



放送事業者ごとの1チャンネル表示

［1チャンネル表示］

放送事業者ごとのマルチチャンネル表示



［マルチ表示］

文字サイズを大きくする

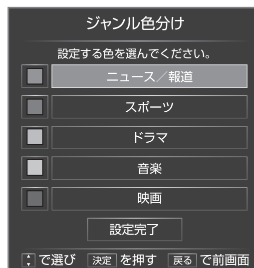
1 クイックを押し、▲·▼で「文字サイズ変更」を選び、決定を押す

2 希望の文字サイズを▲·▼で選び、決定を押す

ジャンル別に色分けする

1 クイックを押し、▲·▼で「ジャンル色分け」を選んで決定を押す

2 設定する色を▲·▼で選び、決定を押す



3 ▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定を押す

4 ▲·▼で「設定完了」を選び、決定を押す

番組記号の説明を見る

1 クイックを押し、▲·▼で「番組記号一覧」を選んで決定を押す

● 番組記号の説明が表示されます。

● 表示されるのは番組記号の一部です。

● 見終わったら、決定を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

● 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「番組表表示設定」⇨「表示チャンネル数設定」の順に進む

2 表示させるチャンネル数を▲·▼で選び、決定を押す

表示させる時間数を設定する

● 番組表に表示させる時間数を切り換えることができます。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「番組表表示設定」⇨「表示時間数設定」の順に進む

2 表示させる時間数を▲·▼で選び、決定を押す



■ ジャンル色分けの変更について

● 複数の色に同じジャンルを登録することはできません。

● この設定は、放送の種類や放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）に対して共通の設定になります。

番組概要の表示/非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「番組概要表示設定」の順にむ

2 ▲·▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

● 地上デジタル放送の番組表内の放送局の表示位置を設定します。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「番組表表示設定」⇨「地デジ表示設定」の順に進む

2 ▲·▼で以下のどちらかを選び、決定 を押す

- **視聴チャンネル中央表示**…視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- **チャンネル順優先表示**…お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

「今すぐニュース」の番組を登録する

● 「今すぐニュース」62 の機能で自動録画する番組を登録することができます。

※ 「日時指定予約」52 と同じ動作になります。番組が変更された場合は、変更された番組が録画されます。

1 登録するニュース番組を▲·▼·◀·▶で選択する

● 決定 は押さないでください。

2 クイック を押し、▲·▼で「今すぐニュース番組登録」を選んで 決定 を押す

3 必要に応じて、▲·▼で録画日を指定して 決定 を押す

● 「毎日」/「月～土」/「月～金」/「月～木」/「毎週(土)」… 「毎週(日)」などの指定ができます。

4 登録された内容を確認し、終了 を押す

● 登録された番組の取消しや、自動録画の曜日指定などをする場合は、「録画再生設定」の「今すぐニュース番組の登録」の表内に記載された手順を参照し、操作してください。

番組表の放送メディアを切り換える

● 番組表に表示させる放送メディア(ラジオ、テレビ、独立データ)を選びます。

1 クイック を押し、▲·▼ で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で放送メディアを選び、決定 を押す

● 選択したメディアの番組表になります。
● 「ラジオ」は、ラジオ放送が運用されている場合に選択できます。

条件を絞りこんで番組を探す

● 見たい番組を探し出して視聴したり、録画予約をしたりすることができます。
※ タイムシフトマシン録画番組や、通常の録画・予約機能で録画した番組を検索することもできます。それぞれの章で相違点を説明します。

1 **番組検索（ふたの中）を押す**
●「番組検索」メニューが表示されます。

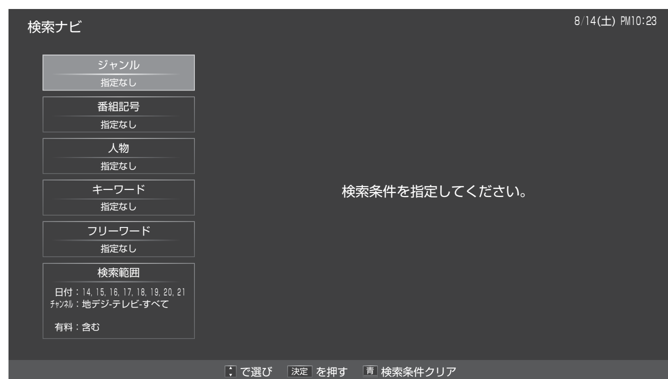
2 **検索に使うメニューを◀·▶で選び、決定を押す**



- **ローミングナビ**…注目する番組に関連する番組の中から、気になる番組を探します。
- **検索ナビ**……………検索条件を設定して目標の番組を絞り込んで探します。
- **3D検索ナビ**………検索ナビと同様です。3D番組だけを検索します。

検索ナビで探す

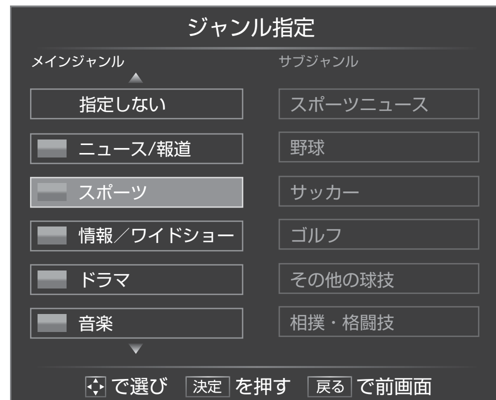
● 検索ナビが起動すると、検索ナビメイン画面が表示されます。
● 左側に検索条件指定タブが表示されます。
※ 検索ナビを終了するには 終了 を押します。



1 **▲·▼で検索条件のメニューを選び、決定を押す**

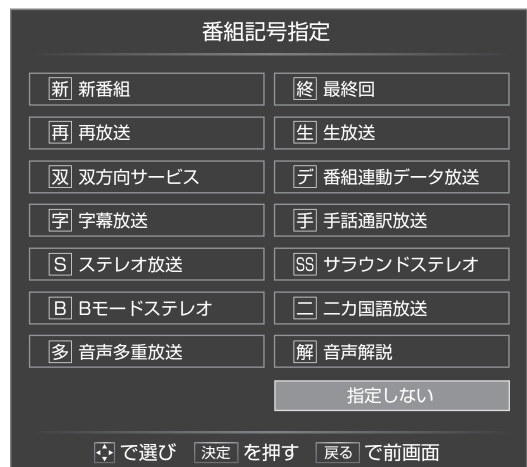
2 **以下の操作で検索条件を指定する**
● より多くの条件を指定するほど、検索結果が絞り込まれます。
● 番組情報に含まれるジャンル情報、番組記号、文字列などを基にして検索が行われます。

ジャンル（分野）を指定するとき



❶ **▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定を押す**
● 左側のメインジャンルの欄を▲·▼で移動すると、そのジャンルのサブジャンルが右側に表示されます。サブジャンルから選択するときは、▶でサブジャンルの欄に移動して▲·▼を操作します。
● メインジャンルを選んで決定を押した場合は、メインジャンルに含まれるサブジャンルも検索対象となります。
● サブジャンルを選んで決定を押したほうが絞込範囲が狭くなります。

番組記号を指定するとき



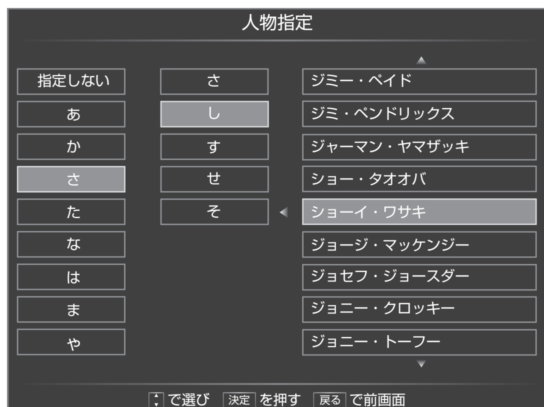
❶ **▲·▼·◀·▶で番組記号を選び、決定を押す**



● 番組情報がない場合は、検索できません。
● チャンネル数や番組情報量によっては、検索できない場合があります。
● 検索ナビで表示される人物ならびにキーワードは、番組情報から当社独自の方法で抽出したものです。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。

人物を指定するとき

- 番組情報から、本機が人物と判断した情報が指定候補として表示されます。
- 表示される人物は、実際の読みと異なる場合があります。



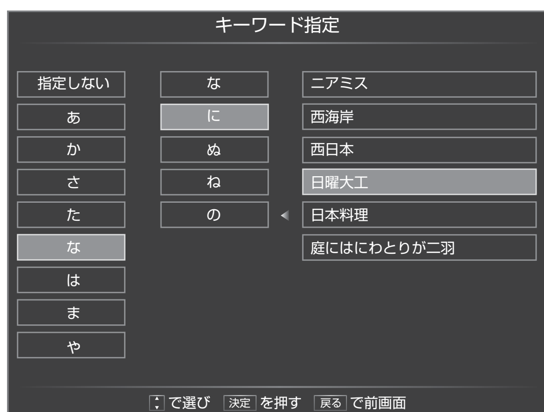
❶人物の読みの先頭文字が含まれる行を左側の欄から▲･▼で選び、▶を押す

❷中央の欄から人物の読みの先頭文字を▲･▼で選び、▶を押す

❸人物を▲･▼で選び、決定を押す

キーワードを指定するとき

- 番組情報から、本機がキーワードと判断した情報が指定候補として表示されます。
- 操作手順は、上記の人物を指定する場合と同様です。



フリーワードを指定するとき

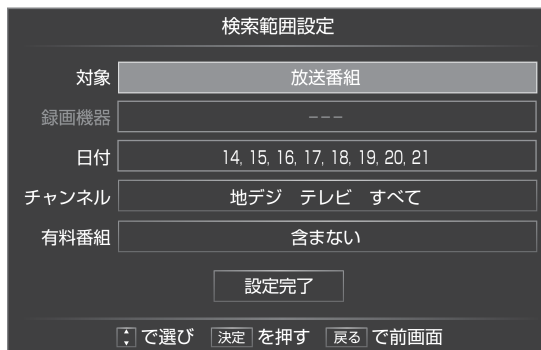
- 文字入力画面が表示されます。



❶フリーワードを入力する
- 文字入力のしかたは26☞をご覧ください。
- 全角、半角ともに15文字まで入力できます。

検索範囲を指定するとき

- 検索範囲設定画面が表示されます。



対象を指定する

❶▲･▼で「対象」を選び、決定を押す

❷▲･▼で「放送番組」を選び、決定を押す

日付の範囲を指定する場合

❶▲･▼で「日付」を選び、決定を押す

❷▲･▼･◀･▶で日付を選び、決定を押す
- 決定を押すたびに☑と☐が交互に切り換わります。指定する日付に✔がつくようにします。

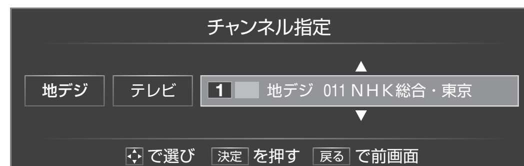


❸対象の日付をすべて選んだら、▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選んで決定を押す

チャンネルの範囲を指定する場合

❶▲･▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷◀･▶で欄を選び、▲･▼で設定する
- **左の欄(放送の種類)**
  すべて／ BS ／ CS ／地デジ
- **中央の欄(放送メディア)**
  すべて／テレビ／ラジオ／データ
- **右の欄(チャンネル)**
  すべて／任意のチャンネル



❸決定を押す

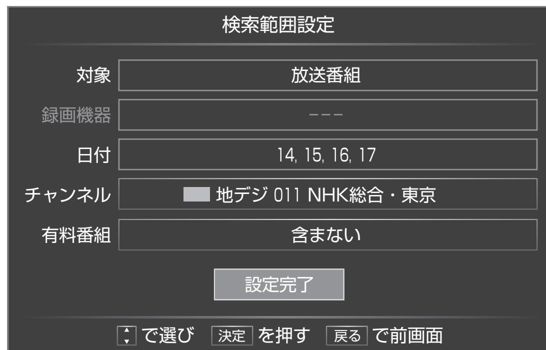
有料番組を指定する場合

❶▲･▼で「有料番組」を選び、決定を押す

❷▲･▼で「含む」または「含まない」を選び、決定を押す
- 地デジ難視対策衛星放送を検索する場合は、「含む」に設定してください。

条件を絞りこんで番組を探す つづき

3 ▲·▼で「設定完了」を選んで決定を押す



4 検索結果から、見たい番組を▲·▼で選んで決定を押す

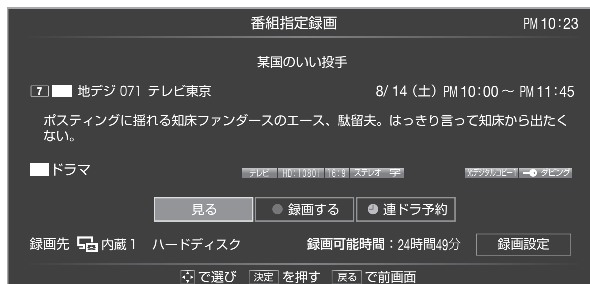


- データ放送番組を選択した場合は、そのチャンネルに切り換わります。
- テレビ放送番組を選択した場合は、手順***5***の操作をします。

5 選んだ番組を以下の操作で見る、または録画・予約する

現在放送中の番組を選んだ場合

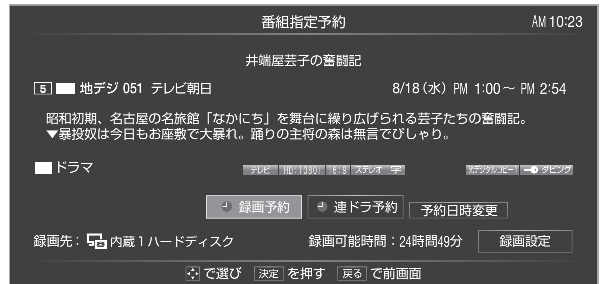
- 「番組指定録画」画面が表示されます。



- 視聴する場合は、◀·▶で「見る」を選んで決定を押します。
- 録画する場合は、「番組表で録画・予約をする」50の手順***3***以降をご覧ください。

これから放送される番組を選んだ場合

- 「番組指定予約」画面が表示されます。



- 「番組表で録画・予約をする」50の手順***3***以降をご覧ください。

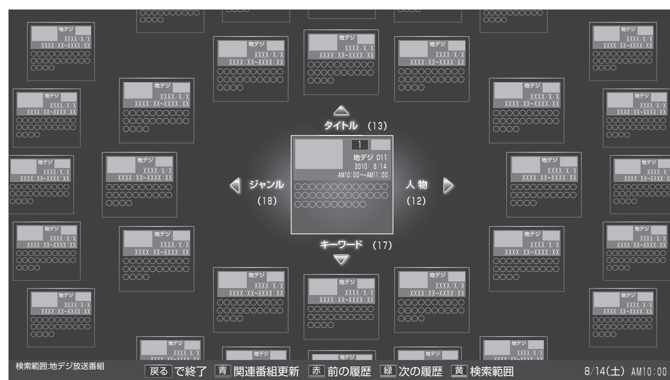
3D検索ナビで探す

- 使いかたは検索ナビと同様ですが、3D番組の検索だけを探します。フリーワードは「3D」に設定されていて、変更することはできません。

ローミングナビで探す

● ローミングナビは、視聴中の番組、番組表で選択中の番組、検索ナビの検索結果から選択した番組などを注目番組として、それに関連する番組を検索する機能です。
● 画面の中央に注目番組が表示され、その周囲を取り巻くように関連番組が表示されます。
- 左側にジャンルに関連性のある番組が表示されます。
- 右側に人物に関連性のある番組が表示されます。
- 上側に番組名に関連性のある番組が表示されます。
- 下側に人物以外のキーワードに関連性のある番組が表示されます。姓だけの人名が表示されることがあります。

※ ローミングナビを終了するには終了を押します。



検索範囲を指定する

❶ 黄 を押す

❷ ▲·▼で「対象」を選択し、決定を押す

❸ ▲·▼で「放送番組」を選択し、決定を押す

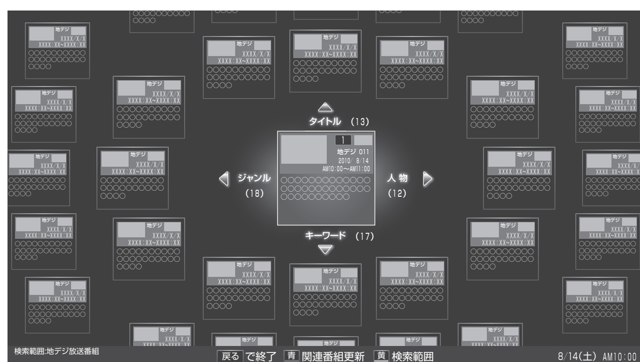
❹ ▲·▼で「チャンネル」を選択し、決定を押す

❺ ▲·▼で「地デジ」、「BS」、「CS」のどれかを選択し、決定を押す

❻ ▲·▼で「有料番組」を選択し、決定を押す

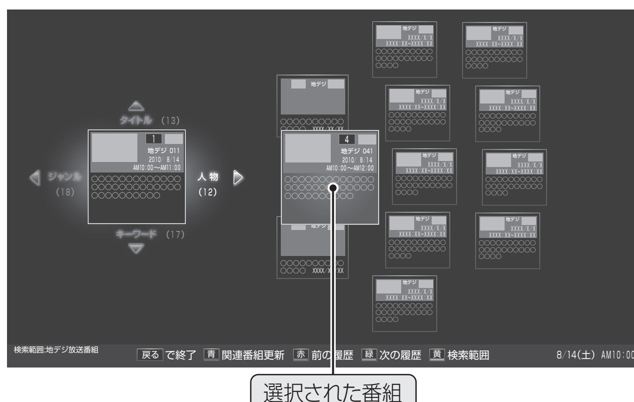
❼ ▲·▼で「含む」または「含まない」を選択し、決定を押す
● 地デジ難視対策衛星放送を検索する場合は、「含む」に設定してください。

❽ ▲·▼で設定完了」を選択し、決定を押す
● 検索結果が表示されます。



番組を選択する

❶ ▲·▼·◀·▶を操作する
● 選択された番組が大きく表示されます。
● 内側から2周目に表示された番組を選択すると、その軸だけの表示になります。(選択した軸の関連番組が画面内に表示しきれていないときは、さらに▲·▼·◀·▶を操作します)



番組説明を見る

❶ 番組説明(ふたの中)を押す
● 選択中の番組の番組説明画面が表示されます。
● 番組説明画面を消すには、もう一度番組説明を押します。

関連番組から注目番組を選ぶ

❶ 注目番組にする関連番組を選び、青 を押す
● 選択した関連番組が注目番組として中央に配置され、新たな注目番組に対する関連番組が周囲に配置されます。
● 注目番組を選択して 青 を押すと、関連番組が更新されます。
● 必要に応じてこの操作を繰り返し、気になる番組を探します。

前または次の履歴を見る

● 注目番組入替えの履歴がある場合に操作できます。

❶ 赤 (前)または 緑 (次)を押す
● 一つ前または一つ次の注目番組で再検索した結果が表示されます。
※ 記憶される注目番組の履歴の数は最大10で、この範囲で切り換えることができます。
※ 履歴は、ローミングナビ終了時に消去されます。

選んだ番組を見る、または録画・予約する

❶ 番組が決まったら、▲·▼·◀·▶で選んで決定を押す
● 以降の動作および操作は、検索ナビの場合の手順***5***と同じです。



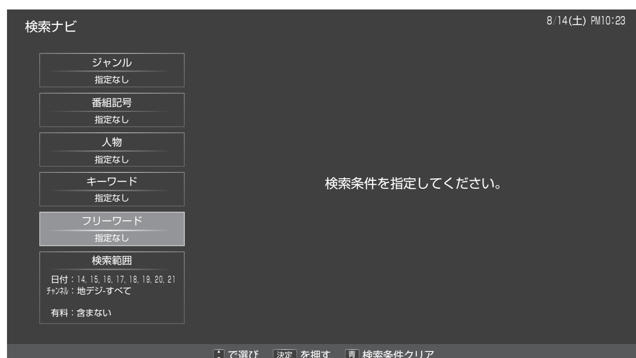
● ローミングナビ機能の関連番組は、各番組の番組情報などを当社独自の方法で解析した結果に基づき、当社独自の関連性評価技術を利用して表示されます。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。
● ローミングナビ機能で表示される人物ならびにキーワードは、番組情報を当社独自の方法で解析したもので、人物とキーワードを区別できない場合があります。

文字を入力する

文字入力の手順について

● 文字入力が必要な設定や操作をすると、文字入力画面が表示されます。

● たとえば、「検索ナビ」22 で検索条件として「フリーワード」を指定するときには、以下の手順で文字を入力します。

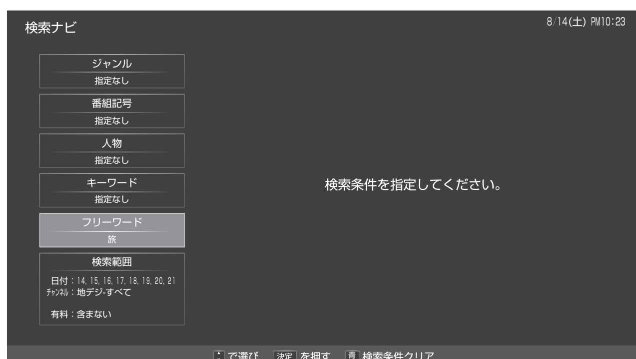


- フリーワード入力欄を選んで決定を押すと、文字入力画面が表示されます。

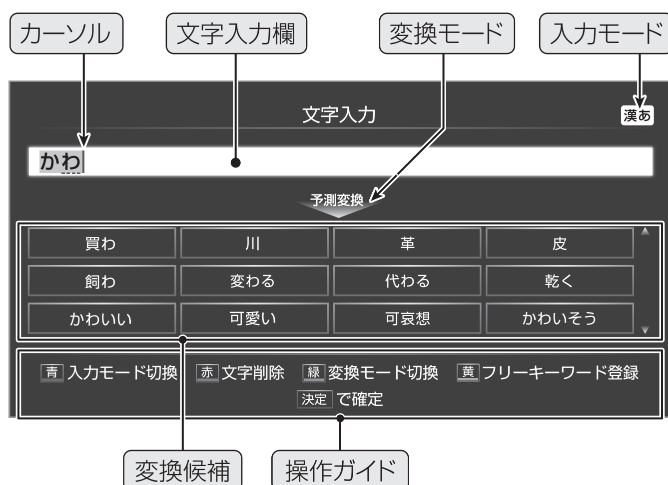
- リモコン操作で文字を入力し、終わったら決定を押します。文字入力の操作については、次ページ以降をご覧ください。



- 「検索ナビ」の画面に戻り、入力した文字がフリーワードの検索条件欄に表示されます。



文字入力画面の構成について



● **カーソル**
文字入力位置が縦の線で表示されます。

● **変換モード**（次ページ）
選択されている変換モードが表示されます。

● **文字入力欄**
入力した文字が表示されます。この中で入力・確定した文字が、元の操作場面（「検索ナビ」など）に引き継がれます。

● **入力モード**（次ページ）
選択されている入力モードが表示されます。

● **変換候補**
入力した文字に対する変換候補が表示されます。

● **操作ガイド**
リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。

変換モードを切り換える

● 本機には2種類の文字変換モードがあります。文字入力をしているときに、必要に応じて切り換えられます。
● 変換モードを切り換えるには、緑を押します。
緑を繰返し押すたびに、「予測変換モード」と「文節変換モード」が交互に切り換わります。
● 初期状態は「予測変換モード」です。「文節変換モード」に切り換えていた場合でも、文字入力を終了したときにリセットされます。

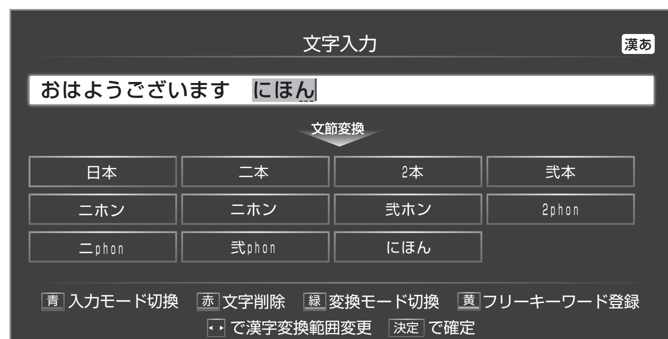
予測変換モード

● 文字入力の途中で、予測可能な範囲の変換候補が表示されます。最後まで入力しなくても、目当ての候補があれば選択することができます。
例 「にほ」まで入力した時点で予測できる候補が自動的に表示される。



文節変換モード

● 文節単位で変換候補から選択します。
例 「にほん」まで入力したら▼を押して候補を表示させる。



入力モードを切り換える

● 青を押すたびに入力モードが切り換わります。

入力モード	表示	入力できる文字
漢字変換モード	「漢あ」	ひらがな
全角カナモード	「カナ」	カタカナ
全角英字モード	「ａＡ」	全角の英字、数字
		全角の記号
半角英字モード	「abAB」	半角の英字、数字
		半角の記号
全角数字モード	「１２」	全角の数字
半角数字モード	「1234」	半角の数字
全角記号モード	「全角記号」	全角の記号
半角記号モード	「半角記号」	半角の記号
定型文モード	「定型文」	次ページ参照
フリーキーワード	ユーザー登録キーワード呼出	

● 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」、「定型文」、「フリーキーワード」のときには、入力する記号や文字列を変換候補（選択候補）の欄から選びます。
※ 文字入力にジャンプする前の操作内容によって、入力モードが決まっていたり、選択できるモードが制限されたりすることがあります。

文字を挿入したり削除したりする

文字を挿入する

● 文字を挿入する場所に◀·▶でカーソルを移動させて、文字を入力します。

文字を削除する

● 赤を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字が削除されます。

文字列が確定されている場合に赤を押し続けたとき

カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字がすべて削除されます。
カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

スペースを入力する

● 次ページ記載の11で入力する方法のほかに、緑で入力することもできます。ただし、漢字変換モード「漢あ」で、未確定文字があるときは緑でのスペース入力はできません。（緑でスペース入力ができる状態のとき、操作ガイドは 緑 スペース入力 に変わります）

テレビを見る　文字を入力する

文字を入力する つづき

入力できる文字

リモコンボタン	文字入力モード															
	漢字変換					全角カナ					英字					数字
1	あ	い	う	え	お	ア	イ	ウ	エ	オ	1	2	3	4	5	1
	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	6	7	8	9	0	
2	か	き	く	け	こ	カ	キ	ク	ケ	コ	a	b	c			2
						ヵ	ヶ				A	B	C			
3	さ	し	す	せ	そ	サ	シ	ス	セ	ソ	d	e	f			3
											D	E	F			
4	た	ち	つ	て	と	タ	チ	ツ	テ	ト	g	h	i			4
	っ					ッ					G	H	I			
5	な	に	ぬ	ね	の	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	j	k	l			5
											J	K	L			
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	m	n	o			6
											M	N	O			
7	ま	み	む	め	も	マ	ミ	ム	メ	モ	p	q	r	s		7
											P	Q	R	S		
8	や	ゆ	よ			ヤ	ユ	ヨ			t	u	v			8
	ゃ	ゅ	ょ			ャ	ュ	ョ			T	U	V			
9	ら	り	る	れ	ろ	ラ	リ	ル	レ	ロ	w	x	y	z		9
											W	X	Y	Z		
10	゛	゜				゛	゜				小文字変換					0
	小文字変換					小文字変換										
11	わ	を	ん	ゎ	、	ワ	ヲ	ン	ヮ	、	※1					*
	。	ー	␣(スペース)			。	ー	␣(スペース)								
12	※2 逆方向へ入力					※2 逆方向へ入力					※2 逆方向へ入力					#

● スペース(空白文字)は、11(または全角記号モード、半角記号モードで選択)で入力します。(文字入力欄でカーソルを移動するだけでは、スペースが入力されたことにはなりません)

※1

全角英字モードの場合											
，	．	！	？	／	：	；	－	＿	～	＠	␣(スペース)

半角英字モードの場合											
,	.	!	?	/	:	;	-	_	~	@	␣(スペース)

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

全角記号モード											
␣	、	。	・	—	ー	「	」				

半角記号モード											
␣	,	.	!	?	:	;	"	'	`	^	_
+	-	/	*	#	~	¥	$	%	&	@	(
)	[	]	<	=	>	{	|	}			

● ␣、␣はスペースです。

定型文モード					
www.	.co.jp/	.ne.jp/	.ac.jp/	.or.jp/	.com/
http://	https://				

ボタンで文字を入力する

1 1〜12を押して文字を入力する

● 文字入力欄(次ページの図参照)にカーソルがあるときに以下の操作をします。

入力例:がっこう

➡ 2、10、4(6回)、2(5回)、1(3回)
　が　っ　こ　う

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて10を押します。

● 拗促音などの小さい文字(っ、ゃ、ゅ　など)にするには、大文字に続けて10を押す方法もあります。確定前であれば10を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶を押してから次の文字を入力します。

入力例:あい

➡ 1、▶、1(2回)
　あ　い

● カーソルを移動するには、◀·▶を押します。

2 以下の操作で確定する

文字入力欄でひらがなのまま確定するとき

❶ 決定を押す

候補一覧から選んで確定するとき

❶ ▼を押す

❷ ▲·▼·◀·▶で候補から選び、決定を押す

※ 決定は1回だけ押します。2回押すと文字入力の終了になります。

● 決定を押さないで、1〜12で次の文字を入力した場合にも選択中の候補に確定されます。

3 手順1〜2の操作を繰り返して、必要な文字を入力する

4 すべての入力が終わったら、決定を押す

● 文字入力をする前の操作場面に戻り、入力した文字が反映されます。



■ 入力した文字は、以下のように表示されます。

● 入力中の文字、未確定の文字:青

● 漢字変換候補選択中の文字:青背景

● 確定した文字:黒、背景なし

● 漢字候補選択時に戻るを押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

フリーキーワードを登録する

- 文字入力の操作で入力した文字列をフリーキーワードとして登録することができます。
- キーワードは14個まで登録できます。
- 一つのキーワードは全角15文字まで入力できます。

1 登録する文字列を確定して、黄を押す

2 ▲·▼·◀·▶で登録先を選び、決定を押す

- 新たに登録する場合は、「新規登録」を選びます。

フリーキーワード登録

伊豆　箱根　温泉　を登録します。

旅行	温泉
釣り	テニス
ファッション	和食
中華	洋食
新規登録	

で選び　決定 で登録　戻る で前画面

- すでに登録されているキーワードを書き換えるときは、そのキーワードを選びます。

フリーキーワード登録

伊豆　箱根　温泉　を登録します。

旅行	温泉
釣り	テニス
ファッション	和食
中華	洋食
新規登録	

で選び　決定 で上書き登録　戻る で前画面　赤 削除

- 登録されているキーワードを削除するときは、そのキーワードを選んで赤を押します。
  確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押せば、選んだキーワードが削除されます。

フリーキーワード削除

旅行　を削除しますか？

はい　いいえ

で選び　決定 を押す　戻る で前画面

フリーキーワードを呼び出して編集する

- 登録済のキーワードを呼び出して編集することができます。

1 文字入力モードを「フリーキーワード」にする

- 変換候補欄に登録済のキーワードが表示されます。

2 編集するキーワードを▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 選択したキーワードが文字入力欄に追加されます。

文字入力　フリーキーワード

旅行

旅行	温泉	釣り	テニス
ファッション	和食	中華	洋食

青 入力モード切換　緑 スペース入力　黄 フリーキーワード登録
決定 で確定　戻る で入力に戻る

3 文字を編集する

4 左記「フリーキーワードを登録する」の操作をする

BD・DVD・ゲームなどの画面に切り換える

● 本機の外部入力端子(HDMI入力1～6、ビデオ入力1～4)に接続したビデオや、DVD・BDプレーヤー /レコーダーなどの再生番組を見たり、モニターにゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
● 機器の接続や設定については、準備編の「外部機器を接続する」63 の章をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

● 入力切換 の操作は、モニターのタッチパネルの「入力切換」でもできます。
● 入力切換 を押すと次の入力が選択され、画面左上に入力一覧画面が表示されます。(そのときに視聴していた入力によって、チューナー側またはモニター側のどちらかの入力一覧が表示されます)

例 チューナー側の入力



モニター側の入力

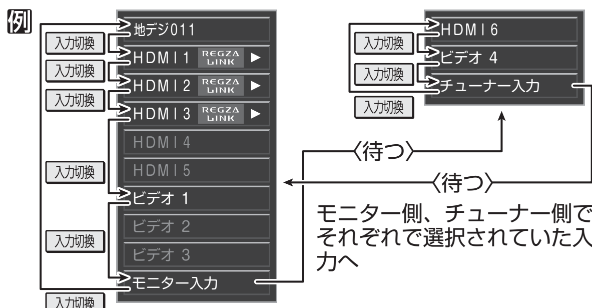


● お買い上げ時の設定では、ケーブルが接続されていない入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。(「外部入力自動スキップ」(準備編 86)で変更することができます)
● チューナーのHDMI入力端子に接続した機器の映像を3D表示している場合、REGZA LINK のマークは表示されません。

3 入力切換 を繰返し押すか、または▲･▼を押して入力を選ぶ

● 入力切換 を押すたびに以下の例のようにカーソル(選択対象)が移動します。(▲･▼では順方向・逆方向の選択ができます)
● 希望の入力を選んで少し待つと、その入力に切り換わります。
● 「モニター入力」、「チューナー入力」を選択して待つと、モニター側やチューナー側で選択していた入力にジャンプします。

例



HDMI連動機器を選ぶとき

● HDMI連動機器は、入力一覧画面に REGZA LINK ▶ が表示されます。
• REGZA LINK ▶ が表示された機器を選んで▶を押すと、機器の形名などが確認できます。
• オーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。その場合は、一覧表示の中から使用する機器を▲･▼で選んで 決定 を押します。

※ チューナーのHDMI入力端子に接続した機器の映像を3D表示している場合、▶を押しても機器一覧は表示されません。いったん放送に切り換えてから操作してください。

例



4 選択した機器を操作する

● 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
● HDMI連動機器を選択した場合は、機器操作メニューに表示された項目の操作が本機のリモコンでできます。「HDMI連動機器を操作する」69 をご覧ください。
● ゲーム機を接続したモニターの入力では、「映像メニュー」97 を「ゲーム」にしてください。
ゲームのレスポンスを重視し、ゲームをするのに適した画質設定になります。



● 入力切換時に画面に表示される「BD」などの機器名を変えることができます。「外部入力表示設定」(準備編 86)をご覧ください。

マルチ画面で見る

● ほかの番組を確認したいときに、複数のチャンネルの映像をマルチ画面で表示させることができます。

1 マルチ画面（ふたの中）を押す

● マルチ画面が表示されます。
● マルチ画面の表示モードには、8画面表示と2画面表示があり、青で切り換えることができます。
● 画面表示を押してチャンネル番号や放送局名などの情報を表示させることができます。

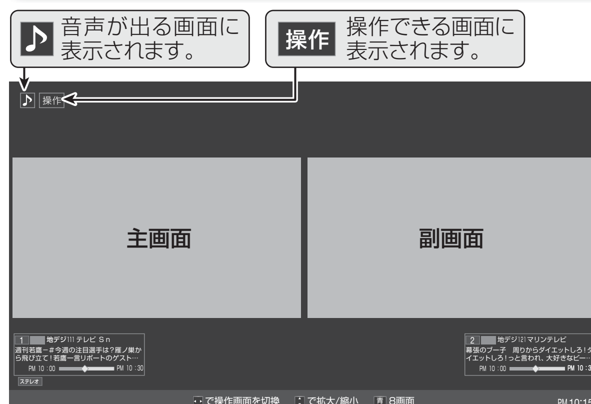
8画面のとき



● 主画面に表示されるのは、地上/BS/110度CSデジタル放送のテレビチャンネルです。
● 副画面には、「はじめての設定」（準備編 40）で自動的に割り当てられたチャンネルが表示されます。（「マルチ画面チャンネル設定」（準備編 80）で変更することができます）
● ▲·▼·◀·▶で画面を選択できます。（枠がつきます）
選択中の画面に対して以下の操作ができます。
- チャンネル切換（主画面のみ）
- 番組説明（ふたの中）を押して、番組説明を見る ➡ 16

● 副画面で決定を押すと、主画面がそのチャンネルに切り換わります。

2画面のとき



● 主画面と副画面に表示できるチャンネルの条件は8画面表示の場合と同じです。
● 2画面表示のときは、音声の出る画面や操作できる画面のほうにアイコン（♪、操作）が表示されます。
- 操作画面を選択するには、◀·▶を押します。
♪や操作の移動を確認しながら◀·▶を操作します。
- ▲·▼を操作すると、画面の大きさを変えることができます。
- 操作がついたほうの画面で選局ができます。

2 マルチ画面を終了するには、マルチ画面（ふたの中）、戻る、終了のどれかを押す



● マルチ画面の表示中は、データ放送の視聴、外部入力の選択などの操作はできません。
● 副画面を選択しているとき、光デジタル音声出力は設定（準備編 87）にかかわらずリニアPCM信号になります。
● ヘッドホーンの音声はスピーカーの音声と同じになります。
● 公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどでマルチ画面表示をすると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

3D映像を楽しむ

● 本機に付属の3Dグラスや別売の3Dグラス(形名:FPT-AG01 (J))で3Dに対応したBDや放送などの映像を3D映像(立体映像)で楽しむことができます。

3Dグラスセットの内容

● 下表の内容になっています。お確かめください。

3Dグラス本体	ハードケース	ドライバー	固定バンド	めがねふき
1個	1個	1個	1個	1枚
	3Dグラスの保管に使います。	電池を交換するときに使います。	3Dグラスを固定するときに使います。	3Dグラスのお手入れに使います。

3Dグラスの各部のなまえと働き

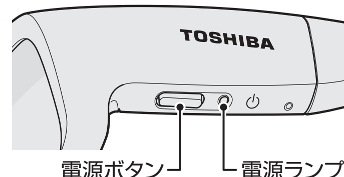
レンズ(液晶シャッター)
テレビ画面に交互に映し出される左目用と右目用の映像に合わせて左右の液晶シャッターが交互に開閉することで、3D映像が再現されます。

赤外線受信部
テレビから送信される液晶シャッター制御用の赤外線信号を受信します。

電池カバー
電池交換の際に取りはずします。35

絶縁シート
電池の消耗防止のために入れています。ご使用開始の際に抜き取ってください。33

電源ボタン、電源ランプ
電源ボタンを約1秒間押し続けて電源を入れたり切ったりします。
• 電源がはいるとき、電源ランプが約2秒間点灯します。
• 電源が切れるとき、電源ランプが3回点滅します。



3Dグラス使用上のご注意

レンズ(液晶シャッター)について

● 以下のことがらにご注意ください。3Dグラスが傷ついたり壊れたりして、3D映像の品質が低下する原因となります。
• レンズ部分に力を加えないでください。
• レンズ部分の表面を鋭利なもので引っかいたりしないでください。
• 3Dグラスを落としたり、曲げたりしないでください。

赤外線通信について

● モニター前面の3Dグラス用赤外線発信部9の前に物を置かないでください。また、3Dグラスの赤外線受信部をよごしたり、ラベルやシールなどを貼ったりしないでください。テレビ本体(モニター)からの赤外線信号を受信できなくなり、3Dグラスが正しく動作しなくなることがあります。
● 他の赤外線通信機器や3D対応テレビなどの影響があると、3Dグラスが正しく動作しなくなることがあります。

視聴時のご注意

● 3Dグラスの近くで携帯電話やハンディ無線機などを使用すると、3Dグラスが正しく動作しなくなることがあります。
● 3Dグラスの使用温度範囲(0℃～40℃)およびテレビの使用温度範囲(0℃～35℃)でご使用ください。使用温度範囲外では、3D映像の品質や製品の信頼性を保証できません。
● 蛍光灯照明の部屋で視聴している場合、蛍光灯の点灯周波数によっては部屋全体の明るさがちらつくことがあります。このような場合は、蛍光灯を暗くするか、他の照明器具を使用するなどの対処をしてください。(特にお子様がいる場合などは、照明を消して真っ暗な室内でテレビを見ることはおすすめできません)
● 3Dグラスは正しく着用してください。上下や前後を逆にすると、正しい3D映像を見ることができません。
● 3Dグラスを着用した状態では、他の液晶ディスプレイ(パソコン画面、デジタル時計、電卓など)の表示が見づらくなることがあります。本機の3D映像以外のものを見るときは、3Dグラスをはずしてください。

機器の接続ケーブルについて

● 3D対応のBDプレーヤーやパソコンなどの機器を接続するときは、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。(標準HDMI®ケーブルでは正常に動作しないことがあります)

⚠注意

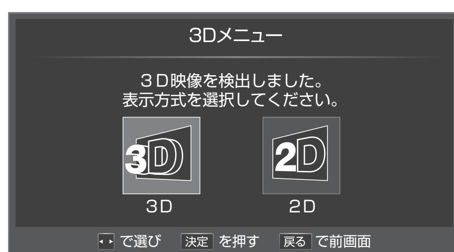
■ **3D映像を見ているときに、感覚に異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりしたときは、見るのをやめる**

そのまま見続けると症状が悪化することがあります。

※ ほかにもご注意があります。ご使用の前に、「安全上のご注意」(準備編 14 と 15)の内容をよくお読みください。

3D映像視聴の基本操作

● お買い上げ時、「3D設定」の「3D自動切換」(準備編 81)が「オフ」に設定されています。この設定の場合、本機が3D映像を検出すると、以下のメニュー画面が表示されます。



1 ◀･▶で「3D」を選び、決定を押す

● 映像が3D表示になります。

※ 3Dグラスがない場合などは、「2D」を選べば2D映像(通常の映像)に変換されて表示されます。

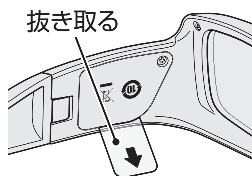
2 「3D視聴時のご注意」の画面の内容を読み、◀･▶で「はい」または「いいえ」を選んで決定を押す

● ご注意の内容は、▼を押して最後まで読んでください。最後まで読まなかった場合は、メッセージが表示されることがあります。

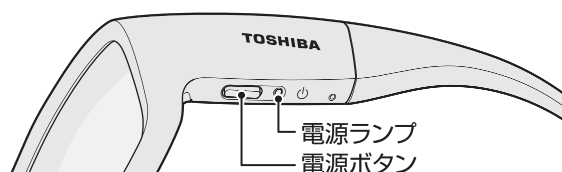
● 「3D視聴時のご注意」の画面は、設定メニュー(ふたの中)を押し、▲･▼と決定で「機能設定」⇨「3D設定」⇨「3D視聴時のご注意」の順に進んで表示させることもできます。

3 3Dグラスの電源を入れる

※ 3Dグラスをはじめて使うときは、電池カバー部の絶縁シートを抜き取ります。



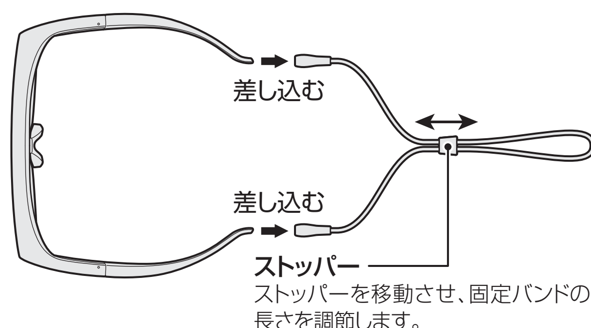
● 電源ボタンを約1秒間押し続ければ、電源ランプが約2秒間点灯して電源がはいります。



4 3Dグラスを着用し、視聴する

● 視力矯正用のメガネを着用している場合は、そのメガネに重ねて3Dグラスを着用します。

● 3Dグラスがずれるようなときは、付属の固定バンドを使用し、長さを調節してください。



5 視聴が終わったら、3Dグラスの電源を切る

● 電源ボタンを約1秒間押し続ければ、電源ランプが3回点滅して電源が切れます。

※ テレビ本体と3Dグラスの赤外線通信が約5分間途絶えた場合にも、3Dグラスの電源が切れます。

3D映像の視聴を制限する

● お子様の視覚機能への影響が懸念される場合に、3D映像の視聴を暗証番号で制限することができます。

● 「3D視聴制限」を「制限する」に設定すると、3D表示の際に暗証番号の入力画面が表示されます。お子様に3D映像を視聴させてもよい場合は、保護者の方が暗証番号を入力してあげてください。

1 「3D暗証番号設定」(準備編 81)の手順で「3D暗証番号」を設定する

2 「3D視聴制限設定」(準備編 82)の手順で、「3D視聴制限」を「制限する」に設定する

● 必要に応じて、「3D視聴制限タイマー」の設定もしてください。



● 3D表示は、選局、入力切換、録画番組再生、ブロードバンド機能、番組表・ミニ番組表表示などの操作をしたときに解除されます。

● 3Dグラスの動作対応範囲については、 133 をご覧ください。

3D映像を楽しむ つづき

3D映像が自動表示されるようにする

- 本機が3D映像を検出したときの動作を、「3D設定」の「3D自動切換」(準備編 81)で設定することができます。
- 3Dメニューが表示されないようにするには、「3D」または「2D」に設定します。
  - 3D…3D映像が自動的に3D表示になります。
  - 2D…3D映像が自動的に2D表示(立体映像ではない通常の映像)になります。

※ 3D映像によっては形式情報が含まれていないために自動切換ができないことがあります。そのような場合は、以降に記載の「3Dメニュー」の操作と、必要に応じて「3D表示モード切換」、「2D表示モード切換」の操作をしてください。

リモコンで2D/3D表示を切り換える

- 3D映像の視聴中に3D表示と2D表示の切換えをしたり、本機が自動検出できない3D映像を3D表示にしたり、通常の映像を3D表示にしたりするには、以下の操作をします。

1 3D を押す

- 「3Dメニュー」が表示されます。



2 ◀･▶で以下から選び、決定を押す

- 3D ………3D映像が3D表示になります。
- 2D3D …通常の2D映像が3Dに変換されて表示されます。
- 2D ………3D映像や2D映像が2D表示になります。

※「2D3D」の場合、映像によっては3D効果が表れにくいことがあります。また、見えかたには個人差があります。
※ 録画中は「2D3D」で視聴することはできません。
※ 再生映像を「2D3D」で視聴する場合、可変再生はできません。

2D3Dの効果を設定する

- 2D映像を3D映像に変換するときの効果を変えることができます。

❶ クイック を押し、▲･▼と決定で「映像設定」⇨「2D3D効果設定」の順に進む

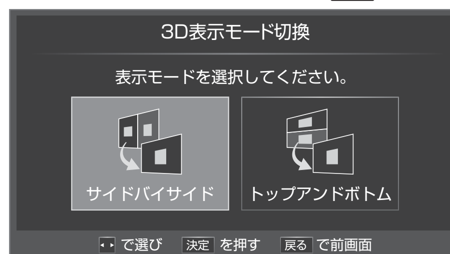
❷ ◀･▶でお好みの調整値を選び、決定を押す

3D映像の3D表示モードを切り換える

- 3D映像の形式が検出できない場合、以下の操作で3D表示のモードを切り換えることができます。
- 設定は、選局、入力切換、電源「待機/切/入」操作などの際に「サイドバイサイド」に戻ります。

1 クイック を押し、▲･▼で「3D表示モード切換」を選んで決定を押す

2 ◀･▶で以下から選び、決定を押す



- サイドバイサイド…右目用、左目用の映像が左右に配置されている場合に選択します。
- トップアンドボトム…右目用、左目用の映像が上下に配置されている場合に選択します。

3D映像の2D表示モードを切り換える

- 3D映像の形式が検出できない場合、以下の操作で2D表示のモードを切り換えることができます。
- 設定は、選局、入力切換、電源「待機/切/入」操作などの際に「通常」に戻ります。

1 クイック を押し、▲･▼で「2D表示モード切換」を選んで決定を押す

2 ◀･▶で以下から選び、決定を押す



- 通常…………3D非対応テレビと同等の画面が表示されます。
- 左側拡大…左側の映像が拡大表示されます。
- 上側拡大…上側の映像が拡大表示されます。

3D映像が不自然に見えるとき

- 以下をお試しください。
- 設定は、選局、入力切換、電源「待機/切/入」操作などの際に「オフ」に戻ります。

1 **クイック を押し、▲·▼と 決定 で「その他の設定」⇨「3D左右映像反転」の順に進む**

2 **▲·▼で「オン」を選んで 決定 を押す**
- 改善されない場合は、「オフ」に戻してください。

3Dグラスの電池を交換する

- 電池の残量が少なくなると、3Dグラスの電源を入れたときに電源ランプが5回点滅してお知らせします。(電池切れになると点滅・点灯しません)
- 交換用の電池は、コイン型リチウム電池CR2032(市販品)をご使用ください。

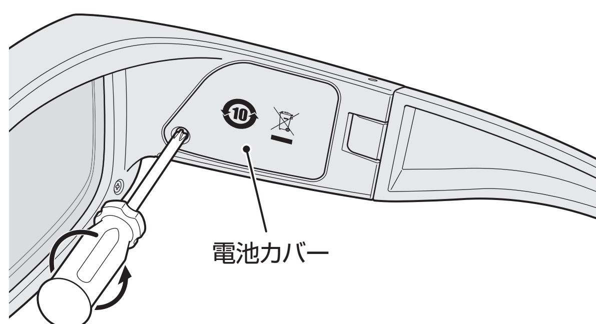
※ 使用済の電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

⚠警告

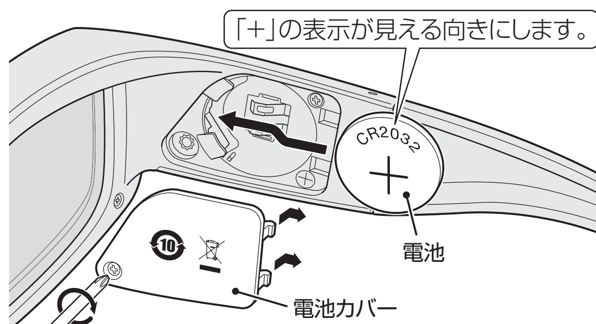
■ **3Dグラスの電池や付属品は、乳幼児の手の届くところに置かない**

吸い込んだり、飲み込んだりすると、窒息や胃壁損傷などのおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

1 **付属のドライバーでネジをゆるめ、電池カバーを取りはずす**



2 **電池を交換し、電池カバーを取り付ける(ネジを締める)**



3Dグラスのお手入れについて

- お手入れの際は、付属のめがねふきなど、乾いた柔らかい布をご使用ください。

※ あらかじめ、布や3Dグラスについたゴミやホコリを払ってください。そのままでふくと、3Dグラスに傷がつくことがあります。

- ベンジン、シンナーなどの溶剤や、アルコール、メガネ洗浄スプレー、水などは使用しないでください。3Dグラスが破損したり、故障したりする原因となります。
- 3Dグラスを使用しないときは、付属のハードケースに入れ、高温・多湿にならない場所に保管してください。
- 3Dグラスを長期間使用しないときは、電池の消耗や液漏れによる腐食などを防ぐために、電池を取りはずしておくことをおすすめします。取りはずした電池は、ショートしないようにビニール袋などに入れて保管してください。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。
● 信号フォーマットについては129をご覧ください。
※ 3D映像の3D表示時、3D映像の2D表示時、2D映像の3D表示時は「フル」になり、切り換えられません。

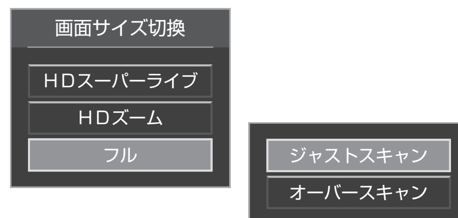
1 クイックを押し、▲·▼で「画面サイズ切換」を選んで決定を押す

2 画面サイズのモードを▲·▼で選び、決定を押す
● 選べる画面サイズは下表のとおりです。
● 各画面サイズのモードの説明は、次ページをご覧ください。

▶が表示されるとき

● 決定を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。
❶ ▶を押し、お好みのモードを▲·▼で選ぶ

● 画面サイズが「フル」、「ノーマル」または「ゲームフル」、「ゲームノーマル」のときは、「ジャストスキャン」と「オーバースキャン」の切換えができます。



• **ジャストスキャン**…· 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
• **オーバースキャン**…· 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

放送番組やビデオ入力端子からの映像を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
放送の4：3の映像、ビデオ入力の映像（480iと480pのみ）	スーパーライブ、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル
放送の16：9の映像	フル、HDスーパーライブ、HDズーム • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入／切で「フル」に戻ります。
D5映像入力端子からのハイビジョン映像	フル、ノーマル、HDスーパーライブ、HDズーム • 機器の操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	ノーマル、Dot By Dot、スーパーライブ、ズーム、映画字幕、フル
VGA、SVGA、XGA、SXGA	ノーマル、Dot By Dot、スーパーライブ、ズーム、フル
720p、1080i、1080p、WXGA	ノーマル、Dot By Dot、HDスーパーライブ、HDズーム、フル

映像メニューを「ゲーム」にしているとき

● 映像メニューの「ゲーム」は、モニターの入力でのみ選択できます。

入力端子		信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
HDMI入力6		1080p、1080i、720p、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA	ゲームフル、ゲームノーマル、Dot By Dot
ビデオ入力4	D5映像	1080p、1080i、720p	ゲームフル、ゲームノーマル、Dot By Dot
		480p	ゲームフル、ゲームノーマル、ポータブルズーム、レトロゲームファイン、SDゲームファイン
		480i	ゲームフル、ゲームノーマル、レトロゲームファイン
	映像	480i	ゲームフル、ゲームノーマル

写真再生 75

写真の解像度	選択できる画面サイズ
1920×1080ピクセル以下	ノーマル、Dot By Dot
1920×1080ピクセルを超えるもの	ノーマル

● 「ノーマル」を選ぶと、写真の縦横比を維持した状態で画面いっぱいに収まるように拡大・縮小されます。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　明
4:3	スーパーライブ	※1	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム	※1	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています)を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 映画を観に行きませんか? 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1	DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
16:9	フル		16:9の映像を画面内に表示するモードです。 ※ 次ページのクイックメニュー操作で、画面に表示する情報量が変えられます。
	HDスーパーライブ※2	※3	左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	HDズーム※2	※3	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
ゲーム	ゲームフル	※4	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示します。 (図は4:3の例です)
	ポータブルズーム		ポータブルタイプのゲーム機の映像を拡大して表示します。
	レトロゲームファイン SDゲームファイン		「レトロゲームファイン」は垂直ラインに二度同じ画像を表示させることでドット感のある画像を再現したモードです。 「SDゲームファイン」は自己合同性超解像処理のみで2倍に拡大することで斜め線の滑らかさと先鋭度を両立させたモードです。
HDMI	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま画面に表示します。映像のない部分は黒く表示されます。

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。



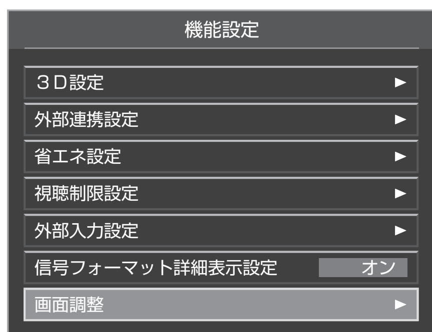
- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像を、「スーパーライブ」などを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」(16：9映像の場合は「フル」)でご覧になれます。
- 本機のD5映像端子は、スクイーズ映像と4：3映像時のレターボックス映像を識別します。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的に「フル」や「ズーム」に切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

便利な機能を使う つづき

画面の位置や幅を調整する

● 画面右下に表示されている「放送/端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。
※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できないことがあります。
※ パソコンを接続したときに、画面の右下に表示される画面情報とパソコン側とで設定した情報が一致しない場合があります。

1 設定メニュー(ふたの中)を押し、▲·▼と決定で「機能設定」⇨「画面調整」の順に進む



2 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す



- **上下振幅調整** ……映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置** ……映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整** ……映像の横のサイズを調整します。
- **初期設定に戻す** …お買い上げ時の調整状態に戻ります。手順***3***の操作はありません。

3 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定を押す

● 上下振幅調整と左右振幅調整は−03 ～＋03の範囲で調整できます。
● 上下画面位置は、視聴している映像の種類によって調整できる範囲が異なります。
● 調整画面では◀·▶を押さないと、数秒でメニュー画面に戻ります。

他の映像・音声に切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

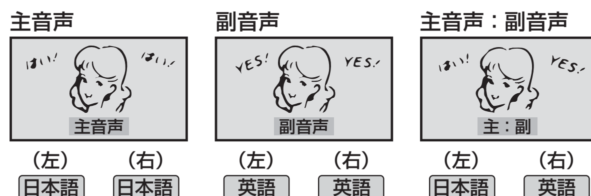
● 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
● 番組情報画面 16 に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 音声切換(ふたの中)を押す

● 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。



（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）



● 次ページの「映像、音声、データを切り換える」の「音多切換」でも音声の切換えができます。

音声を切り換える

● 複数の音声信号が放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
● 番組情報画面 16 に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換(ふたの中)を押す

● 音声切換を押すたびに以下のように切り換わります。



● 次ページの「映像、音声、データを切り換える」の「音声信号切換」でも音声の切換えができます。

映像、音声、データを切り換える

● デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
● 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 **クイック を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」の順に進む**

2 **切り換える信号を▲·▼で選び、決定 を押す**

● 視聴中の番組で切換のできない信号は、項目名が薄くなって表示されます。



3 **視聴する映像、音声、データを▲·▼で選び、決定 を押す**

● 「信号切換」のクイックメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、前ページの 音声切換 で選択する機能と同じものです。
● 字幕の表示/非表示の切換 15 を、上記クイックメニューの操作で切り換えることもできます。

降雨対応放送について

● BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
※ 以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 **クイック を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「信号切換」⇨「降雨対応放送切換」の順に進む**

2 **▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ**

● 降雨対応放送をやめるには「通常の放送」を選びます。



■ 信号切換について
● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。(基本の信号を選択した状態になります)
● 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。

■ 降雨対応放送ついて
● 通常の放送よりも画質が低下します。
● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
● 録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

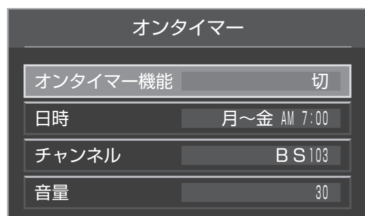
便利な機能を使う つづき

テレビを目覚ましに使う

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- オンタイマーは、デジタル放送から取得した時刻情報をもとに動作します。

1 クイック を押し、▲・▼と 決定 で「タイマー機能」⇨「オンタイマー」の順に進む

2 ▲・▼で項目を選び、以下の操作で設定する



オンタイマー機能

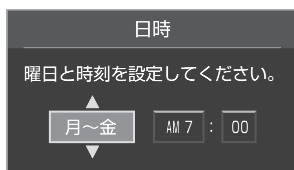
- オンタイマーを使用するかどうかを設定します。

❶ ▲・▼で「入」を選び、決定 を押す
- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の手順で「切」を選びます。
- 「入」に設定すると、本体前面のオンタイマー表示ランプが緑色に点灯します。

日時

- オンタイマーで本機の電源を「入」にする曜日と時刻を設定します。

❶ 設定する欄を◀・▶で選び、▲・▼で設定する
- 曜日は「毎日」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。



❷ 設定が終わったら、決定 を押す

チャンネル

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ 設定する欄を◀・▶で選び、▲・▼で設定する
- **放送の種類**……地デジ／ BS ／ CS
- **チャンネル**……設定した放送の種類に該当するチャンネル

❷ 設定が終わったら、決定 を押す

音量

- オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

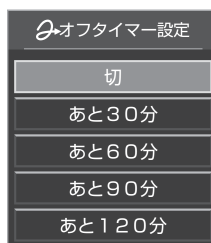
❶ ▲・▼でお好みの音量を選び、決定 を押す

自動で電源が切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 クイック を押し、▲・▼と 決定 で「タイマー機能」⇨「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲・▼で選び、決定 を押す



- 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときに クイック を押すと、クイックメニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の手順で「切」を選びます。



- 「オンタイマー」を「入」にした後はモニターのタッチパネルで電源を切らないでください。電源を切るときは、リモコンまたはチューナーの電源ボタンを押してください。



■「オンタイマー」について
- オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
- オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、予約した番組のチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。

■「オフタイマー」について
- 設定した時刻になる前に、電源を「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。
- 本機で録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが、録画は録画時間の終了まで続けられます。

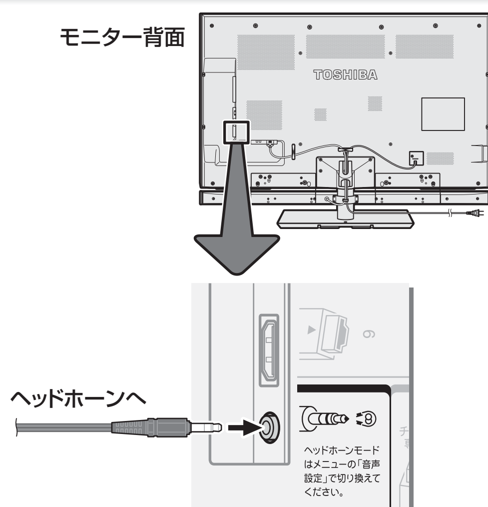
映像を静止させる

● 映像の動きを止めることができます。たとえば、料理番組のレシピや、応募番組の宛先などをメモしたりするときに便利です。

1 静止 を押す

● 映像が静止します。
● 解除するときは、静止 をもう一度押します。
※ 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

ヘッドホーンで聴く

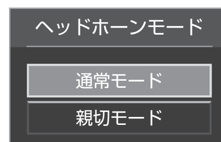


● 本機にヘッドホーンを接続したときの音の出かたを設定することができます。
● お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。

1 クイック を押し、▲·▼と 決定 で「音声設定」⇨「ヘッドホーンモード」の順に進む

音声設定（放送/再生）	
音声メニュー	おまかせ
お好み調整	▶
バランス	中央
ドルビーボリューム	オフ
ドルビーDRC	ーー
光デジタル音声出力	PCM
ヘッドホーンモード	通常モード
音声／外部ウーファー出力	可変出力
テレビスピーカー出力	オン
センタースピーカーモード	オート

2 ▲·▼で以下からを選び、決定 を押す



- **通常モード**………ヘッドホーンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホーンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。
- **親切モード**………ヘッドホーンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホーンまたはイヤホーンで聴くというような使いかたができます。

ヘッドホーンの音量調節のしかた

● 「通常モード」に設定している場合は、音量＋－ で調節します。
● 「親切モード」に設定した場合で、ヘッドホーンを接続しているときは、以下の操作で調節します。

❶ クイック を押し、▲·▼と 決定 で「その他の操作」⇨「親切ヘッドホーン音量」の順に進む

❷ ◀·▶で音量を調節する

● 音量＋－ でも調節できます。

センタースピーカーモードを使用中のとき(55X2のみ)

● 「センタースピーカーモード」（準備編 88）を「オン」に設定している場合や、「オート」に設定して本機のスピーカーをセンタースピーカーとして使用している場合は、ヘッドホーンから音声は出ません。



■ **映像の静止(静止画)について**
● ラジオ、データ放送視聴中は静止画にすることはできません。
● 字幕放送の場合、映像の静止中は字幕は表示されません。
● 映像の静止中は、データ放送の操作はできません。
● 選局操作をすると、静止画が解除されます。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

地デジの過去番組を楽しむ

● タイムシフトマシン録画機能で録画された地上デジタル放送の番組を選んで視聴することができます。
● タイムシフトマシン録画番組を内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに保存することができます。

タイムシフトマシンを使うための準備について

● この機能で視聴できるのは、「はじめての設定」(準備編 40)の「タイムシフトマシン録画設定」で設定されたチャンネル、時間、曜日に従って本機内に録画された地上デジタル放送の番組です。
● 上記の設定をしていない場合および録画チャンネルや曜日、録画時間を変更する場合は、「タイムシフトマシン録画設定」(準備編 79)の手順で設定してください。

基本操作

1 **[タイムシフト]を押す**

● 過去番組表が表示されます。

「タイムシフトマシン録画設定」で設定したチャンネルだけが表示されます。

自動削除によって再生できない時間帯

タイムシフトマシン録画で録画された時間帯だけが表示されます。

保存済アイコン

選択されている番組



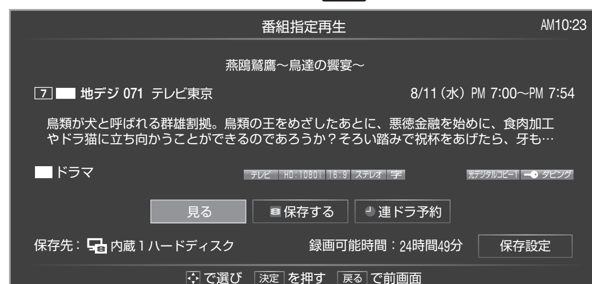
2 **見たい番組を▲·▼·◀·▶で選ぶ**

● 番組表に表示しきれていないチャンネルや日時を表示させるには[«]·[»]·[︽]·[︾]を押します。
● 番組説明を見るには、[番組説明](ふたの中)を押します。([黄]での詳細情報取得 16 はありません)
● 番組を選んで[青]を押すとレジューム再生になり、前回途中まで視聴していた場合は続きが再生されます。

3 **[決定]を押す**

● 「番組指定再生」画面が表示されます。

4 **◀·▶で「見る」を選び、[決定]を押す**



● 選択した番組の再生が始まります。

5 **タイムシフトマシン(過去番組再生)を終了するには、[終了]または[■]を押す**



● タイムシフトマシンで視聴できる過去の番組は、タイムシフトマシン録画機能で録画した番組に限られます。ただし、録画した番組は各チャンネルに割り当てられたハードディスクの容量が足りなくなると古い番組から自動的に削除されます。
● 過去番組表や再生画面、タイムバーの番組情報および時刻情報などは、放送波で送信されてくる番組情報をもとに表示しています。

タイムシフトマシンで録画中の番組を視聴しているときに、こんなことができます

- 視聴中の番組を始めから見たいときは、始めにジャンプを押します。番組の冒頭(録画された部分)から再生が始まります。
- 今の場面をもう一度見たいときは |«| を押します。視聴している場面の30秒前に戻って再生が始まります。(30秒以上録画されている場合に限ります)

過去番組視聴中の操作

再生操作

● リモコンで以下の再生操作ができます。

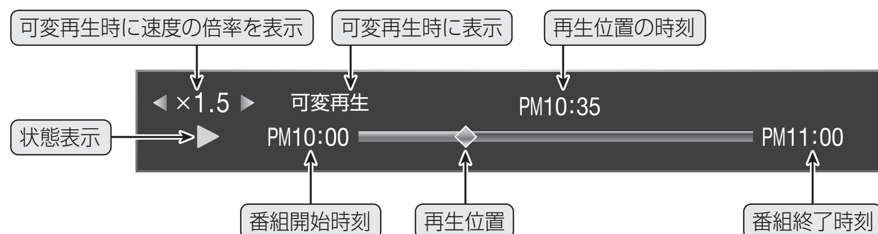


ボタン	動　作
▶/可変再生	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 通常の再生中に押すと可変再生モードになり、◀·▶で0.9～1.5倍速の範囲で速さを変えることができます。(◀：遅く、▶：早く) 可変再生から通常の再生に戻すには、もう一度 ▶/可変再生 を押します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
▶▶	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
◀◀	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
始めにジャンプ	再生中の番組の始まりから再生します。
|»|	再生中または可変再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ) • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」(準備編 60)で変更できます。
|«|	再生中または可変再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ) • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶❘	次の番組を再生します。
❘◀◀	前の番組を再生します。

● タイムシフトマシン録画番組の再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
● 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシンが終了します。
● タイムシフトマシンで録画中の番組を視聴する場合は、タイムバー(下図)に現在時刻位置(現在の録画ポイント)が表示されます。
● ❚❚ で一時停止をしている間に時間が経過して、自動削除機能によって視聴中の番組が削除されそうになった場合は、一時停止が自動的に解除されます。

タイムバー

● 画面表示を押すとタイムバーが表示されます。
● 停電や次ページの「タイムシフト録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。



番組を選び直す

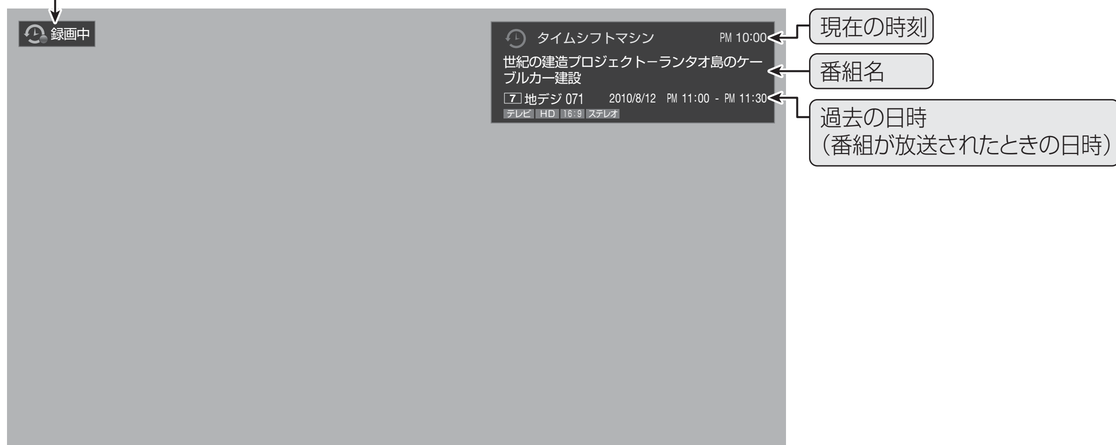
● タイムシフトを押して過去番組表を表示させ、視聴する番組を選びます。

過去の番組を見る
地デジの過去番組を楽しむ

地デジの過去番組を楽しむ つづき

番組情報を見る

● 過去番組の視聴中に 画面表示 を押します。



タイムシフトマシン録画の停止と再開

● タイムシフトマシン録画を一時的に停止させたり、再開させたりすることができます。
● 放送番組や過去番組の視聴中などに以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲・▼で「タイムシフトマシン録画の一時停止」を選んで 決定 を押す**

● タイムシフトマシン録画が一時停止状態になっているときは、クイックメニューに「タイムシフトマシン録画の再開」が表示されます。

※ タイムシフトマシン録画が一時停止状態になっているかどうかは、上記の「番組情報を見る」の操作で確認できます。（画面の左上に 録画一時停止中 が表示されます）
※「タイムシフトマシン録画の一時停止」は、電源を「待機」にすると解除されます。

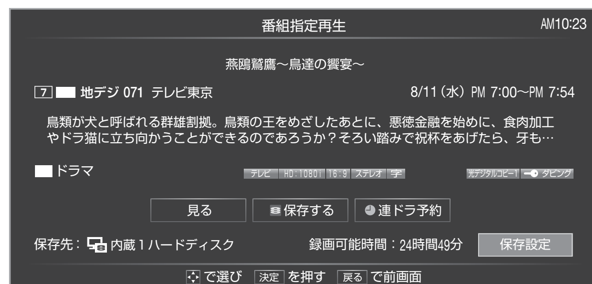
地デジの過去番組を保存する

● 残しておきたい番組を、自動削除される前に番組を内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに保存すれば、レグザリンクメニューの「録画番組を見る」の操作で視聴できるようになります。
※ 保存できるのはダビング10番組のみです。保存した番組はコピー８回＋ムーブ１回可能となります
※ 録画中の番組、再生中の番組、自動削除中の番組、一度保存した番組は保存できません。（保存済の番組には、保存済アイコンがつきます）

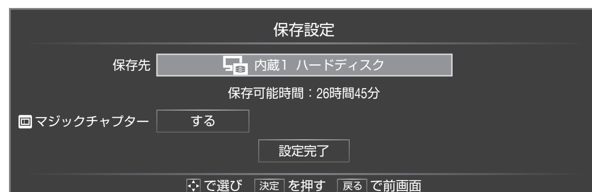
1 過去番組表で、保存する番組を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

● 「番組指定再生」画面が表示されます。
● 保存設定を変更しない場合は、手順4に進みます。

2 ▲･▼･◀･▶で「保存設定」を選び、決定を押す



3 保存設定をする



保存先を変更するとき

❶ ▲･▼･◀･▶で「保存先」を選び、決定を押す
● 保存先機器の選択画面が表示されます。

❷ 保存先にする機器を▲･▼で選び、決定を押す

マジックチャプターの設定を変更するとき

● マジックチャプターは、シーンの変わり目で自動的にチャプター（章）に分割する機能です。機能を使用するかどうかを設定します。

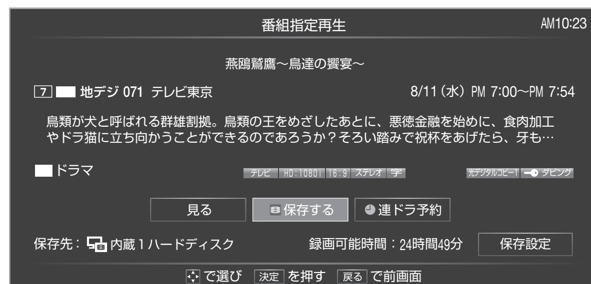
❶ ▲･▼･◀･▶で「マジックチャプター」を選び、決定を押す
● マジックチャプターの設定画面が表示されます。

❷ ▲･▼で「する」または「しない」を選び、決定を押す

設定が終わったら

❶ ▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選び、決定を押す
● 「番組指定再生」画面に戻ります。

4 ◀･▶で「保存する」を選び、決定を押す



※ 過去番組の保存中はチューナー前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。
● 保存が始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。





● 過去番組の保存中は「今すぐニュース」の自動録画は行われません。
● 過去番組の保存中にできない操作をすると、画面にメッセージが表示されます。ダビングが終了するまでお待ちください。
● 過去番組の保存中に録画予約の開始時刻になった場合は、画面にメッセージが表示されます。

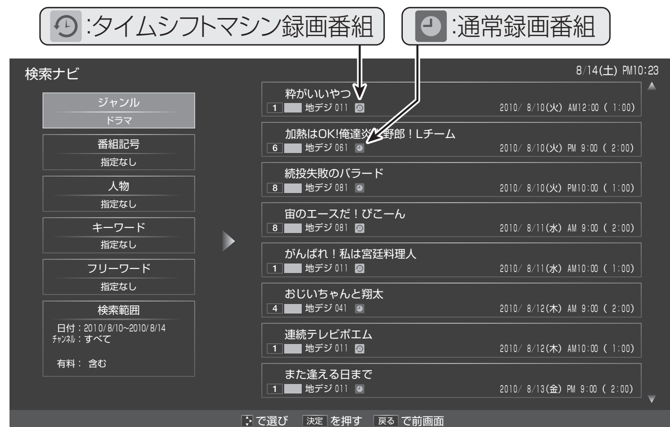
条件を絞り込んで地デジの過去番組を探す

- 「条件を絞り込んで番組を探す」22 ～ 25 の操作で過去番組の検索ができます。
- 過去番組の検索の場合、以下の点が放送中番組・放送予定番組と異なります。

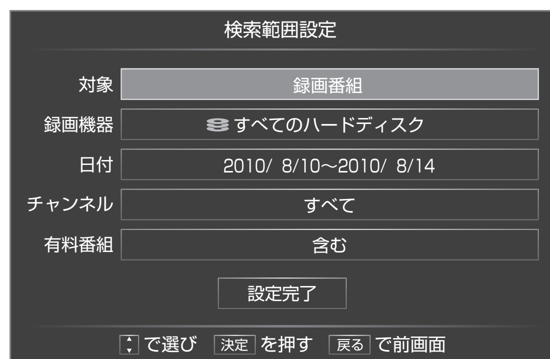
検索ナビで探す

検索ナビ画面

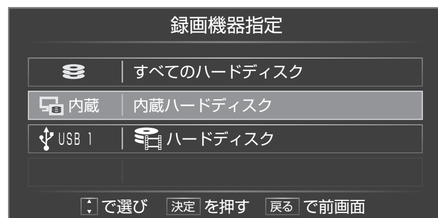
- 検索結果の画面には、すべての録画番組から検索した結果が表示されます。



検索範囲を指定するとき



- 「対象」は「録画番組」を指定します。
- 「録画機器」は「内蔵ハードディスク」を指定します。
  ▲·▼で「内蔵ハードディスク」を選んで決定を押します。
  ※ USBハードディスクが接続されていない場合は、この項目は選択できません。「すべてのハードディスク」が指定されます。



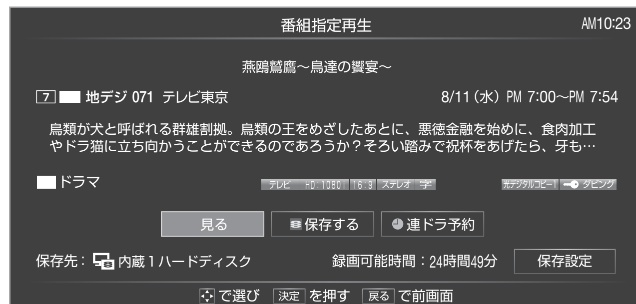
- 「日付」は範囲を指定します。
  ◀·▶で欄を選び、▲·▼で検索開始日、検索終了日を選びます。左端の欄を「指定する」にしてから設定します。
  選び終わったら、決定を押します。



検索結果から過去番組を選んだとき

※ がついた番組を選んでください。

- 「番組指定再生」画面が表示されます。
- 検索結果に表示されている番組でも、自動削除された番組の再生や保存はできません。



■番組を見るとき

❶ ◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

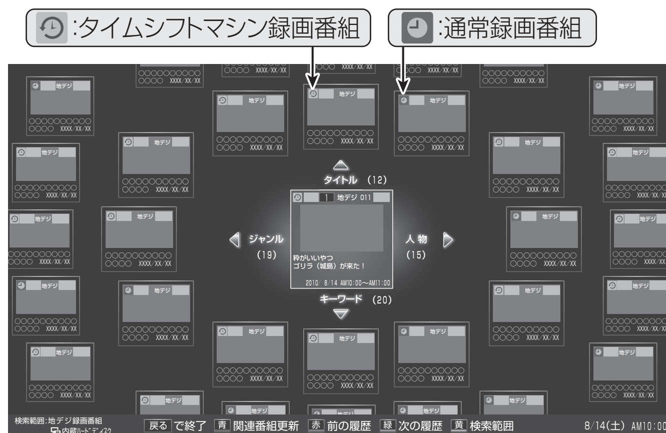
- 番組の冒頭（録画開始点）から再生が始まります。

■ 内蔵、USBハードディスクなどに保存するとき

- 前ページ「地デジの過去番組を保存する」の手順***2***以降の操作をします。

ローミングナビで探す

ローミングナビ画面



検索範囲の指定

- 「日付」の指定はありません。その他は検索ナビと同様です。

注目番組、関連番組

- 注目番組、関連番組ともにすべての録画番組が対象となります。がついた番組を選んで操作してください。

検索結果から番組を選んだとき

- 上記の検索ナビの場合と同じです。

録画機能について

● この章での「録画」や「録画予約」は、タイムシフトマシン録画機能での設定や録画以外のものをさします。

録画できる機器と番組

番組 ＼ 機器	内蔵ハードディスク、USB ハードディスク、レグザリンク対応の東芝レコーダー ＊
デジタルテレビ放送番組	録画できます
独立データ放送番組、ラジオ放送番組	録画できません
外部入力からの映像・音声	録画できません
ホームネットワーク機器の映像・音声	録画できません
ブロードバンド機能で視聴している動画サービス	録画できません

＊ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- HDMI連動機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません。（本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません）
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕および連動データ放送などが録画できるかどうかは、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	接続・設定	録画前の準備
内蔵ハードディスク	準備編 53 〜 54	• USBハードディスクの場合は電源を入れておきます。 • ハードディスクの残量を確認します。64 • 「総録画番組数」を録画リストで確認します。58 ※ 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除してください。63
USBハードディスク(注)	準備編 55 〜 57	
レグザリンク対応の東芝レコーダー	接続：準備編 66 設定：準備編 73	• ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※ 録画先はハードディスクのみです。DVDに直接録画はできません。

(注) USBハードディスクは、本機に登録してからでないと録画できません。

● 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、準備編の上記ページを参照し、登録してください。
● 本機で動作確認済のUSBハードディスクについては、準備編の 112 の❶をご覧ください。

録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	49
番組表で録画・予約する	50
連続ドラマを予約する	51
日時を指定して録画予約をする	52
携帯電話やパソコンから録画予約をする	53
「今すぐニュース」の番組を登録する	21 、準備編 53

● 「条件を絞りこんで番組を探す」 22 の操作で、録画したい番組を探して録画・予約をすることもできます。

録画機能について つづき

内蔵、USBハードディスクの自動削除機能について

● お買い上げ時には、「内蔵ハードディスクの設定」(準備編 53)、「USBハードディスク設定」(準備編 56)の「自動削除設定」が「する」に設定されています。「する」に設定されている場合は、ハードディスクの残量が足りないときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されます。

※ 保護をした録画番組が多くなると、自動削除機能が働かなくなる場合があり、録画できる時間が短くなります。

2番組同時録画中の放送番組視聴について

● 2番組同時録画中に視聴できる放送は下表のようになります。

視聴できる放送など / 録画中の放送	地デジ	BS/110度CS	外部入力
地デジ+地デジ	○	○	○
地デジ+BS/110度CS	○	○	○
BS/110度CS+BS/110度CS	○	△	○

○ 受信できる任意のチャンネルを視聴できます。　△ 録画中のチャンネルだけ視聴できます。

USBハードディスクに録画できる時間の目安

● USBハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。

※「自動削除設定」が「する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画時間が下表の時間よりも少なくなることがあります。

例 500GBのハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送(HD)番組だけを録画する場合	約53時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送番組(HD)だけを録画する場合	約44時間
地上デジタルおよびBS/110度CSデジタルの標準テレビ放送番組(SD)だけを録画する場合	約131時間

● 放送番組の種類は、番組説明(ふたの中)を押して、番組説明画面に表示されるアイコンで確認することができます。

● ハードディスクの残量(録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのクイックメニューの「ハードディスク残量表示」 64)は、BSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

チューナー前面の表示ランプについて

● 本機の動作状態に従って、録画/ダビング表示ランプが点灯します。

ご注意 **表示ランプが点灯しているときは、電源プラグを抜かないでください。**

本機の動作状態	録画/ダビング表示ランプ
ハードディスクに録画予約が設定されているとき	オレンジ色に点灯
ハードディスクでの録画中またはダビング中	赤色に点灯





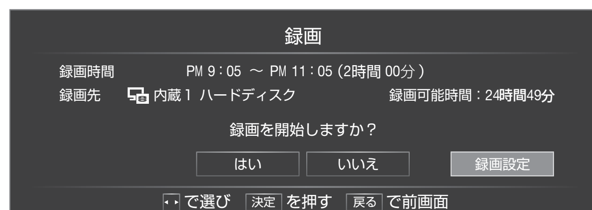
● 予約できる番組数は128番組までです。
● 予約録画実行中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、録画は中止されます。(ハードディスクに録画していた場合は、途中まで録画した番組は残りません)
● 予約録画の実行時に自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
● 予約録画の開始前に、再生が自動的に停止することがあります。
● 2D3D変換した映像を3D映像として録画することはできません。

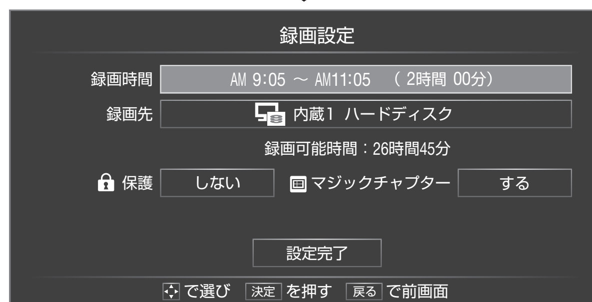
見ている番組を録画する

● 今見ているデジタル放送番組を簡単に録画することができます。
※ 録画予約などですでに2番組を同時に録画しているときには、この操作はできません。

1 放送番組を見ているときに［●録画］(ふたの中)を押す

2 録画設定を変更する場合は、◀·▶で「録画設定」を選んで［決定］を押す





録画時間を変更する場合

● 設定できる時間は、最大23時間59分です。(録画先をレグザリンク対応の東芝レコーダーにした場合は、設定した画質モードによっては録画時間が制限されます。)
● 「ダイレクト録画時間」(準備編 60)で、あらかじめ録画開始からの録画終了時間を設定することができます。
お買い上げ時は、録画終了時刻が2時間後に設定されています。

❶ ▲·▼·◀·▶で「録画時間」を選び、［決定］を押す
❷ ◀·▶で「時」または「分」を選び、▲·▼で終了時刻を設定して［決定］を押す
❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、［決定］を押す

録画先の機器を変更する場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「録画先」を選び、［決定］を押す
❷ ▲·▼で録画先にする機器を選び、［決定］を押す
❸ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、［決定］を押す

その他の録画設定を変更する場合

● 「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」55をご覧ください。

3 ◀·▶で「はい」を選び、［決定］を押す
● 録画が始まります。
● レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、録画設定の結果メッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。

録画を中止する

● 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
● ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

1 録画中に［終了］または［■］を押す
● 2番組同時録画をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止する番組を▲·▼で選んで、［決定］を押してください。

2 「録画中止」の画面で、◀·▶で「はい」を選んで［決定］を押す
● レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画している場合は、本機の操作だけでは録画が止まりません。機器側でも録画中止の操作をしてください。

番組表で録画・予約をする

1 番組表 を押す

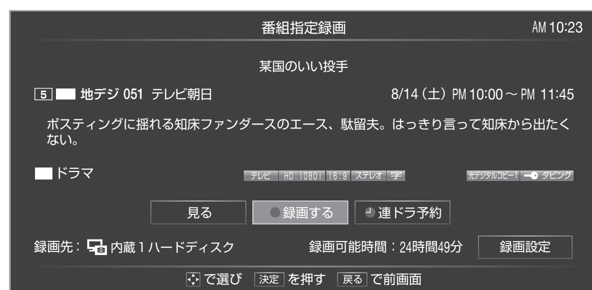
2 録画する番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

3 録画設定を変更する場合は、▲·▼·◀·▶で「録画設定」を選び、決定を押す

4 以下の操作で録画・予約をする

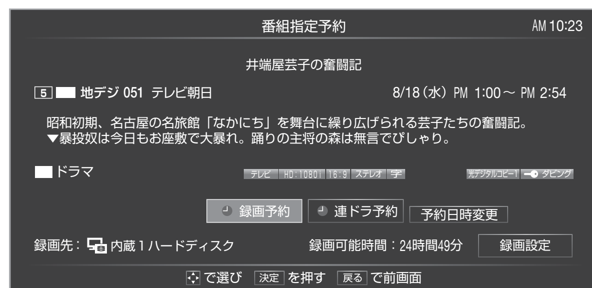
● 録画機器や設定を変更する場合は、「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」55 の操作をします。

現在放送中の番組を選んだ場合



❶ ▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定を押す
● 録画が開始されます。

これから放送される番組を選んだ場合



❶ ▲·▼·◀·▶で「録画予約」、「連ドラ予約」のどちらかを選び、決定を押す
- **録画予約**
  指定した番組の録画を予約します。
- **連ドラ予約➡**51 をご覧ください。
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。
  ※ 録画機器が内蔵、USBハードディスクの場合に表示されます。
- **毎予約**
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。
  ※ 録画機器がレグザリンク対応の東芝レコーダーの場合に表示されます。

❷「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

予約する日時を変更する場合

● 日時指定予約設定メニューへ移動します。

❶ ▲·▼·◀·▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す
● メッセージが表示されます。

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❸「日時を指定して録画・予約をする」52 の手順 **4** 以降の操作をする



● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。18（東芝レコーダーの予約は表示されません）
● 予約の確認や取消しについては、56 をご覧ください。

連続ドラマを予約する ～連ドラ予約～

● 連続ドラマなどの番組を、最終回まで毎回自動的に録画されるように予約することができます。
※ 録画機器が内蔵、USBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

番組表で連ド予約をする場合

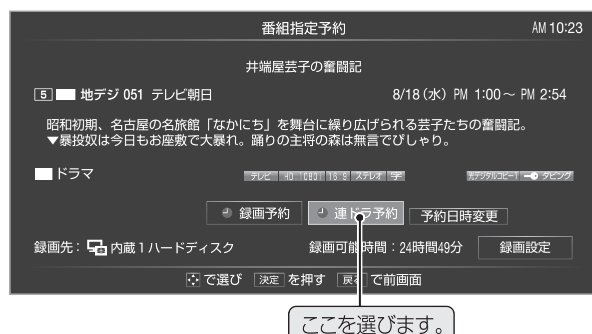
1 番組表 を押す

2 連ドラ予約をする番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

3 番組の録画先の機器を内蔵、USBハードディスクのどちらかに設定する

● 「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」55 の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲・▼・◀・▶で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

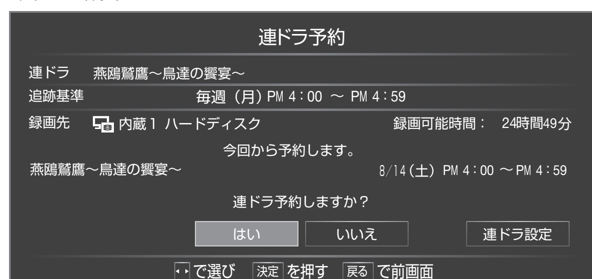


5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

● 録画予約する曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」55 の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。



6 ◀・▶で「はい」を選んで決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

1 クイック を押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 左記の手順 *5*～*7* の操作をする

連ドラ予約の動作について

● 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）をもとに、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 追跡基準（開始時刻）の前後約２時間が検索されます。
● 追跡キーワードには、連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には、番組の放送日時が自動で設定されます。
● 番組情報を取得できない場合は、正しく設定できないことがあります。



● 放送中の番組を選択した場合は、次回の放送からの予約となります。
● 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
● 連ドラ予約後に番組情報が取得できなくなった場合は、追跡基準の日時で録画されます。
● 追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。その場合、追跡基準の日時に録画をすることもできます。
● 予約の確認や取消しについては、56 をご覧ください。

日時を指定して録画予約をする

1 レグザリンク を押す

● レグザリンクのメニューが表示されます。

2 ◀･▶で「予約を確認する」を選び、決定を押す



● 予約リストが表示されます。

3 青 を押す



● 日時指定予約画面が表示されます。

4 録画予約の日時を設定する

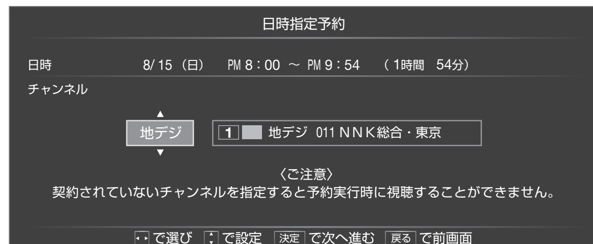


❶ 設定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で日時を設定する

● 6週間先まで指定できます。
● 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週（月）」～「毎週（日）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。
● 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷ 設定が終わったら、決定を押す

5 録画するチャンネルを設定する



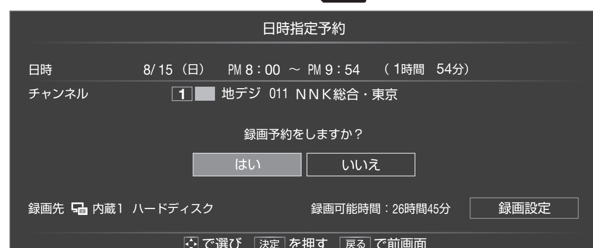
❶ 設定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で内容を選ぶ

• 放送の種類………地デジ／ BS ／ CS
• チャンネル………指定された放送の該当するチャンネル

❷ 設定が終わったら、決定を押す

6 録画設定を変更する場合は、55☞ の手順で操作をする

7 ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す



8 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す



● 日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。
● 予約の確認や取消しについては、56☞ をご覧ください。

携帯電話やパソコンから録画予約をする

● 外出先などから携帯電話やパソコンを使って、6週間先までの範囲で本機に録画予約をすることができます。
● あらかじめ、接続や設定が必要です。「インターネットに接続する」（準備編 74 ）の章および、「携帯電話やパソコンから録画予約できるように設定する」（準備編 61 〜 62 ）をご覧ください。

Eメールで予約する

● パソコン、携帯電話のどちらからでも録画予約できます。

Eメールを作成し、送信する

※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。ほかの形式のメールには対応していません。
● メールの宛先は「Eメール録画予約設定」の「基本設定」で登録した「メールアドレス」です。
● 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールだけです。
● 録画予約ができるのは、予約メール1通につき1件です。
● 件名は自由に入力できます。
❶〜❼はすべて半角文字で入力してください。各項目の間には半角スペースを入れてください。

メール作成画面（例）

BCC
件 名
添付ファイル　なし

dtvopen XXXXXX 20100817 0900 1100 TD0120 H1
❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼

❶識別コード
● 「dtvopen」と入力します。（小文字）

❷パスワード
● 「Eメール録画予約設定」で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

❸録画日
● 西暦（4ケタ）月日（4ケタ）を入力します。
（1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます）

❹録画開始時刻
● 00 〜 23（時）に続けて00 〜 59（分）を入力します。

❺録画終了時刻
● 00 〜 23（時）に続けて00 〜 59（分）を入力します。

❻録画チャンネル
● 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。

① **放送の種類を表す略号を入力する**

放送の種類	略号
地上デジタル放送	TD
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS

② **略号に続けてチャンネル番号を入力する**

■ **地上デジタル放送の場合**
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例 チャンネル番号：011の場合…TD011
※ 枝番を指定する場合は、3ケタのチャンネル番号と枝番を入力します。（例：TD0113）

■ **BSデジタル／ 110度CSデジタル放送の場合**
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例 BS103、CS001

❼録画先機器
● 録画先機器の略号と録画機器の番号を入力します。指定しない場合は、「Eメール録画予約設定」で登録した「録画機器」に録画されます。

録画先機器	略号と番号	説明
内蔵ハードディスク	H1、H2	−
USBハードディスク	U1〜U8	数字は、「機器の登録」の画面（準備編 56 ）に表示される番号です。

返信メールを確認する

● 「Eメール録画予約設定」の「予約設定結果通知」を使用するように設定している場合は、予約メールの送信後しばらくすると本機からメールが返信されます。

「予約を登録しました。」の返信メールの場合
● 以上で予約が完了です。

その他の返信メールの場合
● 下表に従って作成メールを修正し、もう一度送信してください。本体側のエラーが発生する場合は、予約できません。

返信メールの内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	❶〜❼の書式を確認します。
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	❸〜❺が6週間先を超えていないか確認します。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルは本体に設定されていません。	❻の指定が正しいか、確認します。
予約を登録できませんでした。指定された機器は本体に登録されていません。または接続されていません。	❼の指定が正しいか、確認します。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	本機の電源プラグが抜かれていることなどが考えられます。



● 予約メールは、「POP3アクセス時刻」（準備編 61 ）で指定した時刻に受信されます。（Eメールを本機で見ることはできません）
● 「Eメール録画予約設定」の「予約アドレス登録」で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録してください。

携帯電話やパソコンから録画予約をする つづき

Eメール録画予約時の注意事項

- パソコン側で、自動的にメールサーバーからメールを受信し、サーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがあります。サーバーにコピーを残すなどの設定が必要です。
- メールソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
- メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できない場合があります。
- 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまう場合があります。
- 予約時に録画機器の状態(接続状態、ハードディスク残量)の確認は行われません。録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画はできません。
- メールのウイルス対策はされていません。
- 一度に受信可能な予約メールは64件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
- 正しく設定されていることを確認するために、事前に正しく録画できることをお試しください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する

※ 携帯電話だけで予約できます。
- テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
- iモード、EZweb、Yahoo!ケータイに対応しています。携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。
- 録画先は「Eメール録画予約設定」(準備編 61 〜 62)で設定した機器になります。

準備をする

❶携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛てにタイトルと本文なしのメールを送る
- メールを送信できない場合は、本文に文字を入れてください。
- QRコード(下図)からもメールの宛先を入手することができます。



※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてきたら、メールの説明に従って登録をする

❸会員登録が完了すると、録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、そのURLをブックマークに登録する(携帯電話の「お気に入り」に登録する)

録画予約をする

❶録画予約用のURL(左記の❸を参照)にアクセスする
はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする
- 録画予約できるのはデジタル放送だけです。
- 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「Eメール録画予約設定」で設定したものを入力します。



- テレビサーフモバイルサービスは株式会社東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
- テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
- iモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- EZwebはKDDI株式会社の商標です。
- Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
- インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が別途必要です。
- ご利用には別途通信料が発生します。
- テレビサーフモバイルサービスについてのお問合せ先は、上記「準備」❷で送られるメールに記載されています。

録画設定や連ドラ設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「録画設定」・「連ドラ設定」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。(「×」は設定がありません)

3 ▲・▼で設定を選び、決定を押す

4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

項　目	内　容	内蔵・USB ハードディスク	レグザリンク対応 東芝レコーダー
録画先	• 録画をする機器を選びます。	○	○
保護	• 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。63	○	×
連ドラ	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます。(文字入力のしかたは 26 をご覧ください) 再生のときに録画リストを「連ドラ別」の表示にすれば、連ドラの名称ごとにグループ分けされた中から番組を探すことができます。 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。67	○	×
追跡キーワード	• 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます。 ※ 1回の放送に限られるようなキーワード(「第○○話」、出演者名など)は削除しておきます。	○	×
マジックチャプター	• シーンの変わり目で自動的にチャプター(章)に分割する機能です。「する」、「しない」を設定します。	○	×
追跡基準	• 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。	○	×
上書き録画	• 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。	○	×
放送時間	• 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。 ※ 放送時間の繰上げには対応できません。 • 日時指定予約、連ドラ予約では設定できません。 • 内蔵、USBハードディスクの場合、ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順については 57 をご覧ください。	○	○
画質モード	• 音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。 • 「画質モード」の「現在設定内容」と「設定1～5」は、録画機器側で設定されている内容です。	×	○
音質モード	• 画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。(画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1～5」「TS」のときは、音質モードの設定はできません)	×	○
DVD互換	• DVD-Videoの作成を前提とする場合は、必ず「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定します。 • 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。 • 画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1～5」「TS」のときは、選択できません。	×	○



● 「マジックチャプター」のシーン検出は、当社が独自に開発した技術を利用しています。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。

予約の確認・変更・取消しをする

● 予約の確認と取消しをすることができます。
※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認できません。機器側で確認や取消しの操作をしてください。

予約の確認・変更・取消し

1 レグザリンク を押す

2 ◀·▶で「予約を確認する」を選び、決定を押す



● 予約リストが表示され、予約の確認ができます。

3 予約を確認する番組を▲·▼で選び、決定を押す



4 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

録画設定を変更するとき

● 前ページの「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」の操作をします。

連ドラ予約番組の確認・変更・取消し

●「連ドラ予約」をした番組をリストで確認したり、予約を取り消したりすることができます。

1 左記の手順*1*、*2*の操作をする

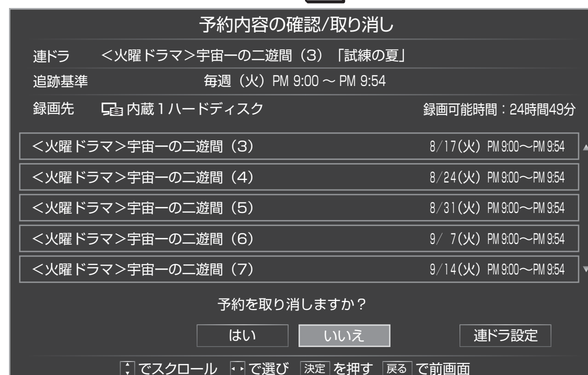
2 連ドラ予約を確認する番組を予約リストから▲·▼で選び、決定を押す

● 選んだ予約番組の「予約内容確認/取り消し」画面が表示されます。
※ 8日以上先の番組は表示されません。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す



録画設定を変更するとき

● 前ページの「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」の操作をします。

予約に関するお知らせ

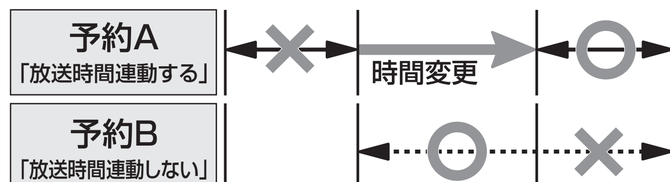
予約番組の優先順位について

● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

● 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

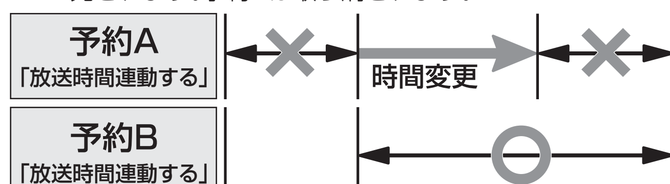


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶ 開始時刻が変更された場合

● 開始時刻の早い予約が優先されます。

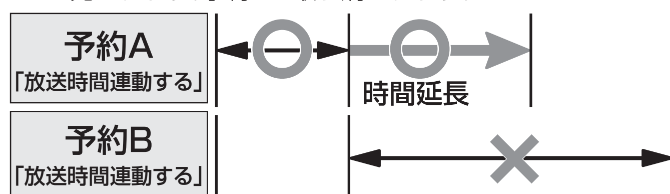
例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。



❷ 終了時刻が延長された場合

● 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻延長に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。



❸ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

レグザリンク対応の東芝レコーダーのとき

● 最初に予約設定した番組が優先されます。
● 2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

内蔵・USBハードディスクのとき

● 2番組同時録画ができます。

予約の動作について

● 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約設定後

● 録画予約があると、チューナー前面の録画/ダビング表示ランプがオレンジ色に点灯します。

▼

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、終了または■を押します。

※ モニターの入力を選択中は、メッセージの表示はありません。また、予約中止の操作もできません。

● 2番組同時録画の予約をしていた場合は、チャンネルが切り換わることがあります。

● チューナー前面の録画/ダビング表示ランプが赤色に点灯します。

● 内蔵ハードディスクに録画中はチューナー前面のハードディスク表示ランプが青色に点灯します。

▼

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」と表示されます。（モニターの入力を選択中は、メッセージの表示はありません）

● 「今すぐニュース」の録画中に別の録画が始まると、「今すぐニュース」録画は中止されます。

● ●録画を押して録画しているときに予約した録画が始まると、●録画で開始した録画は中止されることがあります。両方の録画の録画先が内蔵、USBハードディスクの場合で合わせて2番組のときは、2番組同時録画になります。

▼

予約した番組の放送終了時

● 本機を通常どおり使用できます。

● 録画予約した番組の録画が終了した場合は、チューナー前面の録画/ダビング表示ランプが消えます。ほかにも録画予約がある場合は、録画/ダビング表示ランプがオレンジ色に点灯します。

録画した番組を再生する

● 内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画されている番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作

1 レグザリンク を押す

2 ◀·▶で「録画番組を見る」を選び、決定 を押す



3 再生機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す



● 録画リスト（下の図を参照）が表示されます。

4 見たい番組を▲·▼で選び、決定 を押す

※ 録画リストの表示モードを切り換えるときは、|«|·|»|を押します。60

※ グループのタブが表示される録画リストの表示モードの場合は、◀·▶でタブを切り換えます。

● 選んだ番組の再生が始まります。

● 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます。（レジューム再生）

● 画面に表示されている現在時刻やタイムバー表示を消すには、画面表示 を押します。

● 録画番組再生中のリモコン操作については、次ページをご覧ください。

● 最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になります。

5 番組再生を終了するときは、終了 を押す

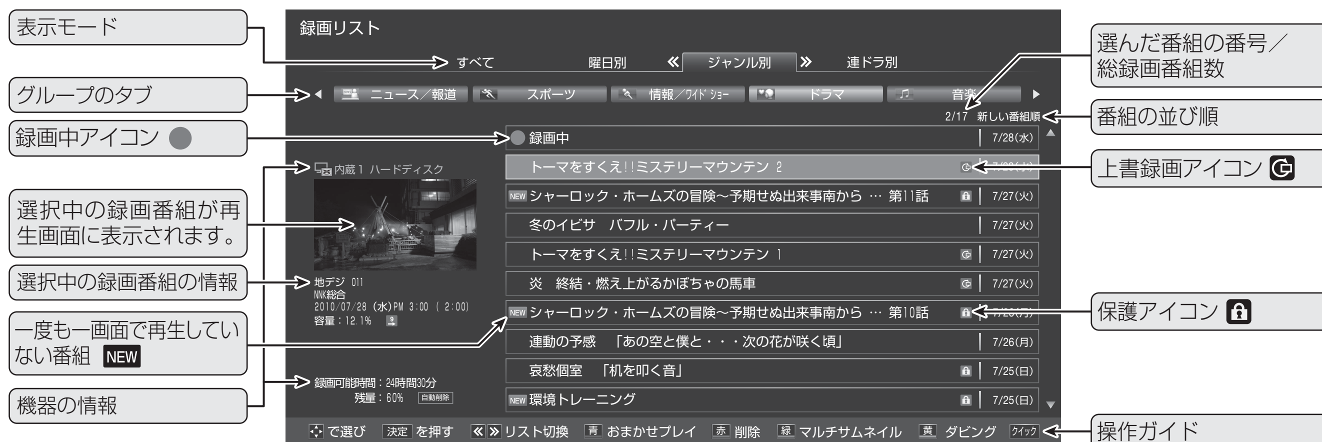
● 放送画面などに戻ります。

本編だけを再生する－おまかせプレイ

● 「録画設定」で「マジックチャプター」を「する」に設定した録画番組では、CMなどを自動的に飛ばして本編だけを再生することができます。

❶ 再生する番組を▲·▼で選んで 青 を押す

内蔵、USBハードディスクの録画リスト（ジャンル別表示の例）



お知らせ

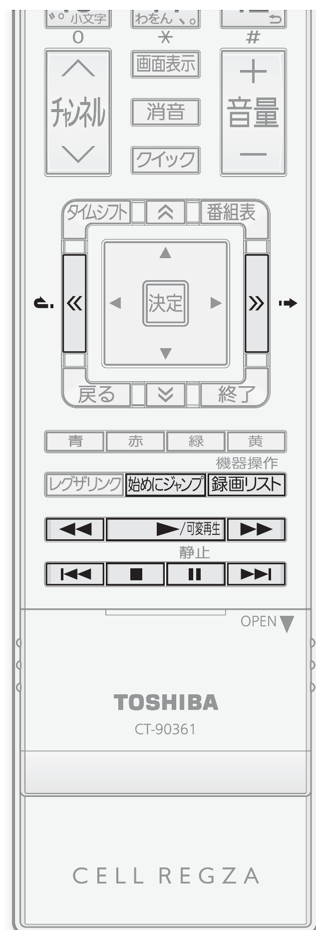
● 録画リストに表示できる最大数は、内蔵、USBハードディスクともに1000番組までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。USBハードディスクの場合、最大数は機器によって制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。

● 録画番組の情報として表示される時刻や時間は正しくない場合があります。

● 放送番組などの視聴中に ▶/可変再生 を押すと、内蔵・USBハードディスクで最後に視聴した録画番組が再生されます。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

● リモコンで以下の再生操作などができます。



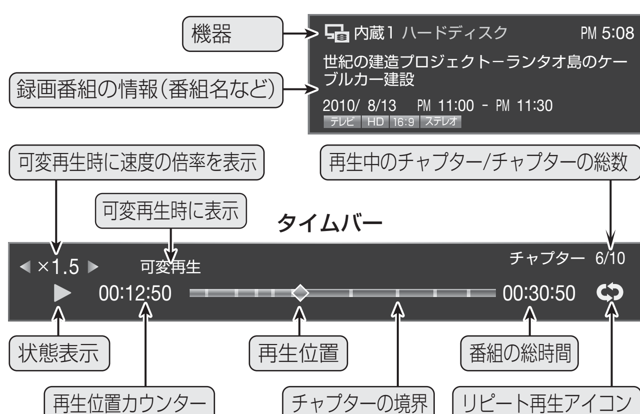
ボタン	動　作
▶/可変再生	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 • 通常の再生中に押すと可変再生モードになり、◀·▶で0.9～1.5倍速の範囲で速さを変えることができます。（◀：遅く、▶：早く） 可変再生から通常の再生に戻すには、もう一度 ▶/可変再生 を押します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。 • 一時停止中にチャプター編集ができます。65
■	再生を停止し、録画リスト画面に戻ります。
▶▶	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります）
◀◀	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります）
始めにジャンプ	再生中の番組の始めに戻って再生します。
»|	再生中または可変再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ） • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」（準備編 60）で変更できます。
|«	再生中または可変再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ） • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶❙	次のチャプターに スキップします。 • チャプターのない録画番組では一つ次の番組を再生します。
❙◀◀	再生中のチャプターの先頭に戻って再生します。 • チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから3秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の末尾のチャプターの先頭にスキップします。
録画リスト	再生中に押すと、選択中の機器の録画リストが表示されます。

● 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。また、現在録画中の場面まで進むと、再生が停止することがあります。
● 録画中の番組の再生時（追っかけ再生時）は、❙◀◀、▶▶❙でのチャプタースキップはできません。タイムバー（以下を参照）にチャプターの境界は表示されません。

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報や再生状態を確認する

❶再生中に 画面表示 を押す



❷表示を消すには、もう一度を 画面表示 押す

番組説明を見る

❶録画リスト表示中または番組の再生中に 番組説明（ふたの中）を押す

● 番組説明画面が表示されます。表示内容や操作方法は放送番組視聴時の場合 16 と同じです。ただし、黄 での詳細情報取得はありません。

❷番組説明画面を消すには、決定 を押す

● しばらく放置した場合にも消えます。

再生する

録画した番組を再生する

録画した番組を再生する つづき

見たいシーンを探して再生する

● リスト表示からマルチサムネイル表示に切り換え、見たいシーンを探して再生することができます。

※ 録画中の番組ではマルチサムネイル表示の機能は使用できません。

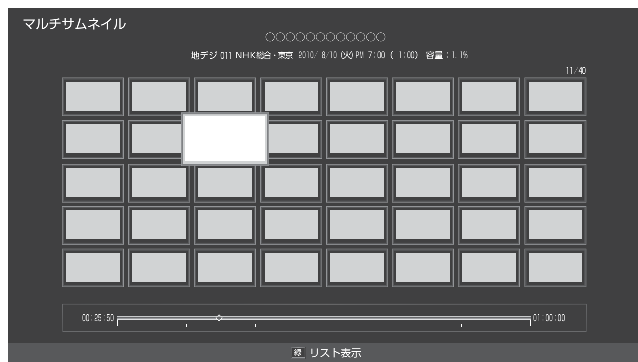
❶ 見たい番組を▲･▼で選び、[緑]を押す

● [緑]を押すたびにリスト表示とマルチサムネイル表示に交互に切り換わります。

● マルチサムネイル表示では、選んだ番組を40分割した位置のそれぞれの先頭シーンの1コマが画面に並びます。

※ サムネイルの最小表示間隔は1分です。40分未満の番組や、録画を途中で中止した番組では分割数が40未満になります。

【マルチサムネイル表示】



❷ 見たいシーンを▲･▼･◀･▶で選び、[決定]を押す

● 選んだシーンの先頭から再生が始まります。

※ マルチサムネイル表示はチャプター（章）に分割する機能ではありませんので、[|◀◀]や[▶▶|]でシーンごとにスキップすることはできません。

番組の冒頭から再生する（頭出し）

❶ 再生する番組を▲･▼で選び、[クイック]を押す

❷ ▲･▼で「頭出し再生」を選び、[決定]を押す

録画リストの表示モードを切り換える

● 表示モードを、「すべて」から「曜日別」や「ジャンル別」、「連ドラグループ別」に切り換えることができます。

● 見たい録画番組が探しやすい表示にしてください。

❶ 録画リスト画面で、[«]・[»]で表示分類のタブを選ぶ

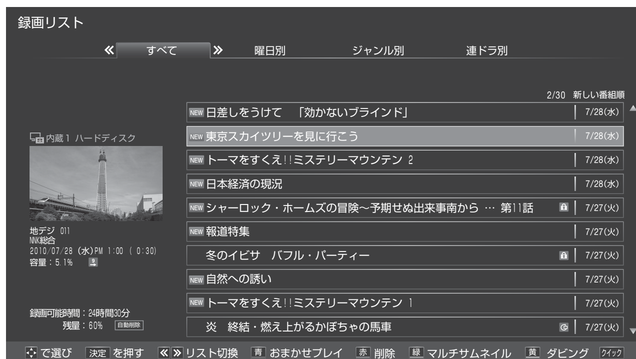
• **すべて**…………すべての録画番組が表示されます。

• **曜日別**…………録画した曜日ごとに表示されます。
◀･▶で曜日のタブを切り換えます。

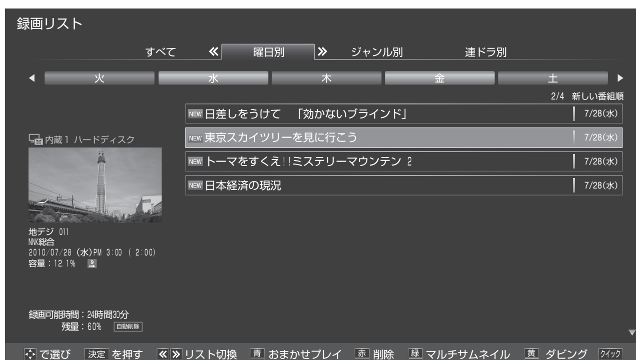
• **ジャンル別**……ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
◀･▶でジャンルのタブを切り換えます。

• **連ドラ別**………「連ドラ予約」51 の予約ごとに表示されます。「連ドラ予約」で録画した番組がない場合は選べません。
◀･▶で連ドラグループのタブを切り換えます。

【すべて表示】



【曜日別表示】



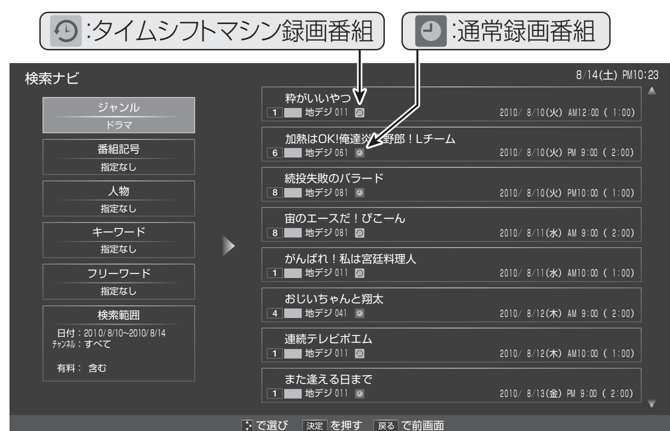
見たい録画番組を探して再生する

● 「条件を絞り込んで番組を探す」 22 ～ 25 の操作で内蔵ハードディスクやUSBハードディスクの録画番組を検索することができます。
● 過去番組の検索の場合、以下の点が放送中番組・放送予定番組と異なります。

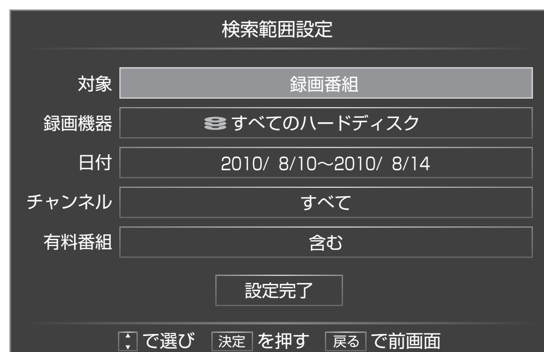
検索ナビで探す

検索ナビ画面

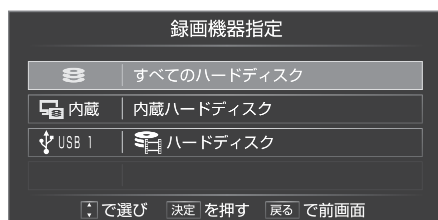
● 検索結果の画面には、すべての録画番組から検索した結果が表示されます。



検索範囲を指定するとき



● 「対象」は「録画番組」に指定します。
● 検索対象の「録画機器」を選択します。
▲·▼で機器を選んで決定を押します。
※ USBハードディスクが接続されていない場合は、この項目は選択できません。「すべてのハードディスク」が指定されます。



● 「日付」は範囲を指定します。
◀·▶で欄を選び、▲·▼で検索開始日、検索終了日を選びます。左端の欄を「指定する」にしてから設定します。
選び終わったら、決定を押します。



検索結果から通常録画番組を選んだとき

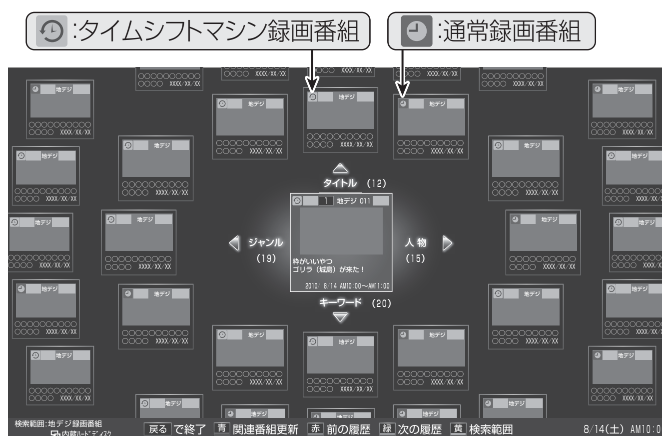
※ がついた番組を選んでください。
● 選択した録画番組の再生が始まります。

ローミングナビで探す

検索範囲の指定

● 黄 を押し、▲·▼で「対象」を選んで決定を押し、▲·▼で「録画番組」を選んで決定を押します。
● 「日付」の指定はありません。その他は検索ナビと同様です。

ローミングナビ画面



注目番組、関連番組

● 注目番組、関連番組ともに、すべての録画番組が対象となります。 がついた番組を選んで操作してください。

検索結果から番組を選んだとき

● 上記の「検索結果から番組を選んだとき」と同じです。

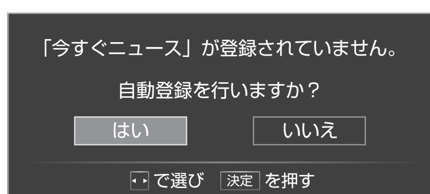
最新のニュースを再生する 今すぐニュース／テレビの前から離れるとき ちょっとタイム再生

● 内蔵ハードディスクに自動録画された最新のニュース番組をいつでも見ることができます。
● 自動録画される番組は、「今すぐニュース番組登録」（準備編 53）で登録したニュース番組です。
● 放送または外部入力を視聴しているときに以下の操作をします。

1 クイック を押し、▲・▼で「今すぐニュース」を選んで 決定 を押す

● 自動録画されたニュース番組が再生されます。
● 早送り、早戻しなどのリモコン操作ができます。59 を参考にしてください。（チャプターのスキップや録画リストに関する操作はありません）

メッセージが表示されたとき



● 自動登録をする場合は、◀・▶で「はい」を選んで 決定 を押してください。
● 番組表からお好みのニュース番組を登録することもできます。その場合は、「いいえ」を選んで 決定 を押し、「「今すぐニュース」の番組を登録する」21 の操作をしてください。

2 再生を終了するときは、■ または 終了 を押す

「今すぐニュース」の自動録画を中止するには

● 「今すぐニュース録画中」の表示は、画面表示 を押せば確認できます。

❶「今すぐニュース」の自動録画中に、終了 または ■ を押す

❷確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで 決定 を押す

● 以下の場合、「今すぐニュース」の自動録画は行われないか、または自動的に中止されます。
- 番組情報の取得（番組表の更新）をした 19
- ほかの録画が始まった
- 録画予約の開始時刻が近い
- 録画番組のダビング 66、タイムシフト録画番組の保存 45 をしている
- 動画再生 73、写真再生 75、音楽再生 79 をした
- ブロードバンドメニュー 82 で各ブラウザを起動した

※ 上記のほか、データ放送を選んだときや、一部のメニュー操作などでも中止されることがあります。

「今すぐニュース」の機能を使わないとき

● 「今すぐニュース」の登録番組をすべて削除します。

❶ 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲・▼と 決定 で「レグザリンク設定」⇨「内蔵ハードディスク設定」⇨「今すぐニュース番組登録」の順に進む

● 「今すぐニュース番組登録」の画面が表示されます。

❷ 赤 を押す

❸確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで 決定 を押す

ちょっとタイム再生

● テレビを見ているときに不意の来客があったり、電話がかかってきたりしてテレビの前から一時的に離れなければならないときなどに便利です。
※ すでに2番組を同時に録画しているときには、この操作はできません。

1 テレビの前から離れるときに ●録画（ふたの中）を押す

2 ◀・▶で「はい」を選び、決定 を押す

● 録画が始まります。
● 時間に余裕があるときは、必要に応じて録画先の機器や録画時間などの確認・設定をしてください。

3 テレビの前に戻ったら、▶/可変再生 を押す

● 録画を始めたところから番組再生が始まります。
● 再生中に早送りや、可変再生などができます。59

4 再生を終了するときは、終了 または ■ を押す

● 早送り再生の操作をするなどで放送中の場面に追いついた場合は、録画を停止させて放送画面のほうを見ることもできます。
● 録画を停止させなかった場合は、「ダイレクト録画時間」（準備編 60）で設定した時間だけ録画が続きます。（手順**2**で録画時間を設定した場合は、その時間だけ録画が続きます）
● 録画した番組をあとで見るには、58 の操作をします。

お知らせ

● 「今すぐニュース」の自動録画は、本機の電源が「入」、「待機」のいずれの場合にも行われます。
● 最新のニュース番組の自動録画が終わると、古いニュース番組は自動的に削除されます。
● 最新のニュース番組が最後まで録画できなかった場合は古いニュース番組が残り、新しいニュース番組は保存されません。
● 「今すぐニュース設定」で登録したニュース番組の放送時間が変更された場合は、手動でニュース番組の登録・取消しをしてください。
● 登録した番組をすべて取り消した場合、「今すぐニュース」で録画された内容は削除されます。
● 「今すぐニュース」で自動録画された番組は、録画リスト 58 には表示されません。

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

● いずれも録画リストの表示中に以下の操作をします。

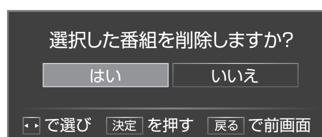
一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲･▼で選び、赤を押す

2 ▲･▼で「1件削除」を選び、決定を押す



3 確認画面で、◀･▶で「はい」を選んで決定を押す



※ 削除中は操作しないでください。

4 「削除を完了しました。」と表示されたら、決定を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを▲･▼で選び、赤を押す

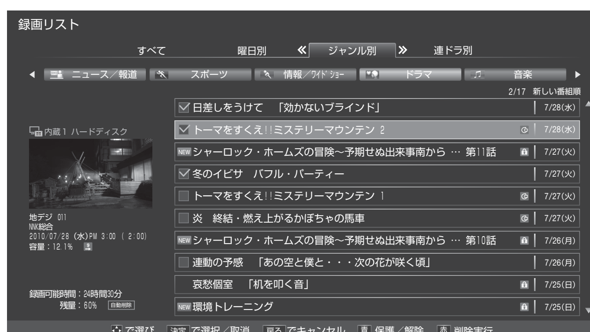
2 ▲･▼で「複数削除」を選び、決定を押す

● 複数選択画面が表示されます。

3 消す番組を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。削除する番組に✔をつけます。

● 録画中の番組は削除できません。保護された番組は、青を押して保護を解除すれば削除できます。



4 選択が終わったら赤を押す

5 左記「1件削除」の場合の手順*3*と*4*と同様に操作する

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループが含まれている録画リストを表示させる

● 「録画リストの表示表示モードを切り換える」60をご覧ください。

2 削除するグループのタブを◀･▶で選ぶ



3 赤を押し、▲･▼で「タブ内全削除」を選んで決定を押す

4 「削除を完了しました。」と表示されたら、決定を押す

自動的に消す

● お買い上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。

● 削除されないようにする場合は、「内蔵ハードディスク設定」（準備編53）や「USBハードディスク設定」（準備編56）で、「自動削除設定」を「しない」に設定してください。

誤って消さないように保護する

● 録画した番組の削除やダビングができないように設定します。

※ 録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲･▼で選び、クイックを押す

2 ▲･▼で「保護/保護解除」を選び、決定を押す

● 決定を繰り返し押すたびに「保護」と「保護解除」が交互に切り換わります。

● 保護された番組にはアイコン「🔒」がつき、削除やダビングはできなくなります。

その他の操作をする ～録画リストでのクイックメニュー操作～

繰返し再生(リピート)の設定を変える

● リピート再生の設定ができます。録画リストの表示中に以下の操作をします。

1 繰返し再生をする番組を▲･▼で選び、クイックを押す

2 ▲･▼で「リピート」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で設定項目を選び、決定を押す

- **1番組**……一つの番組を繰り返して再生します。
- **オフ**………通常の再生をします。

※「1番組」に設定した番組(リピート再生をする番組)は、再生時のタイムバーにリピート再生アイコンが表示されます。59

※ 録画中の番組はリピート再生できません。

番組を並べ替える

● 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。録画リストの表示中に以下の操作をします。

1 クイックを押し、▲･▼で「並べ替え」を選んで決定を押す

2 ▲･▼で「新しい番組順」または「古い番組順」を選び、決定を押す

● 指定した順に番組が並べ替えられます。

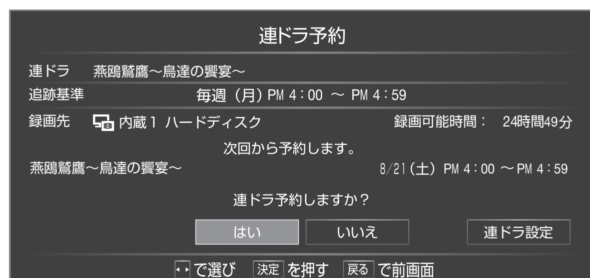
連ドラ予約をする

● 録画リストから番組を選び、次回の放送から連ドラ予約に設定することができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲･▼で選び、クイックを押す

2 ▲･▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀･▶で「はい」を選んで決定を押す



● 「連ドラ設定」を変更する場合は、「録画設定や連ドラ設定を変更するとき」55の操作をします。

ほかの機器を選択する

● 使いたい機器を変更するには、録画リストの表示中に以下の操作をします。

1 クイックを押し、▲･▼で「機器選択」を選んで決定を押す

● 機器選択画面が表示されます。

2 使用する機器を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

ハードディスクの残量を確認する

● ハードディスクの使用状態と残量を画面で確認できます。録画リストの表示中に以下の操作をします。

※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。

※ ハードディスクの残量は、BSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 クイックを押し、▲･▼で「ハードディスク残量表示」を選び、決定を押す

● 残量表示画面が表示されます。

2 残量表示画面を消すには、決定を押す

チャプター編集をする

● 一つの録画番組をいくつかのチャプターに分けたり、分けたチャプターをつないだりすることができます。
● チャプター編集をした番組は、再生時に［⏮］・［⏭］の操作でチャプターの頭出し再生ができるようになります。
※ 録画中の番組でチャプター編集をすることはできません。
※ チャプターの最大分割数は1000です。また、一つのチャプターの最小時間は5秒です。

録画リストから番組を選んで編集する

1 「再生の基本操作」58 の手順1〜3の操作で録画リストを表示させる

● チャプター編集をする録画番組が含まれている録画リストを表示させるには、必要に応じてさらに「録画リストの表示モードを切り換える」60 の操作をします。

2 チャプター分割をする番組を▲·▼で選び、［クイック］を押す

3 ▲·▼で「チャプター編集」を選び、［決定］を押す

● チャプター編集画面が表示され、選択した番組の冒頭から再生が始まります。



4 再生ポイントを移動する

● 「録画番組再生中にできるリモコン操作」59 を参照してリモコンを操作し、チャプターを分割・結合したいポイントに移動します。
● ［⏮］·［⏭］でチャプターのスキップをすると、チャプターの先頭で一時停止になります。
● ◀·▶でもチャプターのスキップができます。（スキップすると、チャプターの先頭から再生されます）

5 チャプター編集をする

チャプターを分割する

● 現在の再生ポイント位置でチャプター分割をします。

❶ ［青］を押す

前のチャプターと結合する

● 先頭のチャプターでこの操作はできません。

❶ ［赤］を押す

録画番組の再生中に編集する

● 録画番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる

● 左記の手順1と同様です。

2 チャプター編集をする録画番組を▲·▼で選び、［決定］を押す

● 録画番組の再生が始まります。

3 各種の再生操作をして、チャプター編集をしたい場面で［⏸］を押す

● 「録画番組再生中にできるリモコン操作」59 を参照してリモコンを操作し、チャプターを分割・結合したいポイントに移動します。
● 一時停止状態にすると画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。



4 ［青］または［赤］を押す

● を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。
● を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。
● 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

録画番組をダビングする

● 本機で内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
- 内蔵ハードディスクとUSBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)のみできます。
- DTCP-IP対応サーバーに、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。次ページの「レグザリンクダビング」をご覧ください。

※ 録画中はダビングできません。また、ダビング中に機器の取りはずしや接続変更をしないでください。

1 レグザリンク を押す

2 ◀·▶で「録画番組を見る」を選び、決定を押す



3 ▲·▼·◀·▶でダビング元の機器を選び、決定を押す

4 録画リスト画面で、ダビングする番組を▲·▼·◀·▶で選び、黄 を押す

5 ▲·▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定を押す

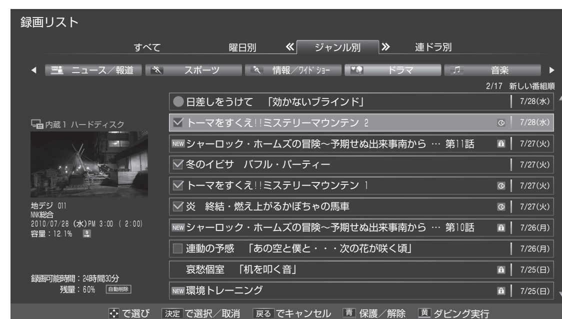
6 ダビング先を▲·▼で選び、決定を押す



7 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

❶ 複数選択画面で、ダビングする番組を▲·▼·◀·▶で選んで決定を押す

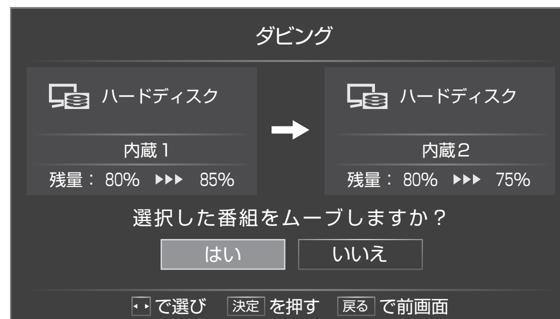
● 決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わり、✓を付けた番組がダビングされます。
● 録画中の番組はダビングできません。
● 保護されている番組は、青 を押して保護を解除すればダビングできます。



❷ ダビングする番組をすべて選んだら、黄 を押す

● 一度にダビングできるのは16番組までです。

8 「ダビング」画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す



※ 番組のダビング中はチューナー前面の録画/ダビング表示ランプが赤色に点灯します。

● ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。





● ダビング中は「今すぐニュース」の自動録画は行われません。
● ダビング中にできない操作をすると、画面にメッセージが表示されます。ダビングが終了するまでお待ちください。
● ダビング中に録画予約の開始時刻になった場合は、画面にメッセージが表示され、ダビングは中止されます。

連ドラグループ名を変更する

レグザリンクダビング

● DTCP-IP対応サーバーやDTCP-IP対応の東芝レコーダーにLAN経由でデジタルダビングをすることができます。
● 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

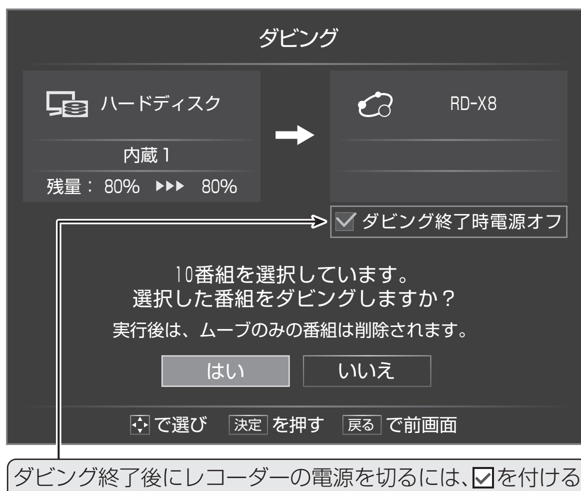
準備

❶ **本機とDTCP対応サーバーやDTCP-IP対応の東芝レコーダーをLANで接続する**
● 「ホームネットワークの接続・設定をする」の「機器を接続する」（準備編 59）を参照してください。

❷ **ネットワークの設定をする**
● 準備編上記ページの「機器のネットワーク設定を確認する」を参照してください。

ダビングの操作

● 前ページの操作手順と同じです。
手順*6*で、LAN接続したDTCP-IP対応サーバーやDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定してください。
※ 使用する機器がダビング先指定画面に表示されない場合は、接続や設定を確認してください。
● DTCP-IP対応の東芝レコーダーの場合は、ダビングが終わったときに東芝レコーダーの電源が切れるように設定することができます。
• 対応機種 形名
RD-X8、RD-S503、RD-S303、RD-X9、RD-S1004K、RD-S304K、RD-X10、RD-BZ800、RD-BZ700、RD-BZ600、RD-Z300
• 手順*8*の「ダビング」画面で、▲·▼·◀·▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定を押して✔をつけます。



● 録画リストの表示モードを「連ドラグループ別」にした場合に、連ドラグループ名を変更することができます。
● 名前を変更すると、予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
● 番組の録画中に名前を変更することはできません。

1 **「再生の基本操作」58 の手順*1*〜*3*の操作で録画リストを表示させる**

2 **|«|・|»|で「連ドラ別」の表示にする**

3 **名称を変更するグループのタブを◀·▶で選び、クイックを押す**



4 **▲·▼で「連ドラグループ名の変更」を選び、決定を押す**
● 文字入力画面が表示されます。

5 **文字入力画面で名称を変更する**
● 文字入力のしかたは、26 をご覧ください。
● 全角文字で10文字までの範囲で入力できます。
● 入力文字を確定して決定を押すと、録画リストに戻ります。

レグザリンクとは

レグザリンクの機能でできること

HDMI連動機器を操作する

● 本機に接続したHDMI連動対応（レグザリンク対応）の録画機器や再生機器、パソコン、オーディオ機器などの基本操作が本機のリモコンでできます。69 ～ 72

本機とHDMI連動機器の動作を連動させる

● ワンタッチプレイ……… HDMI連動に対応した機器を操作すると、機器に連動して本機の電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。

● システムスタンバイ…… 本機のリモコンで本機の電源を「待機」にしたときや、オフタイマー、省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときに、本機からのシステムスタンバイが働き、HDMI連動機能に対応した機器も同時に電源が「待機」になります。また、接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

内蔵・USBハードディスクの録画番組再生などをする

● 内容については、「再生する」58 の章および、「編集・ダビングする」65 の章をご覧ください。

動画、写真、音楽を再生する

● DLNA認定サーバーやDTCP-IP対応サーバーに保存されている動画、USB機器（デジタルカメラ、メモリーカードリーダー経由の各種メモリーカード、USBメモリーなど）やDLNA認定サーバーに記録されている写真（JPEGファイルの画像）、DLNA認定サーバーに保存されている音楽（リニアPCM、MP3）を本機で再生することができます。73 ～ 81

HDMI連動機能について

● 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。

● 本機と東芝製のHDMI連動機器（レコーダー、パソコンなど）や東芝推奨のオーディオ機器などをHDMIケーブルで接続することで利用できます。

※「録画・予約する」の章に記載されているレグザリンク対応の東芝レコーダーへの録画・予約の操作も、HDMI連動機能を利用したものです。

※ HDMI連動機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。本機は、お買い上げ時に「HDMI連動設定」（準備編73）で設定されています。

● 推奨機器以外の機器をHDMIケーブルで接続した場合に一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。

● 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。

● HDMI連動機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。

- 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
- すべての接続機器の動作を確認してください。

※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

HDMI連動機器について

オーディオ機器について

● オーディオ機器の入力状態によっては、本機から音声が出ない場合があります。

● オーディオ機器の連動操作中にオーディオ機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

オンキヨー製オーディオ機器でHDMI連動機能を利用する場合のお願い

対象機種：オンキヨー製　TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8

● オーディオ機器の電源プラグをコンセントに差し込む前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにオーディオ機器が正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、オーディオ機器の電源を入れ直してください。

※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とオーディオ機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

HDMI連動機器を操作する

● 本機のリモコンで、レグザリンク対応（HDMI連動対応）のレコーダーやプレーヤー、パソコンなどの基本操作をすることができます。

1 レグザリンク を押す

2 ◀·▶で「HDMI連動機器を操作する」を選び、決定 を押す

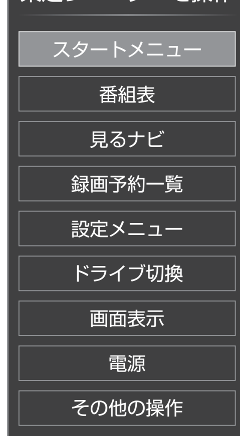


3 以下の操作をする

HDMI連動機器が1台のとき

● オーディオ機器以外の機器が1台のときは、機器操作メニューが表示されます。

例

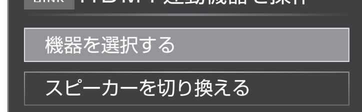


❶ **操作する項目を▲·▼で選び、決定 を押す**
- ● 操作項目の概要については、次ページをご覧ください。（おもな機器について記載しています）

HDMI連動機器が複数接続されているとき

● 操作を選択するメニューが表示されます。メニューに表示される内容は、接続されているHDMI連動機器の種類によって異なります。

例



❶ **操作する項目を▲·▼で選び、決定 を押す**

「機器を選択する」

● 機器選択画面が表示されます。

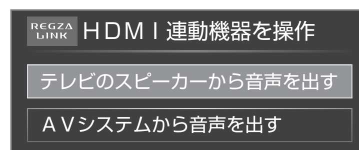


① **操作する機器を◀·▶で選び、決定 を押す**

● 選択した機器の機器操作メニューが表示されます。

「スピーカーを切り換える」

● この項目は、HDMI連動対応のオーディオ機器が接続されている場合に選択できます。
● 音声を出すスピーカーを選択するメニューが表示されます。

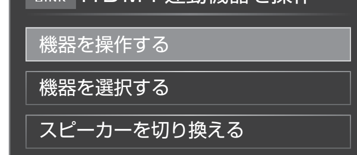


① **▲·▼でどちらかを選び、決定 を押す**
- **テレビのスピーカーから音声を出す**
  本機のスピーカーから音声が出ます。
- **AVシステムから音声を出す**
  オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。

HDMI連動機器の入力を選択中の場合

● HDMI連動機器が接続されている入力を選択しているときに左記手順***1***、***2***の操作をした場合には、以下のメニュー画面が表示されます。
● メニューの内容は、接続されている対象機器の種類や台数などによって異なります。オーディオ機器以外の機器が1台だけの場合は、機器操作メニューが表示されます。

例



● 「機器を操作する」を選択すると、機器操作メニューが表示されます。

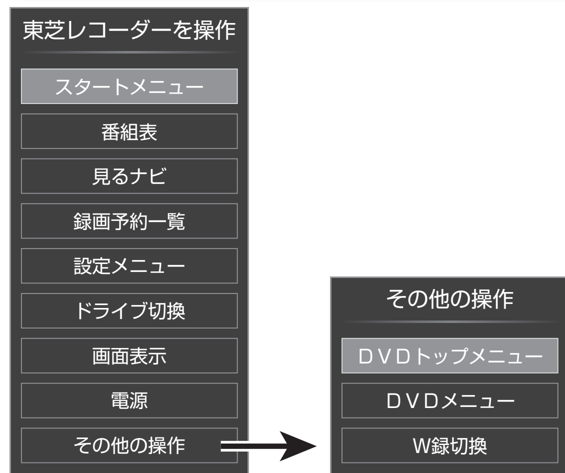


● チューナーのHDMI入力端子に接続された機器の映像を3D表示している場合は、機器操作メニューは表示されません。

HDMI連動機器を操作する つづき

レコーダーなどを操作する

東芝レコーダーを操作する



スタートメニュー

● 東芝レコーダーのスタートメニューが表示されます。

番組表

● 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

見るナビ

●「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます。

録画予約一覧

● 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

設定メニュー

● 東芝レコーダーの設定メニューが表示されます。

ドライブ切換

● ハードディスクとDVDを切り換えます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● 決定で電源の「入」、「待機」ができます。

DVDトップメニュー（その他の操作内）

● DVD視聴中に選ぶとDVDトップメニューが表示されます。

DVDメニュー（その他の操作内）

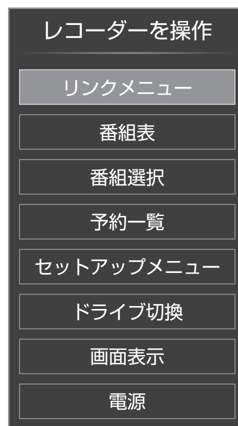
● DVD視聴中に選ぶとDVDメニューが表示されます。

W録切換（その他の操作内）

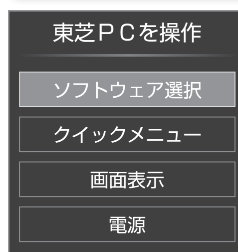
● W録選択を切り換えます。

東芝製以外のレコーダーを操作する

● HDMI CEC対応のレコーダーを操作します。
● すべての製品ですべての機能の操作ができることを保証するものではありません。



東芝パソコンを操作する



ソフトウェア選択

● 表示される項目を▲･▼で選んで決定を押すと、アプリケーションが起動します。

クイックメニュー

● 東芝パソコンのクイックメニューが表示されます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● 決定でパソコンの「起動」、「シャットダウン」ができます。

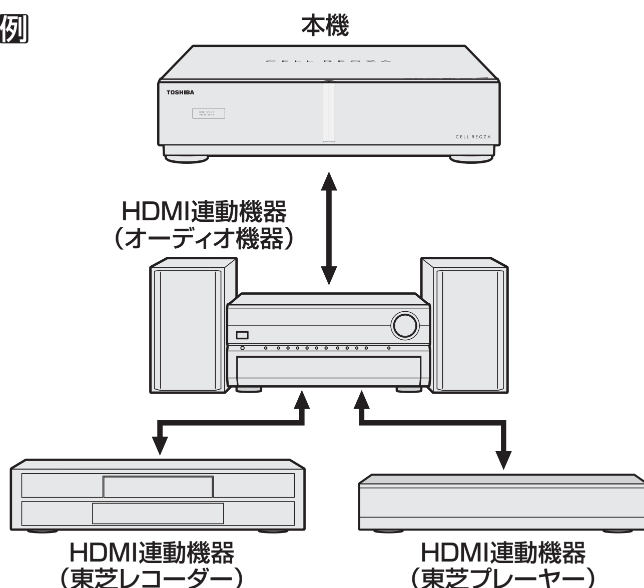


● レグザリンク対応機器、AVシステム音声連動対応機器については、「対応機器一覧」（準備編 112）をご覧ください。

■ 東芝パソコンについて
- ● 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や項目があります。
- ● アプリケーションの状態によってはパソコンでの操作が必要になる場合があります。

HDMI連動機器に接続された機器

例



東芝レコーダー選択時

東芝レコーダーを操作
- スタートメニュー
- 番組表
- 見るナビ
- 録画予約一覧
- 設定メニュー
- ドライブ切換
- 画面表示
- 電源
- その他の操作
- ＡＶシステムを操作

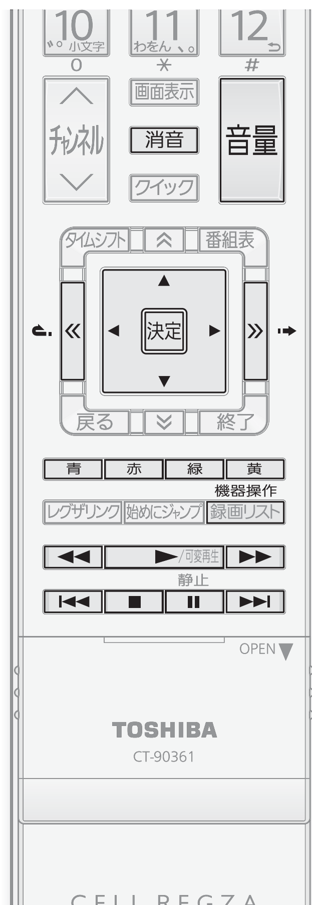
オーディオ機器選択時

ＡＶシステムを操作
- 入力切換
- 画面表示
- 東芝レコーダーを操作

● 東芝レコーダーなどを選択した場合、項目の中から「ＡＶシステムを操作」を選んでオーディオ機器の機器操作メニューを表示させることができます。
● オーディオ機器を選択した場合、オーディオ機器に接続されている機器の選択（入力切換）や、接続機器（東芝レコーダーなど）の機器操作メニュー表示などができます。

本機のリモコンでできる操作

● 本機のリモコンで、HDMI連動機器の以下の操作をすることができます。機器によっては、動作が異なる場合があります。



ボタン	動　作
▶/可変再生	番組を再生します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
■	録画や再生を停止します。
▶▶	再生中に押すと早送り再生をします。
◀◀	再生中に押すと早戻し再生をします。
»|	再生中に押すと少し先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ
|«	再生中に押すと少し戻って再生します。（ワンタッチリプレイ）
▶▶❙	再生中に押すと前に戻って頭出し再生をします。
❙◀◀	再生中に押すと一つ先に進んで頭出し再生をします。
機器操作 録画リスト	機器操作メニューが表示されます。
赤 緑 青 黄	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を操作します。
▲・▼・◀・▶	メニューなどで項目を選択します。
決定	選択した内容を決定たり、選択した操作を実行したりします。
戻る	一つ前の操作画面などに戻ります。
終了	メニュー操作などを終了します。
＋ 音量 −	オーディオ機器の音量を調節します。
消音	オーディオ機器の音を消します。

HDMI連動機器を操作する つづき

オーディオ機器の音声を設定する

● 以下の条件のときに、「HDMI連動機器を操作」のメニューから「AVシステムの音声を設定する」が選べるようになり、サラウンドメニューからお好みの音声を選択したり、ユニボリュームの機能を使用したりすることができるようになります。（オーディオ機器によっては、サラウンドメニューまたはユニボリュームのどちらか一方しか使用できない場合があります）

❶ 本機と音声連動が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている（オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている）。

❷「HDMI連動設定」（準備編 73）が以下のように設定されている。

- HDMI連動機能……………使用する
- AVシステム連動…………使用する
- AVシステム音声連動……使用する

サラウンドメニュー

● オーディオ機器のサラウンドモードを設定します。
サラウンドメニューから、視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。

※ 画面に表示されるサラウンドメニューは目安です。オーディオ機器側のサラウンドメニューの内容と一致しない場合があります。

※「おまかせ」に設定すると、番組が変わるたびに本機が取得した番組ジャンル情報がAVシステム機器に送られ、オーディオ機器のスピーカーから番組のジャンルに適した音声が出るようになります。

ユニボリューム

●「オン」に設定すると、番組とコマーシャルの音量差、チャンネル間の音量差、外部入力間の音量差が少なくなるように補正され、テレビの音が聞きやすくなります。

※ クラシック音楽などの番組では、音量差を小さくすると音の強弱表現が損なわれます。そのような番組を視聴する場合や、映画などでシーンによって変わる音量差の迫力を味わいたい場合などは、この機能を「オフ」にしてください。

動画を再生する

● DLNA認定サーバーやDTCP-IP対応サーバーに保存されている動画コンテンツを視聴することができます。
● 機器の接続や設定については、「ホームネットワークの接続・設定をする」（準備編 58 ～ 59 ）をご覧ください。
※ 録画中（タイムシフトマシン録画を除きます）の動画再生はできません。

1 レグザリンク を押す

2 ◀･▶で「動画を見る」を選び、決定 を押す



3 再生機器を◀･▶で選び、決定 を押す

● 再生機器が1台だけの場合、この操作はありません。



4 動画リストで、見たい動画を▲･▼で選んで 決定 または ▶/可変再生 を押す

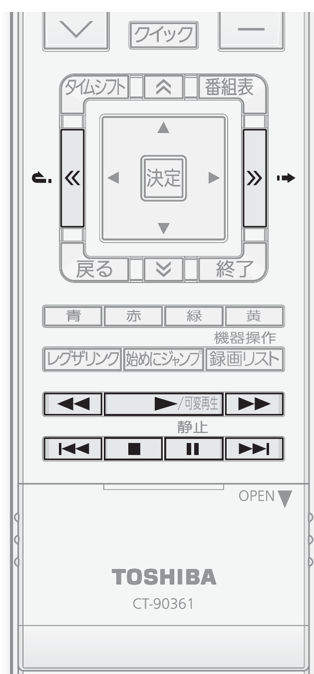


● 選択した動画の冒頭から再生が始まります。
● フォルダを選択した場合は、決定 を押せばフォルダ内の内容が表示されます。
• 元の階層に戻るには 戻る を押します。
● 動画を選んだ状態で 決定 が押されないとき、プレビュー画面でその動画の再生が始まります。
● 再生機器を選択し直す場合は、次ページの「再生機器を選び直す」の操作をします。

5 動画再生を終了するときは、終了 を押す

● 放送画面などに戻ります。

動画再生中にできるリモコン操作



ボタン	動　作
▶/可変再生	動画を再生します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
■	再生を停止し、動画リストに戻ります。
▶▶	早送りをします。（押すたびに速さが変わります）
◀◀	早戻しをします。（押すたびに速さが変わります）
始めにジャンプ	再生中の動画の始めに戻って再生します。
|»| ➡	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ） • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」（準備編 60 ）で変更できます。
⬅ |«|	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ） • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶❙	次の動画を再生します。
❙◀◀	再生中の動画の先頭に戻って再生します。3秒以内にもう一度押すと、前の動画の先頭から再生が始まります。

※ 接続する機器や動画コンテンツによっては、早送り／早戻し再生などの特殊再生ができない場合があります。また、再生時間の表示がずれる場合があります。

動画を再生する つづき

動画を並べ替える

- 動画リストの表示中に以下の操作をします。
- 並べ替えができない機器の場合はこの操作はできません。

1 赤 を押す

2 ▲·▼で並び順を選び、決定を押す

- **新しい順**……更新日時の新しい順に並べます。
- **古い順**…………更新日時の古い順に並べます。

※ 更新日時の情報がない場合は、タイトル順に並びます。
※ サーバーによっては正しく並ばない場合があります。

リピートの設定をする

- 同じ階層にある動画コンテンツの繰返し再生方法を設定します。

※ 動画の再生中はリピートの設定はできません。

1 クイック を押し、▲·▼で「リピート」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オフ**…………………繰返し再生をしません。
- **1コンテンツ**……選択した動画コンテンツだけの再生が繰り返されます。
- **すべて**……………同じ階層にあるすべての動画コンテンツの再生が繰り返されます。
- オフ以外に設定すると、動画リストにリピートアイコンが表示されます。（1コンテンツ：⟲1、すべて：⟲）

お好みの動画を選んで再生する

- お好みの動画だけのリストを作って再生することができます。（同じ階層内にあるコンテンツからお好みを選択します）
- 動画リスト画面の表示中に以下の操作をします。

1 クイック を押し、▲·▼で「選択再生」を選んで決定を押す

2 見たい動画を▲·▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。見たい動画に✔がつくようにします。
- 赤 を押すと、すべて選択したり、すべて解除したりできます。



3 選択が終わったら 青 を押す

- 選択した動画コンテンツだけの動画リストが表示されます。

4 動画リストから、見たい動画を▲·▼で選び、決定または ▶/可変再生 を押す

- 選択した動画の冒頭から再生が始まります。
- 再生時の操作は、通常の再生の場合と同じです。
- 「リピート」の設定に従った再生になります。

5 「選択再生」を終了するときは、リスト画面で 緑 を押す

- 通常の動画リストに戻ります。
- 手順**2**で選択した状態は記憶されません。

動画の情報を見る

- コンテンツの再生中に以下の操作をします。

1 画面表示 を押す

機器の情報を見る

- 動画リストの表示中に以下の操作をします。
- 機器によってはこの操作はできません。

1 クイック を押し、▲·▼で「機器情報」を選んで決定を押す

再生機器を選び直す

- 動画リストの表示中に以下の操作をします。

1 クイック を押し、▲·▼で「機器選択」を選んで決定を押す

2 ▲·▼·◀·▶で機器を選び、決定を押す

写真を再生する

● USB機器(デジタルカメラ、メモリーカードリーダー経由の各種メモリーカード、USBメモリーなど)、DLNA認定サーバーに記録されている写真(JPEGファイルの画像)を見ることができます。

● USB機器の接続については「USB機器を接続する」(準備編 72)の下段をご覧ください。

● DLNA認定サーバーの接続・設定については「ホームネットワークの接続・設定をする」(準備編 58 ～ 59)をご覧ください。

※ 録画中(タイムシフトマシン録画を除きます)の写真再生はできません。

データをバックアップすることをおすすめします。

本機で使用したことによって、データが変化・消失した場合の補償はできませんので、本機で使用する前にあらかじめ外部機器に保存されているデータのバックアップをとってください。

再生できる写真(静止画ファイル)

圧縮方式	JPEG 準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2 準拠
画素数	6000×4000 ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB 以内

対応できるファイルシステム(USB機器のPC接続モード時)

● FAT12/FAT16/FAT3

対応できるUSB機器の規格

● Universal Serial Bus Mass Storage Class
機器によって、PC接続モード、MassStorage、マスストレージクラスなどと表記されることがあります。
この場合は、第1階層にあるDCIMフォルダや、その中にあるフォルダに保存されているファイルが最大1000個まで表示されます。

● Universal Serial Bus Still Image Capture Device
機器によって、プリンター接続モード、PTPなどと表記されていることがあります。
この場合は、JPEGファイルだけが最大1000ファイルまで表示されます。

※ すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
※ USB延長ケーブルを使用しないでください。

1 レグザリンク を押す

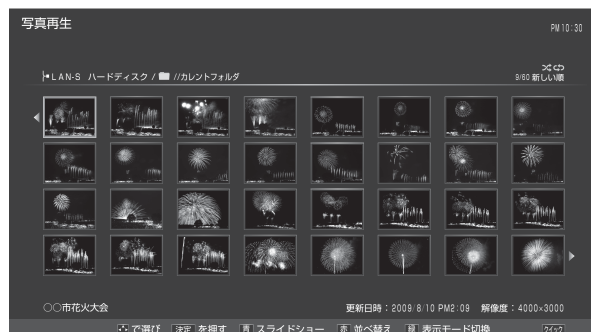
2 ◀･▶で「写真を見る」を選び、決定 を押す



3 再生機器を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す



● 写真リストが表示されます。



● フォルダを開くには、▲･▼･◀･▶でフォルダを選んで決定を押します。
• 元の階層に戻るには 戻る を押します。

4 写真を再生する

● シングル表示で見る ➡ 次ページ
● スライドショー表示で見る ➡ 次ページ
● お好みの写真を選んで再生する ➡ 77

5 写真再生を終了するときは、終了 を押す

● 放送画面などに戻ります。



● DLNA認定サーバーに保存された写真は、DLNA認定サーバー側で自動的にサイズを変更して表示する場合があります。
● パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
● USBハブには対応しておりません。

写真を再生する つづき

シングル表示で写真を見る

- 1枚の写真を全画面で表示します。
- 写真リストの表示中に以下の操作をします。

1 見たい写真を▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

- 選んだ写真が全画面表示されます。

前の写真、次の写真に切り換える

- ◀･▶を操作します。

写真の情報を見る

- 画面表示を押します。ファイル名などの情報が表示されます。表示を消すときは、もう一度画面表示を押します。

写真の向きを変える（回転させる）

- 赤を押します。赤を押すたびに写真が90度ずつ回転します。
- 回転させた状態は、現在の階層を抜けるまで保持されます。
- 画像データに向きの情報がある場合は、自動的に向きが変わります。

拡大率を変える

- 緑を押してから以下の操作をします。
  青を押す　押すたびに拡大されます。
  赤を押す　押すたびに縮小されます。（1倍以下にはできません）
- 拡大した写真が画面よりも大きいときは、▲･▼･◀･▶で移動することができます。
- 拡大・縮小モードを終了するときは、緑を押します。
- 拡大・縮小した状態は記憶されません。

スライドショーを始める

- 青または▶/可変再生を押すと、表示中の写真からスライドショーが始まります。

2 シングル表示を終了するときは、■または戻るを押す

- 写真リストの表示に戻ります。

スライドショーで写真を見る

- 写真が自動的に切り換わります。
- 写真リストの表示中に以下の操作をします。

1 スライドショーを開始する写真を▲･▼･◀･▶で選び、青または▶/可変再生を押す

- 選んだ写真からスライドショーが始まります。

自動切換を待たずにスキップする（とばす）

- ▶▶|を押す……次の写真にスキップします。
- |◀◀を押す……前の写真にスキップします。
- ◀･▶でも同様の操作ができます。

写真の向きを変える（回転させる）

- 操作はシングル表示の場合と同じです。
- 回転を終了すると、スライドショーが再開されます。

拡大率を変える

- 操作は左記のシングル表示の場合と同じです。
- 拡大・縮小モードを終了すると、スライドショーが再開されます。

スライドショーを一時的に停止する

- ⏸を押します。

スライドショー表示をシングル表示に変える

- 青を押します。

2 スライドショーを終了するときは、■または戻るを押す

- 写真リストに戻ります。

お好みの写真を選んで再生する

● お好みの写真だけのリストを作って再生することができます。（同じ階層内にあるコンテンツからお好みを選択します）
● 写真リストの表示中に以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲·▼と 決定 で「スライドショー設定」⇨「選択再生」の順に進む**

2 **見たい写真を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す**

● 決定 を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。見たい写真に ✔ がつくようにします。
● 赤 を押すと、すべて選択したり、すべて解除したりできます。



3 **選択が終わったら 青 を押す**

● 選択した写真だけのリストが表示されます。

4 **写真を見る**

● シングル表示で見る ➡ 前ページ
● スライドショー表示で見る ➡ 前ページ

5 **「選択再生」を終了するときは、リスト画面で 緑 を押す**

● 通常の写真リストに戻ります。
● 上記手順**2**で選択した状態は記憶されません。

写真リストの表示モードを切り換える

● 「すべて表示」、「フォルダ表示」の切換えができます。
● 表示モードの切換えには時間がかかることがあります。
※ DLNA認定サーバー選択中は表示モードの切換えはできません。
※ USBメモリーの選択中は、機器によっては表示モードの切換えができないことがあります。

1 **写真リストの表示中に 緑 を押す**

2 **▲·▼で表示モードを選び、決定 を押す**

すべて表示

● 選択中の機器の第1階層にあるDCIMフォルダおよび、その中の6階層目までのフォルダに保存されている写真が1000枚まで表示されます。

フォルダ表示

● 選択中の機器に保存されているフォルダが、機器と同じ階層構成で表示されます。
● 同じ階層に保存されている写真とフォルダが合計1000まで表示されます。
※ フォルダを開くには、◀·▶でフォルダを選んで 決定 を押します。
• 元の階層に戻るには、戻る を押します。

写真を再生する つづき

スライドショーの設定をする

● 写真が切り換わる間隔(時間)や切り換わるときの画面効果などを設定することができます。
● 以下の操作は、写真リスト表示中のほかに拡大縮小中を含むシングル表示中、スライドショーでの表示中にもできます。

スライドショーの効果を変える

● 写真が切り換わるときの特殊効果を設定します。

❶ クイック を押し、▲·▼と 決定 で「スライドショー設定」⇨「スライドショー効果」の順に進む

❷ ▲·▼で効果を選び、決定 を押す

スライドショーの表示間隔を変える

● 1枚の全体が表示されてから次の表示が始まるまでの間隔を設定します。

❶ クイック を押し、▲·▼と 決定 で「スライドショー設定」⇨「間隔設定」の順に進む

❷ ▲·▼で「速い」、「標準」、「遅い」のどれかを選び、決定 を押す

リピート(繰返し再生)の設定をする

❶ クイック を押し、▲·▼と 決定 で「スライドショー設定」⇨「リピート」の順に進む

❷ ▲·▼で以下から選び、決定 を押す
- **オン**…… スライドショーを同じ階層内で繰り返します。
- **オフ**…… 同じ階層にある最後の写真を再生するとスライドショーが終了します。

● オンに設定すると、写真リストにリピートアイコンが表示されます。

シャッフル(ランダム再生)の設定をする

❶ クイック を押し、▲·▼と 決定 で「スライドショー設定」⇨「シャッフル」の順に進む

❷ ▲·▼で以下から選び、決定 を押す
- **オン**…… 不特定の順番で表示されます。
- **オフ**…… ファイルの並び順に表示されます。

● オンに設定すると、写真リストにシャッフルアイコンが表示されます。

写真を並べ替える

● 写真リストの表示中に以下の操作をします。
● 並べ替えができない機器の場合はこの操作はできません。

1 赤 を押す

2 並び順を▲·▼で選び、決定 を押す
- **新しい順**…… 更新日時の新しい順に並べる
- **古い順**……… 更新日時の古い順に並べる

※ 更新日時の情報がない場合は、タイトル順に並びます。
※ サーバーによっては正しく並ばない場合があります。

機器の情報を確認する

● 再生機器がDLNA認定サーバーおよびUSBメモリーの場合に機器の情報が確認できます。
● 写真リストの表示中に以下の操作をします。

1 クイック を押し、▲·▼で「機器情報」を選んで 決定 を押す

再生機器を選び直す

● 写真リストの表示中に以下の操作をします。

1 クイック を押し、▲·▼で「機器情報」を選んで 決定 を押す

2 ▲·▼で機器を選び、決定 を押す

音楽を再生する

● DLNA認定サーバーに保存されている音楽コンテンツ（リニアPCM、MP3）を再生することができます。
● 機器の接続や設定については、「ホームネットワークの接続・設定をする」（準備編 58 ～ 59）をご覧ください。
※ 録画中（タイムシフトマシン録画を除きます）の音楽再生はできません。

1 レグザリンク を押す

2 ◀·▶で「音楽を聴く」を選び、決定 を押す



3 再生機器を◀·▶で選び、決定 を押す

● 再生機器が1台だけの場合、この操作はありません。



4 聴きたい音楽を▲·▼で選び、決定 または ▶/可変再生 を押す



● 選択した音楽の冒頭から再生が始まります。
● フォルダを選択した場合は、決定 を押せばフォルダ内の内容が表示されます。
　• 元の階層に戻るには 戻る を押します。
● 音楽の再生中は、以下の画面が表示されます。

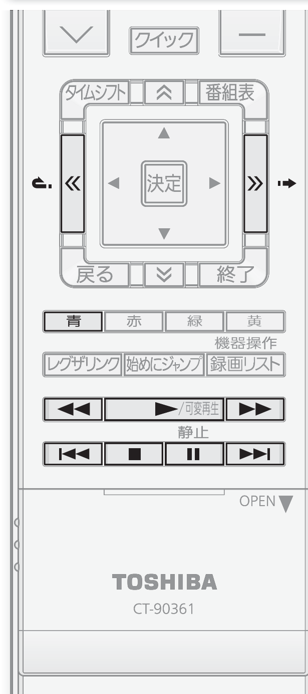


● 再生中に下表の操作ができます。

5 音楽再生を終了するときは、終了 を押す

● 放送画面などに戻ります。

音楽再生中にできるリモコン操作



ボタン	動　作
▶/可変再生	音楽を再生します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 一時停止中にもう一度押すか、▶/可変再生 を押すと再生が再開されます。
■	再生を停止し、音楽リストに戻ります。
▶▶	早送りをします。（押すたびに速さが変わります）
◀◀	早戻しをします。（押すたびに速さが変わります）
»❘	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ） • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」（準備編 60）で変更できます。
❘«	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ） • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶❘	次の音楽を再生します。
❘◀◀	再生中の音楽の先頭に戻って再生します。3秒以内にもう一度押すと、前の音楽の冒頭から再生が始まります。
青	再生を継続したまま音楽リストを表示します。音楽リストでは通常同様の操作ができます。再生継続中の音楽リストで 青 を押すと、再生画面に戻ります。

音楽を再生する つづき

お好みの音楽を選んで再生する

● お好みのコンテンツだけの音楽リストを作って再生することができます。（同じ階層内にあるコンテンツからお好みを選択します）
● 音楽リスト画面の表示中に以下の操作をします。

1 クイックを押し、▲·▼で「選択再生」を選んで決定を押す

2 聴きたい音楽を▲·▼で選び、決定を押す

● 決定を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。聴きたいコンテンツに✔がつくようにします。
● 赤を押すと、すべて選択したり、すべて解除したりできます。



3 選択が終わったら青を押す

● 選択した音楽コンテンツだけの音楽リストが表示されます。

5 聴きたい音楽を▲·▼で選び、決定または ►/可変再生 を押す

● 再生が始まります。
● 再生時の操作は、通常の再生の場合と同じです。
● 右記の「リピート」、「シャッフル」の設定に従った再生になります。

6 「選択再生」を終了するときは、リスト画面で緑を押す

● 再生を停止し、通常の音楽リストに戻ります。
● 上記手順***2***で選択した状態は記憶されません。

音楽を並べ替える

● 音楽リストの表示中に以下の操作をします。
● 並べ替えができない機器の場合はこの操作はできません。

1 赤を押す

2 並び順を▲·▼で選び、決定を押す

- **アーティスト名順**… アーティスト名順に並べる
  同一アーティスト名のコンテンツが複数ある場合は、同じアーティストの中でタイトルの昇順に並びます。
- **アルバム名順** …… アルバム名順に並べる
  同一アルバム名のコンテンツが複数ある場合は、同じアルバムの中でトラック順に並びます。

※ アーティスト名、アルバム名の情報がない場合は、タイトル順に並びます。
※ サーバーによっては正しく並ばない場合があります。

リピートの設定をする

● 同じ階層にある音楽コンテンツの繰返し再生の方法を設定します。
● 音楽リストの表示中およびコンテンツの再生中に以下の操作をします。

1 クイックを押し、▲·▼で「リピート」を選んで決定を押す

2 ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オフ**……………繰り返し再生をしません。
- **１曲**……………再生中の音楽コンテンツ、または選択した音楽コンテンツだけの再生が繰り返されます。
- **すべて**…………同じ階層にあるすべての音楽コンテンツの再生が繰り返されます。

● オフ以外に設定すると、音楽リストにリピートアイコンが表示されます。（1コンテンツ：⟲1、すべて：⟲）

シャッフルの設定をする

● 音楽リスト画面の表示中およびコンテンツの再生中に以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲·▼で「シャッフル」を選んで 決定 を押す**

2 **▲·▼で以下から選び、決定 を押す**

- **オン**……………不特定の順番で再生します。
- **オフ**……………コンテンツの並び順で再生します。

● オンに設定すると、音楽リストにシャッフルアイコンが表示されます。

再生時の背景画面を設定する

● 音楽コンテンツの再生中に以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲·▼で「背景設定」を選んで 決定 を押す**

2 **▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定 を押す**

機器の情報を見る

● リスト画面の表示中に以下の操作をします。
● 機器によってはこの操作はできません。

1 **クイック を押し、▲·▼で「機器情報」を選んで 決定 を押す**

再生機器を選び直す

● リスト画面の表示中に以下の操作をします。

1 **クイック を押し、▲·▼で「機器選択」を選んで 決定 を押す**

2 **▲·▼で機器を選び、決定 を押す**

音楽の情報を見る

1 **音楽の再生中に 画面表示 を押す**

● 表示を消すときは、もう一度 画面表示 を押します。

「インターネット」で情報を見る

- インターネットにアクセスして、さまざまな情報を見たり、調べたりすることができます。

必要な準備

- 「インターネットに接続する」(準備編 74)の章および、「インターネット制限設定」(準備編 84 〜 85)をご覧ください。

基本操作

1 ブロードバンド を押す

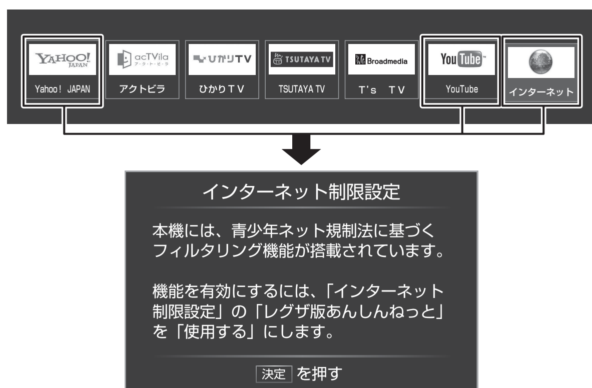
- ブロードバンドメニューが表示されます。

2 ◀·▶で「インターネット」を選び、決定を押す



はじめて使用するとき

- 「インターネット制限設定」が未設定の場合、ブロードバンドメニューの「インターネット」、「YouTube」、「Yahoo! JAPAN」のどれかをはじめて利用する際に、「インターネット制限設定」の説明画面が表示されます。



❶ **説明を読み、決定を押す**
- 説明画面が消えます。

3 暗証番号の入力画面が表示された場合は、1〜10(0)入力する

- 暗証番号の入力画面は、「ブラウザ起動制限設定」(準備編 85)を「制限する」に設定している場合に表示されます。
- 「暗証番号の設定」(準備編 83)で設定した暗証番号を入力します。

4 見たい情報を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- ポインターが から に変わったところで決定を押します。
- USBマウスを接続している場合(準備編 72)は、マウスで選択することができます。(メニュー操作などにはマウスは使用できません)



閲覧制限の説明画面が表示されたとき

- 「レグザ版あんしんねっと設定」(準備編 84)で「閲覧設定」をしている場合、設定した制限レベルを超えるサイトにアクセスすると、閲覧制限の説明画面が表示されます。

❶ **説明を読み、▲·▼·◀·▶で「前のページへもどる」にポインターを移動させて決定を押す**
- 前画面に戻ります。

一時的に閲覧制限を変更するとき

❶ **クイック を押し、▲·▼で「閲覧制限一時変更」選んで決定を押す**

❷ **1〜10(0)で暗証番号を入力する**
- 「暗証番号の設定」(準備編 83)で設定した暗証番号を入力します。

- 閲覧制限のレベルが「大人」に変更されます。(変更された状態は、「インターネット」を終了するまで継続されます)
- 利用中に再び閲覧制限を元に戻す場合は、クイック を押して「閲覧制限再設定」を選びます。

5 「インターネット」を終了するときは、終了 を押す

- 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押すと、「インターネット」が終了します。


お知らせ

- ネットワーク環境や使用状況によっては、正しく視聴できない場合があります。
- ブロードバンド機能の利用中に、LANケーブルを抜いたり、ネットワーク接続環境を変更したりすると、本機の操作ができなくなることがあります。その場合は電源を入れ直してください。
- ページが表示されるまでの時間は、接続業者との契約の種類や回線の混み具合などによって大きく異なります。
- 「インターネット」の映像を録画することはできません。光デジタル音声出力端子からの録音はできない場合があります。

ウインドウを切り換える

● ほかのウインドウを開くには、以下の操作をします。

1 青 を押す

● ウインドウタブが選択できる状態になります。

2 開くウインドウのタブを◀·▶で選び、決定を押す

ウインドウタブ



3 ウインドウを閉じるときは、赤 を押す

● ウインドウの最大数(ウインドウタブの最大数)は8個です。さらに新しいウインドウを開きたい場合は、ウインドウのどれかを閉じてください。

表示を拡大・縮小する

● ページを拡大·縮小して見ることができます。

1 ページ画面の表示中に 黄 を押す

2 ◀·▶で拡大率を選び、決定を押す



URLを入力してページを見る

● 見たいページのURL(アドレス)がわかっている場合は、それを入力してアクセスすることができます。

1 ページ画面の表示中に 緑 を押す

● 文字(URL)入力ウインドウが表示されます。

2 ▲·▼·◀·▶でURL入力欄または「入力履歴」を選び、決定を押す

● 「入力履歴」は、入力の履歴があるときに選ぶことができます。



3 以下の操作をする

URL入力欄を選んだとき

● 文字入力画面が表示されます。

● 文字入力画面の操作については、26 をご覧ください。

● 変換候補の欄から定型文字を選ぶと、文字入力の手間が少なくて済みます。



● 文字入力が終わって決定を押すと、URL入力ウインドウに戻り、入力したアドレスがURL入力欄に表示されます。

「入力履歴」を選んだとき

● 入力履歴一覧画面が表示されます。

● 一覧から、見たいページのURLを▲·▼で選んで決定を押します。

● URL入力ウインドウに戻り、選択したアドレスがURL入力欄に表示されます。

※ 不要になった履歴を以下の操作で消すことができます。

❶ 不要な履歴を▲·▼で選び、赤 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲·▼·◀·▶で「開く」または「新しいウインドウで開く」を選び、決定を押す

● 入力したURLのページが表示されます。

● 「新しいウインドウで開く」を選択すると、入力されたURLのページが新しいウインドウで表示されます。

※ 閲覧制限の説明画面が表示されたときは、前ページの手順**4**の説明をご覧ください。



■ URL(Uniform Resource Locator)　インターネット上のページの所在場所にアクセスするための文字列。アドレスと呼ばれることもあります。

「インターネット」で情報を見る つづき

便利機能を使う

● さまざまな便利機能を使うことができます。

1 ページ画面の表示中に d データ を押す

● 便利機能のメニューが表示されます。

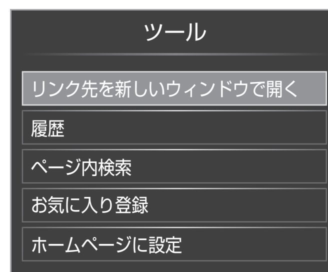
2 操作する項目を▲･▼で選び、決定を押す



メニュー	内　容
戻る	• 一つ前のページに戻ります。 • 履歴がないときには選択できません。
進む	• 一つ後のページに進みます。 • 履歴がないときには選択できません。
再読込み	• ページの表示内容を更新します。 • 読込みを中止するには、読込中に「読込み中止」を選択します。
ホーム	• ホームページに設定されているページが表示されます。 • ホームページの設定については、「ホームページに設定する」 86 をご覧ください。
ツール	• 各種ツールメニューが表示されます。 • 次ページの「ツールを使う」をご覧ください。
設定	• インターネット機能の設定ができます。 • 「インターネットの設定・確認をする」 86 をご覧ください。

ツールを使う

● 「便利機能」のメニューで「ツール」を選択して決定を押すと、ツールメニューが表示されます。



● 以降の手順（ 86 まで）を参照して、お好みのツールをご使用ください。

リンク先を新しいウインドウで開く

● この場合は、便利機能メニューを表示させる前に以下の手順で操作してください。

1 ページの表示画面で、見たい情報を▲･▼･◀･▶で選び、d データ を押す

2 「便利機能」のメニューから、▲･▼で「ツール」を選んで決定を押す

3 「ツール」のメニューから、▲･▼で「リンク先を新しいウインドウで開く」を選んで決定を押す

● ウインドウが新たに追加されて、リンク先のページが表示されます。

● ウインドウの最大数（ウインドウタブの最大数）は8個です。

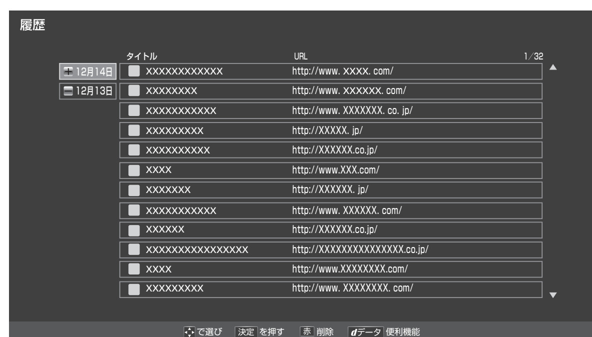
表示履歴から選ぶ

● 今までに表示させた履歴から選んで表示させることができます。

1 「ツール」のメニューから、▲・▼で「履歴」を選んで決定を押す

● 過去に表示したページの一覧画面が表示されます。
● 日付の前に＋が表示されている場合は、▲・▼・◀・▶で日付を選んで決定を押せば展開されます。
- 決定を繰り返し押すと、−(展開)と＋(折りたたみ)が交互に切り換わります。

※ 不要になった履歴を消すことができます。
❶ 不要な履歴を▲・▼で選び、赤を押す
❷ ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す



2 見たいページを▲・▼で選び、決定を押す

● 選択したページが表示されます。
● 当時の内容ではなく、現在の内容が表示されます。

履歴一覧画面での便利機能

● 「履歴」の表示中にdデータを押すと、以下の機能が使用できます。
- **新しいウインドウで開く**
  選択しているページが新しいウインドウで表示されます。
- **すべて削除**
  削除確認画面が表示されます。◀・▶で「はい」を選んで決定を押すと、すべての履歴が削除されます。

ページ内の情報を検索する

● ページ内の文字情報から、指定した文字を探すことができます。

1 「ツール」のメニューから、▲・▼で「ページ内検索」を選んで決定を押す

● 検索文字入力ウインドウが表示されます。
● 左端の⬇を選んで決定を押せば、検索文字入力ウインドウを画面の下に移動させることができます。
下にあるときは、⬆を選んで決定を押せば、上に移動させることができます。



2 ◀・▶で文字入力欄を選び、決定を押す

● 文字入力画面が表示されます。

3 検索する文字を入力する

● 文字入力画面の操作については、26 をご覧ください。
● 文字入力が終わって決定を押すと、検索文字入力ウインドウに戻り、入力した文字が検索文字入力欄に表示されます。

4 ◀・▶で「前へ」または「次へ」を選び、決定を押す

- **前へ**……入力された文字をページの上方向に検索します。
- **次へ**……入力された文字をページの下方向に検索します。

● 該当の文字列がページ内に見つかると、その文字列が色付きで表示されます。

「インターネット」で情報を見る つづき

「お気に入り」に登録する

- 表示中のページを「お気に入り」に登録することができます。
- 「お気に入り」からアクセス先を選ぶことができます。
- 「お気に入り」には50件まで登録することができます。

1 **「ツール」のメニューから、▲·▼で「お気に入り登録」を選んで決定を押す**

- 表示中のページが「お気に入り」に登録されます。
- すでに登録数の上限に達している場合は、ツールメニューから選択することができません。

「お気に入り」に登録したページを見るには

❶ページ表示画面で 赤 を押す

- 「お気に入り」一覧が表示されます。



❷見たいページを▲·▼で選び、決定を押す

- 選択したページの表示画面になります。

「お気に入り」に登録したページを削除するには

- 「お気に入り一覧」の表示中に以下の操作をします。

❶削除する「お気に入り」を▲·▼で選び、赤 を押す

❷確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

「お気に入り」の順序を入れ替えるには

- 「お気に入り一覧」の表示中に以下の操作をします。

❶入れ替える「お気に入り」のどちらか一方を▲·▼で選び、黄 を押す

❷入れ替える相手を▲·▼で選び、決定を押す

- 両者が入れ替わります。

「お気に入り一覧」での便利機能

- 「お気に入り一覧」の表示中に d データ を押すと、以下の機能が使用できます。
  - **新しいウインドウで開く**
    選択しているページが新しいウインドウで表示されます。
  - **すべて削除**
    削除確認画面が表示されます。◀·▶で「はい」を選んで決定を押すと、すべての履歴が削除されます。
  - **編集**
    編集画面が表示されます。



「タイトル」や「URL」を選択して決定を押し、文字入力画面で編集します。
文字入力画面での編集が終わったら編集画面に戻り、「編集完了」を▲·▼·◀·▶で選んで決定を押します。

ホームページに設定する

- 表示中のページをホームページに設定します。
- ホームページは、「便利機能」84 のメニューから「ホーム」を選んだときに表示されます。

1 **「ツール」のメニューから、▲·▼で「ホームページに設定」を選び、決定を押す**

インターネットの設定・確認をする

- ページを拡大·縮小して見ることができます。

1 **ページ画面の表示中に d データ を押す**

- 便利機能のメニューが表示されます。

2 **▲·▼で「設定」を選び、決定を押す**



- 設定メニューが表示されます。

3 **▲·▼でメニューを選び、決定を押す**



- 以降の手順を参照して、必要な設定や確認をしてください。
- 操作終了時にメニューが表示されたままの項目では、戻る を押せばメニューが消えます。

エンコード選択

● 画面に表示される文字が化けているときは、文字コードを変更してみてください。
● 一般的に日本語のページは「Shift_JIS」ですが、「EUC_JP」、「ISO-2022-JP」の場合もあります。

1 **▲·▼で以下から選び、決定を押す**

「自動選択」
「日本語（Shift_JIS）」
「日本語（ISO-2022-JP）」
「日本語（EUC_JP）」
「Unicode」

セキュリティ設定

● セキュリティ関係の詳細設定をします。

1 **▲·▼で項目を選び、決定を押す**

● 以下の項目の内容表示と、有効/無効の切換えができます。
- **個人証明書**
- **CA証明書**

Cookie削除

● Cookieを削除します。

1 **◀·▶で「はい」を選び、決定を押す**

ページ情報表示

● 現在見ているページの情報が表示されます。

Operaについて

● Operaに関する情報が表示されます。



■ **エンコード**　本ページでは、文字の符号化（コンピューターなどでの処理に適した形式に変換すること）方式のことをさします。
■ **セキュリティ**　本ページでは、インターネットのネットワーク上で安全を得ることをさします。
■ **サーバ証明書**　ご利用のサーバーが信頼できることを確認するために使用されるデジタル証明書のことです。この証明書自体が信頼できるようにするため、一般的には第三者機関（認証局）が発行したものをさします。
■ **Cookie（クッキー）**　ユーザーの情報やアクセスした履歴などの情報をWebサーバーからの指示で本機内に自動的に受信、記録して、インターネットブラウザとWebサーバー間でやりとりをするための仕組み、またはその受信・記録されるファイルのことです。Netscape社によって開発され、本機をはじめ、各種のインターネットブラウザが対応しています。多くの場合、ユーザーがWebサイトをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もされています。

「Yahoo! JAPAN」を楽しむ

Yahoo! JAPANとは

● 「Yahoo! JAPAN」は、ヤフー株式会社が提供するインターネット・ポータルサイトです。
※ 回線の速度によっては、利用できないサービスがあります。

Yahoo! JAPANのサービス(2010年9月現在)

◆ニュース、天気、占いなど、130以上のサービス

目的別に分類されたカテゴリーから、必要な情報を探すことができます。

◆検索サービス

キーワードを入力して、インターネット検索をすることができます。

◆画像検索サービス

検索キーワードに関連する画像を探すことができます。

◆動画チャンネル

動画チャンネルが楽しめます。

必要な準備

● 「インターネットに接続する」(準備編 74)の章をご覧ください。

ご利用に関するお知らせ

● 安心してご利用いただくために、以下の点にご注意ください。
- Yahoo! JAPAN以外のWebページで、Yahoo! JAPANのIDやパスワードを入力する画面が表示された場合、セキュリティ上の問題が発生することがありますので、入力しないでください。トップページに戻るには、d データ を押し、「ホーム」を選びます。
- セキュリティを高めるため、「ログインシール」などのYahoo! JAPANが推奨するセキュリティ設定をしてください。設定のしかたは、Yahoo! JAPANのログイン画面でご確認ください。

基本操作

1 ブロードバンド を押す

● ブロードバンドメニューが表示されます。

2 ◀·▶で「Yahoo! JAPAN」を選び、決定 を押す



● 「インターネット制限設定」の説明画面が表示された場合は、82 の手順2の説明をご覧ください。
● 暗証番号の入力画面が表示された場合は、82 の手順3の操作をしてください。
● しばらくするとYahoo! JAPANのトップページが表示されます。(回線の状態によって時間がかかることがあります)

例



3 見たい情報を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

● 閲覧制限の説明画面が表示された場合は、82 の手順4の説明をご覧ください。

4 「Yahoo! JAPAN」を終了するときは、終了 を押す

● 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押すと、「Yahoo! JAPAN」が終了します。



● ネットワーク環境や使用状況によっては、正しく視聴できない場合があります。
● Yahoo! JAPAN以外のページに移動した場合、画面が正しく表示されないことがあります。
● Yahoo! JAPANのホームページの不明点などについては、Yahoo! JAPANヘルプセンター(http://help.yahoo.co.jp/help/jp/)をご覧ください。(電話などでのサポートは行われていません)
● 「Yahoo! JAPAN」の映像を録画することはできません。光デジタル音声出力端子からの録音はできない場合があります。

動画チャンネルを楽しむ

1 トップページのメニューから「動画チャンネル」を選ぶ
- メニューの番号に該当する番号のボタン(1～10)を押すか、または▲･▼･◀･▶で選んで決定を押します。

2 動画再生画面に表示される操作ガイドを参照して操作する
- 操作できる内容や操作方法などは、サービス提供者によって変更される場合があります。

便利機能を使う

- Yahoo! JAPAN利用時に以下の便利機能が使用できます。

1 ページ画面の表示中に d データ を押す
- 便利機能のメニューが表示されます。

2 ◀･▶でメニューを選び、決定を押す

※ いくつかの機能は使用できません。使用できない機能は、薄くなって表示されます。



メニュー	内　容
「戻る」	• 一つ前のページに戻ります。 • 履歴がないときには選択できません。
「進む」	• 一つ後のページに進みます。 • 履歴がないときには選択できません。
「再読込み」	• ページの表示内容を更新します。 • 読込みを中止するには、読込中に「中止」を選択します。
「ホーム」	• トップページが表示されます。
「お気に入り」	• 表示中のページを「お気に入り」に登録したり、「お気に入り」からアクセス先を選んだりすることができます。
「履歴表示」	• アクセス履歴の一覧が表示されます。 • 履歴一覧からアクセス先を選んだり、履歴を削除したりすることができます。
「検索」	• ページ内検索ができます。

「お気に入り」に登録する

- お買い上げ時に登録されているものを含めて50個までのページを「お気に入り」に登録できます。

1 登録したいページを開く

2 d データ を押す

3 ◀･▶で「お気に入り」♡を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「お気に入りに登録」を選び、決定を押す
- 「お気に入り」リストの一番下に追加されます。

「お気に入り」からアクセス先を選ぶ

1 d データ を押す

2 ◀･▶で「お気に入り」♡を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「お気に入り一覧」を選び、決定を押す

4 見たいページを▲･▼で選び、決定を押す
- 選んだページの名称やURLを編集したりする場合は、決定を押さないで以下の「お気に入り」の便利機能の操作をしてください。

「お気に入り」の便利機能を使う

❶「お気に入り一覧」の表示中に d データ を押す
- 便利機能の項目2、4、5、6の場合は、ページを選んでから d データ を押します。

❷▲･▼で項目を選び、決定を押す
- 項目の番号をリモコンのチャンネルボタンで選ぶこともできます。
- 使用できない機能は薄くなって表示されます。

1 新しいウインドウで開く
2 編集
3 アドレスで表示
4 上へ移動
5 下へ移動
6 削除
7 すべて削除

「Yahoo! JAPAN」を楽しむ つづき

2 編集
- 選んだページの名称やURLを編集することができます。

① 編集する項目を▲·▼·◀·▶で選び決定を押す

② 文字入力画面で編集する
- 文字入力については、26 をご覧ください。
- タイトルの入力文字数は、全角12文字(半角24文字)までです。(「お気に入り」を最大登録可能数の50個まで登録した場合の目安です)
- URLの入力文字数は半角英数字・半角記号で254文字までです。

3 アドレスで表示(タイトルで表示)
- 「お気に入りリスト」の表示形式を切り換えます。

※ 項目名は、タイトルで表示しているときは「アドレスで表示」、アドレスで表示しているときは「タイトルで表示」になります。

4 上へ移動
- 選んだページの表示順を一つ上へ移動します。

5 下へ移動
- 選んだページの表示順を一つ下へ移動します。

6 削除
- 選んだページを「お気に入り」から削除します。

① 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

7 すべて削除
- すべての「お気に入り」を削除します。

① 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

履歴からアクセス先を選ぶ

- 表示中のページ内で文字列の検索ができます。
- 「便利機能」で「履歴表示」を選んで決定を押したあとに以下の操作をします。

1 「履歴一覧」から、見たいページを▲·▼で選んで決定を押す
- 選んだページが表示されます。

「履歴一覧」の便利機能を使う

❶「履歴一覧」の表示中に d データ を押す

❷ ▲·▼で項目を選び、決定を押す

1 新しいウインドウで開く
2 アドレスで表示
3 削除
4 すべて削除

- 項目の番号をリモコンのチャンネルボタンで選ぶこともできます。
- 使用できない機能は薄くなって表示されます。

2 アドレスで表示(タイトルで表示)
- 「履歴一覧」の表示形式を切り換えます。

※ 項目名は、タイトルで表示しているときは「アドレスで表示」、アドレスで表示しているときは「タイトルで表示」になります。

3 削除
- 選んだ履歴を削除します。

① 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

4 すべて削除
- すべての履歴を削除します。

① 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

ページ内検索をする

- 表示中のページ内で文字列の検索ができます。
- 「Yahoo! JAPAN利用時の便利機能」で「検索」を選んで決定を押したあとに以下の操作をします。

ページ内検索 

1 決定を押す
- 検索文字入力ウインドウが表示されます。
- 左端の▼を選んで決定を押せば、検索文字入力ウインドウを画面の下に移動させることができます。下にあるときは、▲を選んで決定を押せば、上に移動させることができます。

 キーワード入力欄 上へ検索 下へ検索 

2 ◀·▶でキーワード入力欄を選び、決定を押す
- 文字入力画面が表示されます。

3 検索したい文字を入力する
- 文字入力画面の操作については、26 をご覧ください。
- 文字入力が終わって決定を押すと、検索文字入力ウインドウに戻り、入力した文字が検索文字入力欄に表示されます。

4 ◀·▶で「上へ検索」または「下へ検索」を選び、決定を押す
- **上へ検索**……入力された文字をページの上方向に検索します。
- **下へ検索**……入力された文字をページの下方向に検索します。
- 該当の文字列がページ内に見つかると、その文字列が色付きで表示されます。

「アクトビラ」を楽しむ

アクトビラとは

- 「アクトビラ」は、株式会社アクトビラが提供するテレビ向けインターネット・サービスです。

アクトビラのサービスについて(2010年9月現在)

※ 回線の速度によっては、利用できないサービスがあります。

◆アクトビラビデオ

映画やドラマ、アニメなど10ジャンル・1000番組以上のビデオを番組ごとに購入して楽しむことができるビデオオンデマンド(VOD)サービスです。
標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンレベルでのサービスもあります。
視聴時に本機のリモコンで、早送り・早戻し・一時停止などの操作ができます。

◆アクトビラベーシック

テレビ番組に関する情報や、話題の商品など、気になるトレンドをチェックして買物をしたり、生活に関する最新情報(ニュース、天気予報、株価、交通情報など)を入手したりすることができます。

必要な準備

- 「インターネットに接続する」(準備編 74)の章をご覧ください。

アクトビラをはじめてご利用のとき

- はじめてアクトビラを使うときに、本機に組み込まれた識別情報が自動で送信されます。
- 郵便番号の入力画面が表示されます。
  画面の指示に従って入力してください。
  郵便番号を入力しないと、アクトビラの一部の機能が使用できない場合があります。

基本操作

1 ブロードバンドを押す

- ブロードバンドメニューが表示されます。

2 ▲・▼で「アクトビラ」を選び、決定を押す



- アクトビラのトップページが表示されます。(回線の状態によって時間がかかることがあります)

3 以下の操作をする



ビデオサービスを楽しむ場合

❶ ▲・▼・◀・▶で「ビデオを見る」の中から見たい項目を選び、決定を押す

❷ 目的の項目になるまで❶の操作を繰り返す

❸ 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作する

情報サービスを利用する場合

❶ ▲・▼・◀・▶で「サービス」の中から見たい項目を選び、決定を押す

❷ 目的の項目になるまで❶の操作を繰り返す

4 「アクトビラ」を終了するときは、終了を押す

- 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで決定を押すと、「アクトビラ」が終了します。



- ネットワーク環境や使用状況によっては、正しく視聴できない場合があります。
- 「アクトビラ」の映像を録画することはできません。光デジタル音声出力端子からの録音はできない場合があります。

「アクトビラ」を楽しむ つづき

便利機能を使う

● Yahoo! JAPAN利用時と同様の便利機能が使用できます。
89～90をご覧ください。

アクトビラ・ビデオを楽しむ

※ サービス提供者側の状況によっては、各操作が実行されるまでに時間がかかることがあります。

基本操作

● 以下の操作ができます。
※ コンテンツによっては一部の操作ができない場合があります。

- ▶/可変再生 ………再生
- ⏸、■ ……一時停止、停止
- ◀◀、▶▶ ……早戻し再生、早送り再生
- ⏮、⏭ ……前へスキップ、次へスキップ
- » ➡、⬅ « ………ワンタッチスキップ、リプレイ

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

❶ クイック を押し、▲･▼で「サーチ」を選んで 決定 を押す
● 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

❷ 1 ～ 10(0) で時間を指定する
例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
10(0) 1 2 5 10(0) 5 の順に押します。
※ 入力し直すときは、◀を押してからもう一度操作してください。
※ コンテンツによってはタイムサーチができない場合があります。

音声切換をする

● 音声多重のビデオサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。
● 音声多重の場合は、音声切換（ふたの中）を押すたびに、以下のように切り換わります。



※ ビデオの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。
● 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わる場合があります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ 戻る または ■ を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ 画面表示 を押す
● 情報表示を消すには、もう一度 画面表示 を押します。

「ひかりTV」を楽しむ

「ひかりTV」のサービスについて(2010年9月現在)

◆テレビサービス

70チャンネル以上の放送があります。(オプション契約が必要な約20チャンネルを含みます)

◆ビデオサービス

映画やドラマなど数多くのビデオを好きな時間に楽しむことができます。早送り、早戻し、一時停止などもできます。

※ サービスの内容は、契約内容(料金プラン)によって異なります。

本書の記載内容について

● 基本操作のみを記載しています。ほかの操作については、「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 77)をご覧ください。

● 画面の内容は契約しているプロバイダーによって異なります。

ひかりTVの視聴制限について

● ひかりTVには、視聴年齢制限が定められた番組があります。「番組の視聴を制限する」(準備編 83)をご覧ください。チャンネルやビデオを視聴する際に、設定した年齢を超えている放送番組やビデオを表示、視聴する場合は、暗証番号の入力が必要です。(その際、「この番組には視聴年齢制限があります。」などのメッセージが表示されます)

● 成人向けコンテンツやR指定コンテンツなどの視聴には、「視聴年齢制限設定」での設定や操作が必要です。

必要な準備

◆ひかりTVの申込み

● 「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 77)をご覧ください。

◆ひかりTVの接続と設定

● 「インターネットに接続する」(準備編 74)の章をご覧ください。

● 準備編 74 の接続例を参考にしてインターネットの光回線に接続し、ルーターはIPv6対応品をご使用ください。IPv4対応品では、高速通信を必要とするビデオサービスなどの利用はできません。

基本操作

1 ブロードバンド を押す

● ブロードバンドメニューが表示されます。

2 ◀·▶で「ひかりTV」を選び、決定を押す



3 ▲·▼で「ホーム」、「テレビ」、「プロモ」のどれかを選び、決定を押す

- **ホーム**···· ひかりTVのホーム画面が表示されます。
- **テレビ**···· ひかりTVの多チャンネル放送が表示されます。
- **プロモ**···· ひかりTVの魅力が映像で紹介されます。

※ 回線の状態によって時間がかかることがあります。

※ 「IPTV設定」(準備編 77)をしていない場合は、メッセージが表示されます。

【ホームを選んだ場合】



4 ▲·▼·◀·▶で項目を選び、決定を押す

● 視聴画面での操作は次ページをご覧ください。

● 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作してください。

5 「ひかりTV」を終了するときは、終了 を押す

● 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押すと、「ひかりTV」が終了します。



● ネットワーク環境や使用状況によっては、正しく視聴できない場合があります。

● 「ひかりTV」の映像を録画することはできません。光デジタル音声出力端子からの録音はできない場合があります。

「ひかりTV」を楽しむ つづき

テレビサービスを楽しむ

チャンネルを選ぶ

◆順番に選ぶとき

❶ [チャンネル∧∨]を操作する

◆チャンネル番号を入力して選ぶとき

❶ [クイック]を押し、▲·▼で「CH番号入力」を選んで[決定]を押す

❷ [1]～[10](0)で3ケタのチャンネル番号を入力する

※ 入力し直すときは、◀を押してからもう一度操作してください。

◆番組表で選ぶとき

❶ [番組表]を押す

❷ ▲·▼·◀·▶で番組を選び、[決定]を押す

※ 番組表画面では、カラーボタンで以下のことができます。

- [青]
  今の時間帯の番組表が表示されます。
- [赤]
  7日先までの範囲で、指定した日時の番組表を見ることができます。
  ▲·▼で日時を選んで[決定]を押します。

音声切換をする

- 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。
- 音声多重の場合は、[音声切換](ふたの中)を押すたびに、以下のように切り換わります。



※ テレビサービスの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

- 音声多重以外に、「音声1」「音声2」などの切換えになる場合もあります。

ひかりTVの選択画面に戻るには

❶ [ブロードバンド]を押す

チャンネルなどの情報を見るには

❶ [画面表示]を押す

- 情報表示を消すには、もう一度[画面表示]を押します。

ビデオサービスを楽しむ

※ ご利用の際の宅内環境、ネットワーク環境やサービス提供者側システムの状況によっては、各操作が実行されるまでに時間がかかる場合があります。

基本操作

- 以下の操作ができます。

※ コンテンツによっては一部の操作ができない場合があります。

- [▶/可変再生] ………再生
- [❚❚]、[■] ……一時停止、停止
- [◀◀]、[▶▶] ……早戻し再生、早送り再生
- [❙◀◀]、[▶▶❙] ……前へスキップ、次へスキップ
- [»❙]、[❙«] ………ワンタッチスキップ、リプレイ

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

❶ [クイック]を押し、▲·▼で「サーチ」を選んで[決定]を押す

- 画面右上に[サーチ --:--:--]が表示されます。

❷ [1]～[10](0)で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
[10](0)[1][2][5][10](0)[5]の順に押します。

※ 入力し直すときは、◀を押してからもう一度操作してください。

※ コンテンツによってはタイムサーチができない場合があります。

音声切換をする

- 音声多重のビデオサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。
- 音声多重の場合は、[音声切換](ふたの中)を押すたびに、以下のように切り換わります。



※ ビデオサービスの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

- 音声多重以外に、「音声1」「音声2」などの切換えになる場合もあります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ [戻る]または[■]を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ [画面表示]を押す

- 情報表示を消すには、もう一度[画面表示]を押します。



- ビデオサービスを見ているときに、[◀◀]で番組の始まりまで戻った場合、冒頭付近の早戻し映像が表示されないことがあります。同様に、[▶▶]で番組の終わりまで送ったときに、末尾付近の早送り映像が表示されないことがあります。

「TSUTAYA TV」を楽しむ

TSUTAYA TVとは

● 「TSUTAYA TV」は、株式会社TSUTAYA TVが提供するテレビ向け動画配信サービスです。

TTVのサービスについて(2010年9月現在)

◆レンタル(ストリーミング)

● ハリウッドメジャースタジオからの提供による洋画タイトルや海外TVドラマをメインに、アニメや韓流ドラマなどを高画質動画でレンタル(ストリーミング)サービス提供します。

必要な準備

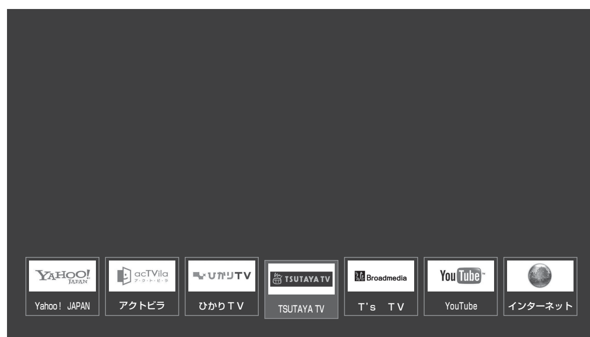
● 「インターネットに接続する」(準備編 74 ページ)の章をご覧ください。

基本操作

1 ブロードバンド を押す

● ブロードバンドメニューが表示されます。

2 ◀・▶で「TSUTAYA TV」を選び、決定 を押す



● TSUTAYA TVのトップページが表示されます。

3 項目を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

● ページの表示内容は、サービス提供者によって変更される場合があります。



4 「TSUTAYA TV」を終了するときは、終了 を押す

● 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで 決定 を押すと、「TSUTAYA TV」が終了します。

「T's TV」を楽しむ

T's TVとは

● 「T's TV」は、ブロードメディア株式会社が提供するテレビ向け動画配信サービスです。

● 映画、アニメ、ドラマ、ドキュメンタリーなどさまざまなコンテンツを視聴することができます。

※ サービス名称およびサービス内容は、予告なく変更・終了する場合があります。

T's TVのサービスについて(2010年9月現在)

◆ビデオ・オンデマンド・サービス

● 仮想的なレンタルビデオ店がテレビ画面に現れ、現実のお店でレンタルするかのように、棚から映画やドラマを選ぶことができます。

● 選んだ作品をレジに持っていくことでレンタルできるところまで、リアルに再現されています。
店内では、さまざまなアバターと出会いながら「選ぶ楽しさ」、「気になる作品を見つける楽しさ」、「思いもよらない作品に出会う楽しさ」、「作品のパッケージを見る楽しさ」など、さまざまな『楽しさ』があふれています。

● T's TVでは、一般的なDVD視聴と同様なチャプター切換え、外国語・日本語の切換え、字幕表示などの設定ができるようになっています。

必要な準備

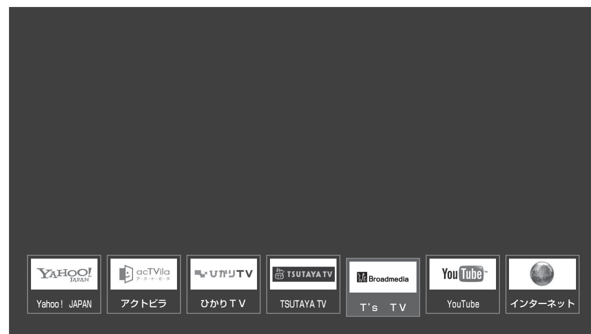
● 「インターネットに接続する」(準備編 74 ページ)の章をご覧ください。

基本操作

1 ブロードバンド を押す

● ブロードバンドメニューが表示されます。

2 ◀・▶で「T's TV」を選び、決定 を押す



3 項目を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

4 「T's TV」を終了するときは、終了 を押す

● 確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで 決定 を押すと、「T's TV」が終了します。



● 利用環境、通信環境、接続回線の混雑状況によっては、映像が乱れたり、接続できなかったりすることがあります。
● T's TVやTSUTAYA TVのサービスを録画することはできません。

「YouTube」を楽しむ

YouTubeとは

● YouTubeは、YouTube, LLCによって運営されている動画共有サービスです。

必要な準備

● 「インターネットに接続する」（準備編 74）の章をご覧ください。

お知らせとご注意

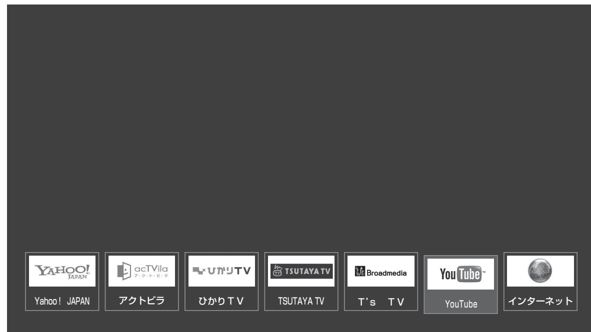
● YouTubeは、YouTube, LLCによって独自に運営されています。
● YouTubeのコンテンツには、利用者が不適切であると感じるような情報が含まれることがあります。
● YouTubeが提供するコンテンツに関して、当社は一切の責任を負いません。
● コンテンツ内容の不明点はYouTubeにお問い合わせください。
● 利用できるサービス内容や画面は予告なく変更される場合があります。
● 本機には、動画をYouTubeに投稿する機能はありません。動画の投稿にはパソコンなどをご利用ください。
● パソコンで閲覧できるYouTubeのコンテンツであっても、本機では閲覧できない場合があります。
● パソコンで操作できるYouTubeのコンテンツであっても、本機では操作ができない場合があります。
● 起動や、再生までに時間がかかる場合があります。
● 同じ音量値でも、コンテンツによっては実際の音量が大きくなる場合があります。

基本操作

1 ブロードバンド を押す

● ブロードバンドメニューが表示されます。

2 ◀·▶で「YouTube」を選び、決定 を押す



● 「インターネット制限設定」の説明画面が表示された場合は、82 の手順2の説明をご覧ください。
● 暗証番号の入力画面が表示された場合は、82 の手順3の操作をしてください。

3 見たい情報を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

● ポインターが から に変わったところで 決定 を押します。



● 閲覧制限の説明画面が表示された場合は、82 の手順4の説明をご覧ください。
● d データ を押すと「便利機能」のメニューが表示されます。薄くなって表示される項目は使用できません。

4 「YouTube」を終了するときは、終了 を押す

● 確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで 決定 を押すと、「YouTube」が終了します。

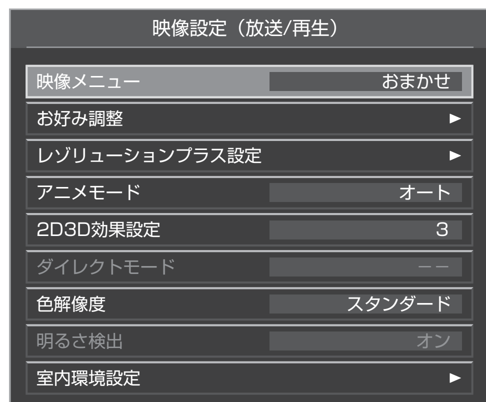


● ネットワーク環境や使用状況によっては、正しく視聴できない場合があります。
● YouTubeのコンテンツを再生しているとき、光デジタル音声出力は設定（準備編 87）にかかわらずリニアPCM信号になります。
● 「YouTube」の映像を録画することはできません。光デジタル音声出力端子からの録音はできない場合があります。

お好みの映像メニューを選ぶ

● 見る映像の種類に応じて、お好みの「映像メニュー」を選ぶことができます。

1 クイック を押、▲･▼と 決定 で「映像設定」⇨「映像メニュー」の順に進む



2 お好みの映像メニューを▲･▼で選び、決定 を押す



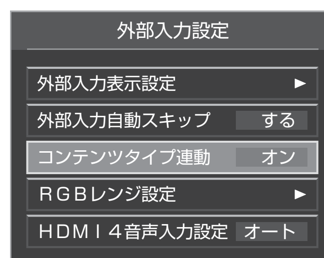
● 選択できる「映像メニュー」は、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない「映像メニュー」は表示されません。

映像メニュー	内　容
おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質で表示されます。 右記の「コンテンツタイプ連動」を「オン」に設定すれば、コンテンツ情報が取得できる外部入力の場合にそのコンテンツに適した画質で表示されます。
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむ場合に適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむ場合に適した設定です。（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
テレビプロ	暗くした部屋でテレビ番組を見る場合に適した設定です。
映画プロ	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむ場合に適した設定です。（暖かみのある色あいが再現されます）
写真	写真（JPEG画像）を表示するのに適した設定です。（写真再生のときに選択できます）
ゲーム	操作の応答性を重視した、ゲームをするのに適した設定です。モニターの入力でのみ選択できます。
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です。

「コンテンツタイプ連動」の設定を変えるとき

● コンテンツタイプ連動は、HDMI入力端子に接続された外部機器からコンテンツタイプを識別する情報が入力された場合に、そのタイプに適した映像に本機が自動設定する機能です。
● お買い上げ時、「コンテンツタイプ連動」は「オン」に設定されています。設定を変えるときは、以下の操作をします。

1 設定メニュー を（ふたの中）を押し、▲･▼と 決定 で「機能設定」⇨「外部入力設定」⇨「コンテンツタイプ連動」の順に進む



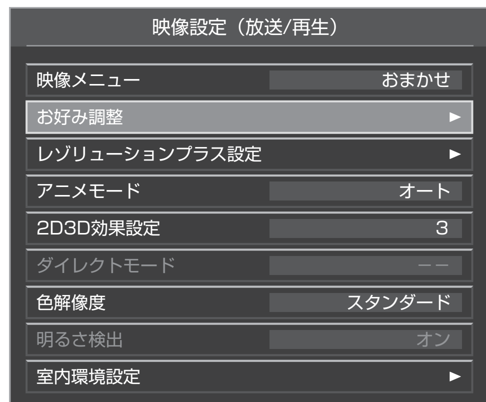
2 ▲･▼で以下の設定から選び、決定 を押す



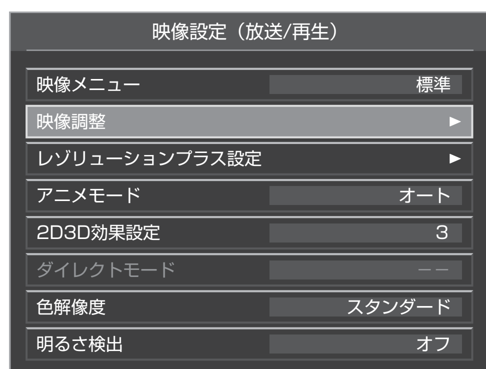
- **オン**…… 「映像メニュー」を「おまかせ」にしたときに、コンテンツタイプ連動機能が働きます。
- **オフ**…… コンテンツタイプ連動機能は働きません。

お好みの映像に調整する

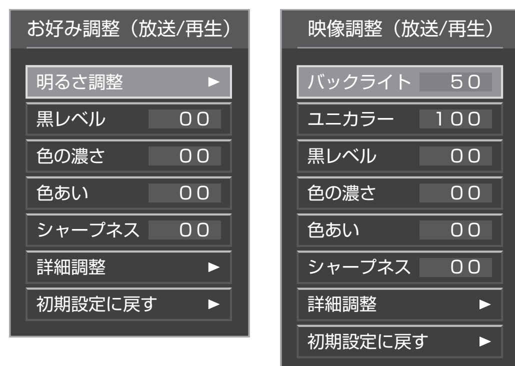
1 クイックを押し、▲·▼と決定で「映像設定」⇨「お好み調整」の順に進む



● 「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときは、「映像調整」に進みます。



2 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

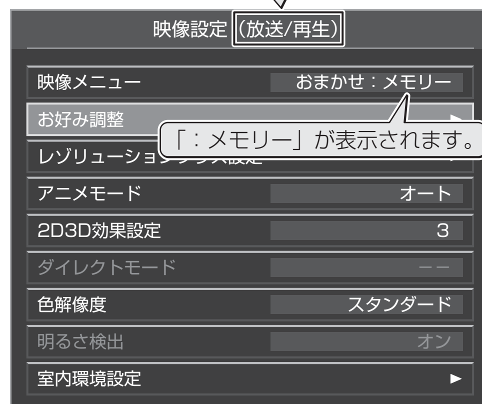


3 以降の手順（102☞ まで）でお好みの映像に調整する

● 他の項目を調整する場合は、手順**2**から繰り返します。（「バックライト」、「ユニカラー」、「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」の調整時は、決定を押す前に▲·▼を押せば調整項目を切り換えることができます）

映像を調整した場合

● 映像を調整すると、そのときに選択していた映像メニューに調整状態が記憶され、映像メニューの表示に「：メモリー」が加わります。
● 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、（放送/再生）の「おまかせ：メモリー」と（HDMI1）の「おまかせ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。



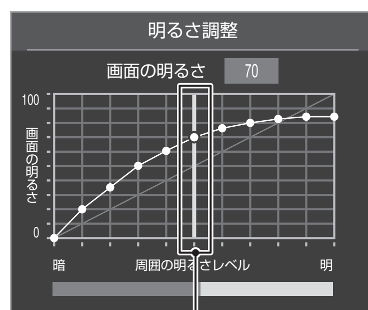
明るさ調整

● この調整項目は、映像メニューが「おまかせ」の場合や、「明るさ検出」が「オン」に設定されているときに表示されます。
● 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

❶ 決定を押す

❷ 明るさを変えたいレベルを◄·►で選び、▲·▼で明るさを調整する

● 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。
● 青を押すと、調整前のレベルに戻ります。
● 赤を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。



❸ 調整が終わったら、決定を押す



■ 「明るさ調整」について
● 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えたときには、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
● 色温度センサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。色温度センサーが正しく動作しなくなることがあります。色温度センサーの位置は9☞をご覧ください。

バックライト

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。

❶ ◀･▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。(数値が大きくなるほど画面が明るくなります)

ユニカラー

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

❶ ◀･▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「00」～「100」の範囲で調整できます。(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)

黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。

❶ ◀･▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「−50」(暗く)～「+50」(明るく)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。

❶ ◀･▶でお好みの濃さに調整し、決定を押す

- 「−50」(淡く)～「+50」(濃く)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色合いを調整します。

❶ ◀･▶でお好みの色あいに調整し、決定を押す

- 「−50」(紫を強く)～「+50」(緑を強く)の範囲で調整できます。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。

❶ ◀･▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

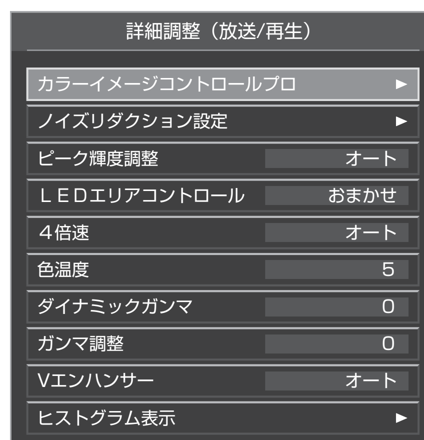
- 「−50」(やわらか)～「+50」(くっきり)の範囲で調整できます。

詳細設定

- 「詳細設定」を選択して決定を押すと、詳細設定のメニューが表示されます。

❶ 調整する項目を▲･▼で選び、決定を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



❷ 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順❶から繰り返します。

カラーイメージコントロールプロ

- 映像の色調を調整することができます。
- 「カラーイメージコントロールプロ」を選択してを押すと、「カラーイメージプロ設定」、「カラーパレットプロ調整」、「初期設定に戻す」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の手順で設定します。

カラーイメージプロ設定

- 「カラーパレットプロ調整」の機能を使う場合は「、カラーイメージプロ設定」を「オン」(お買い上げ時の設定)にします。

① ▲･▼で「カラーイメージプロ設定」を選び、決定を押す

② ▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

カラーパレットプロ調整

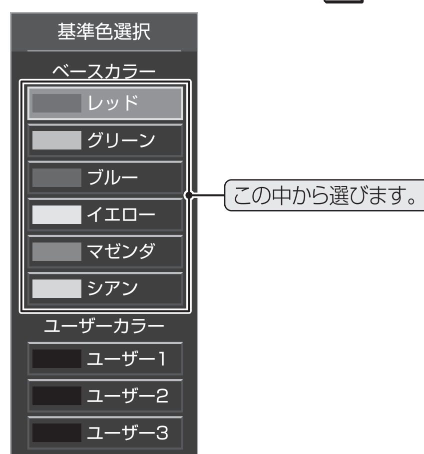
- 「カラーパレットプロ調整」には「、ベースカラー調整」と「ユーザーカラー調整」があります。
- 「カラーイメージプロ設定」が「オン」のときに調整できます。

ベースカラー

- レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに色あいや色の濃さを調整します。

① ▲･▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定を押す

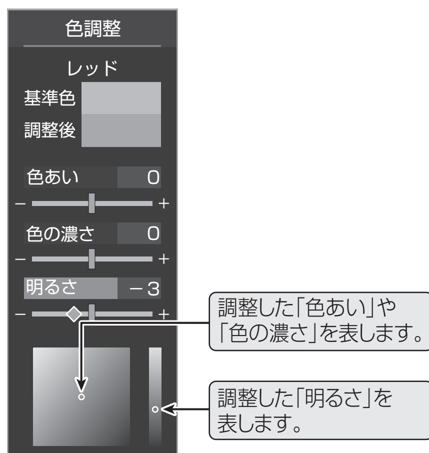
② 調整する色を▲･▼で選び、決定を押す



お好みの映像に調整する つづき

③ 青 を押して静止画にする
（もう一度 青 を押すと静止画が解除されます）
● 動画のままでも調整できますが、動きがあるとやりにくくなります。

④ ▲･▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀･▶で調整する
● 調整範囲は－30 ～＋30です。
※ 元の色（初期状態）に戻すには、 赤 を押します。



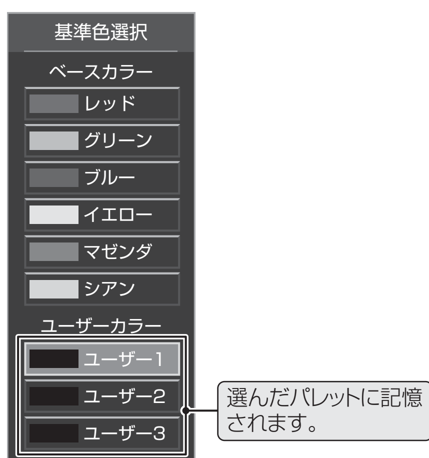
⑤ 選んだ色の調整が終わったら、 戻る を押す
● 他の色を調整する場合は、手順③から繰り返します。

ユーザーカラー

● 画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整します。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。肌色をお好みの色に調整する場合などに便利な機能です。

① ▲･▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定 を押す

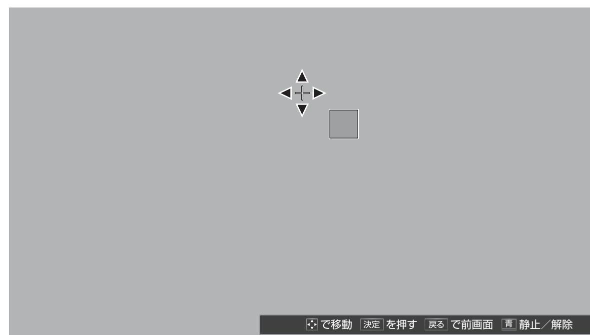
② ▲･▼でユーザーカラーのどれかを選び、決定 を押す



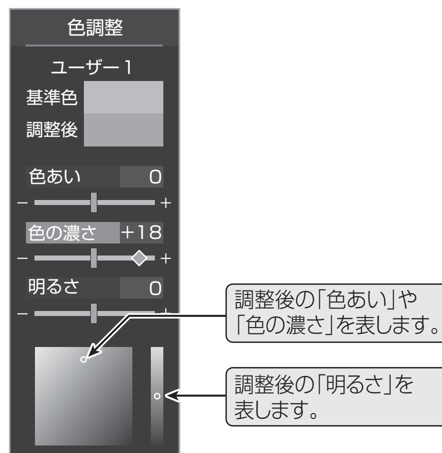
③ 青 を押して静止画にする
● 動画のままでも調整できますが、動きがあるとやりにくくなります。

④ ▲･▼で「基準色変更」を選び、決定 を押す
● カーソルが表示されます。

⑤ 調整したい色の部分まで▲･▼･◀･▶でカーソルを移動し、決定 を押す
● 画面から選択した色がパレットに登録されます。



⑥ ▲･▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀･▶で調整する
● 調整範囲は－30 ～＋30です。
※ 元の色（初期状態）に戻すには、 赤 を押します。



⑦ 調整が終わったら、 戻る を押す
● ほかのユーザーカラーを調整する場合は、手順❷ 以降を繰り返します。

初期設定に戻す

● すべての色をお買い上げ時の設定に戻します。

① ◀･▶で「はい」を選び、決定 を押す



● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、ベースカラー調整を利用して、本来の映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ノイズリダクション設定

● 画面のノイズやざらつきを減らします。
● 「ノイズリダクション設定」を選択してを押すと、「MPEG NR」と「ダイナミックNR」の選択メニューが表示されます。
- MPEG NR……デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ）を減らす機能です。
- ダイナミックNR…映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

MPEG（エムペグ） NR

① ▲·▼で「MPEG（エムペグ） NR」を選び、決定を押す

② ▲·▼で「オート」、「強」、「中」、「弱」、「オフ」からお好みの設定を選び、決定を押す

※ 強くかけると精細感をそこなう場合があります。
※ 「オート」は「映像メニュー」が「おまかせ」のときにだけ選択できます。

ダイナミックNR

① ▲·▼で「ダイナミック NR」を選び、決定を押す

② ▲·▼で「オート」、「強」、「中」、「弱」、「オフ」からお好みの設定を選び、決定を押す

※ 通常は「オート」に設定してください。強くかけると残像が目立つ場合があります。

ピーク輝度調整（55X2のみ）

● 映像の白ピーク部分の明るさ（輝き）を調整します。
● 「LEDエリアコントロール」を「オン」に設定している場合に、この調整ができます。

① ▲·▼で「オート」、「強」、「中」、「弱」、「オフ」から選び、決定を押す

● 「オート」は、「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されているときに選択できます。

LEDエリアコントロール

● 映像の明るさに応じてエリアごとにバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- オン……LEDエリアコントロールの機能が働きます。
- オフ……LEDエリアコントロールは働きません。

4倍速

● 動きの速い映像で生じるブレや、ぼやけを減らすことができます。
※ 映像によっては効果がわかりにくい場合があります。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- オート…………映像に応じて本機が自動で切り換えます。
- フィルムモード…映画などのフィルム映像が、元の映像に近い画質で再現されます。
- スムーズモード…映画などのフィルム映像が、元の映像よりもなめらかな画質で再現されます。
- オフ………………4倍速の機能は働きません。

色温度

● 画面全体の色味を調整します。

① ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
「おまかせ」	−5～+5	調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
「おまかせ」以外	0～10	

② ▲·▼で「Gドライブ」（緑）または「Bドライブ」（青）を選び、◀·▶で調整する

● 明るい部分の色温度を微調整します。
● 「おまかせ」に設定されているときは調整できません。

映像メニュー	調整範囲	
「おまかせ」	−	調整レベルの数値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
「おまかせ」以外	−15～+15	

ダイナミックガンマ

● 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

① ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
「おまかせ」	−5～+5	数値が大きくなるほどメリハリが強調されます。
「おまかせ」以外	0～10	

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
「おまかせ」	−5～+5	数値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
「おまかせ」以外		

お好みの映像に調整する つづき

Vエンハンサー

● 映像の横線の輪郭を、強調したり弱めたりすることができます。

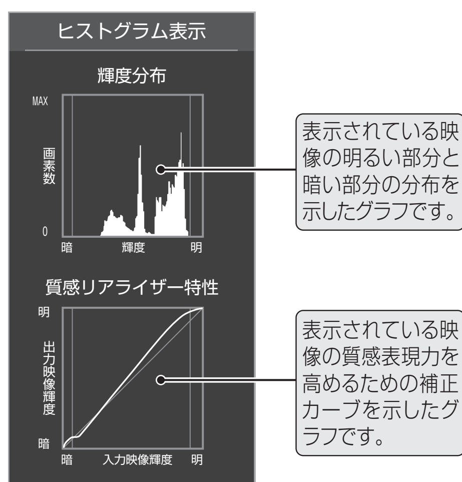
① ◀·▶で調整し、決定を押す

● 映像メニューが「おまかせ」以外のときは、▲·▼で設定を選びます。

映像メニュー	調整範囲	数値が大きくなるほど、輪郭が強調されます。
「おまかせ」	−5～+5	
「おまかせ」以外	オート/強/中/弱/オフ	

ヒストグラム表示

● 映像のヒストグラムが表示されます。
● 表示を消すには、終了を押します。



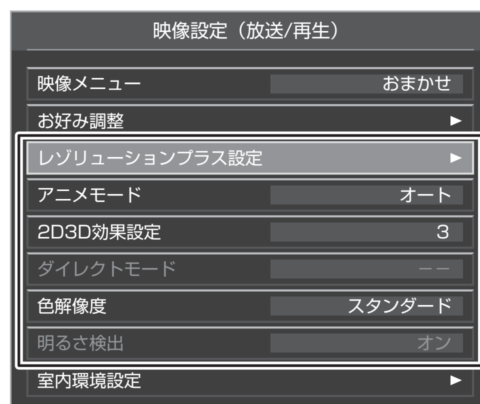
初期設定に戻す

● 「お好み調整」、「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整状態に戻します。

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

その他の映像設定

● 「映像設定」のメニューに表示されている「レゾリューションプラス設定」、「アニメモード」、「2D3D効果設定」、「ダイレクトモード」、「色解像度」、明るさ検出」は、項目を選択したあと、以降の手順で設定します。



レゾリューションプラス設定

● 緻密で精細感のある映像を表示します。
● 「レゾリューションプラス設定」を選択して決定を押すと、「レゾリューションプラス」、「レベル調整」、「カメラ撮像補正」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の手順で設定します。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

● レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「レベル調整」は機能しません。
● レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

❶ ▲·▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート** ····· レゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ** ········ レゾリューションプラスは働きません。

レベル調整

❶ ▲·▼で「レベル調整」を選び、決定を押す

❷ ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
「おまかせ」	−2～+2	
「おまかせ」以外	1～5	

カメラ撮像補正

● カメラでの実写映像を補正して精細感を高めます。

❶ ▲·▼で「カメラ撮像補正」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート** ····· カメラ実写映像が補正されます。アニメやCGなどの実写でない映像は補正されません。
- **オフ** ········ この機能は働きません。

お好みの音声メニューを選ぶ

アニメモード

● アニメ番組を視聴するときに、アニメ番組に適した画質で表示されるようになります。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オート**……本機が自動的に切り換えます。
- **オン**………アニメモードが働きます。
- **オフ**………アニメモードは働きません。

2D3D効果設定

● 2D映像（通常の映像）を3D映像（立体映像）に変換するときの効果を調整することができます。（2D3D 34）

❶ ◀·▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整範囲	
「おまかせ」	1～5	数値が大きくなるほど立体感が強くなります。
「おまかせ」以外		

ダイレクトモード

● 「映像メニュー」が「ゲーム」および「PC」のときに、映像の遅延をより抑えてゲームに適したモードにします。
● モニターの入力でのみ設定できます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**………ダイレクトモードの機能が働きます。
- **オフ**………ダイレクトモードの機能は働きません。

色解像度

● 外部入力を選択した場合に設定できます。
● 色の周波数帯域を広げ、色をきめ細かく再現することができます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **ワイド**……色の周波数帯域を広げることで、きめ細かな色が再現されます。
- **スタンダード**…色の周波数帯域を抑えることで、垂直方向の色抜けが目立たなくなります。DVD再生時に色抜けが目立つ場合に、スタンダードに設定してください。

明るさ検出

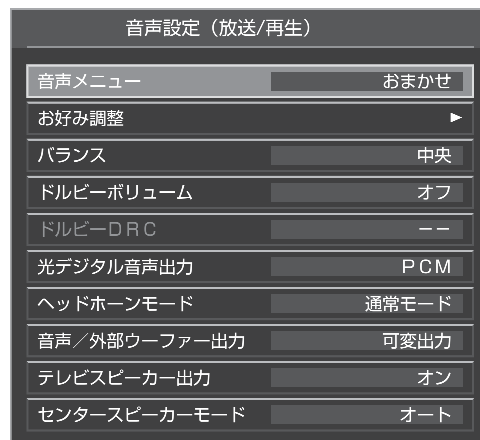
● 色温度センサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
※「映像メニュー」97が「おまかせ」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す

- **オン**………明るさ検出機能が働きます。
- **オフ**………明るさ検出機能は働きません。

● 視聴する番組などの種類に応じて、お好みの「音声メニュー」を選ぶことができます。

1 クイックを押し、▲·▼と決定で「音声設定」⇨「音声メニュー」の順に進む



2 ▲·▼でお好みの音声メニューを選び、決定を押す



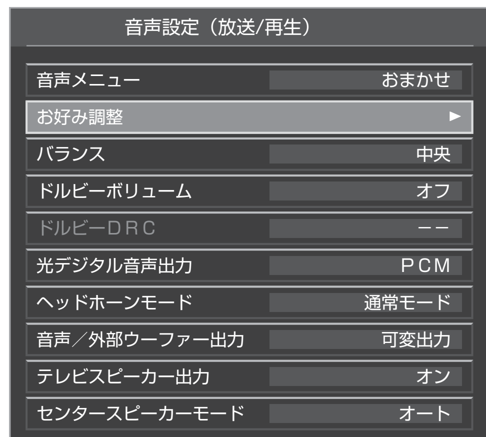
音声メニュー	内　容
おまかせ	放送番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。また、CMやシーン（音楽）を本機が検出して、音量、音質、サラウンドを自動調整します。 ※「おまかせ」は放送番組を視聴しているときに選択できます。（外部入力の視聴時は選択できません）
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむ場合に適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）
標準	ニュースや情報番組などで音声が聞き取りやすくなる設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）
映画プロ	映画を鑑賞する場合に適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）



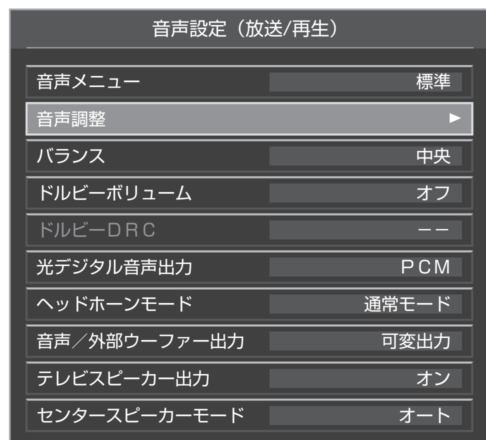
■ 音声メニューの「おまかせ」について
● CMおよびシーン（音楽）検出ならびに検出結果に基づく音質の調整は、当社が独自に開発した技術を利用しています。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。

お好みの音声に調整する

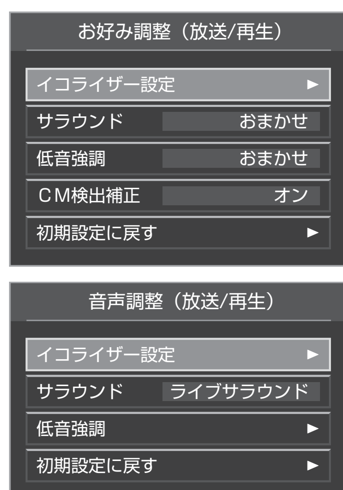
1 クイック を押し、▲･▼と 決定 で「音声設定」⇨「お好み調整」の順に進む

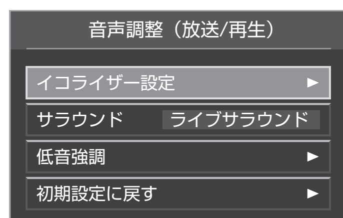


- 「音声メニュー」が「おまかせ」以外に設定されている場合は、「音声調整」を選びます。



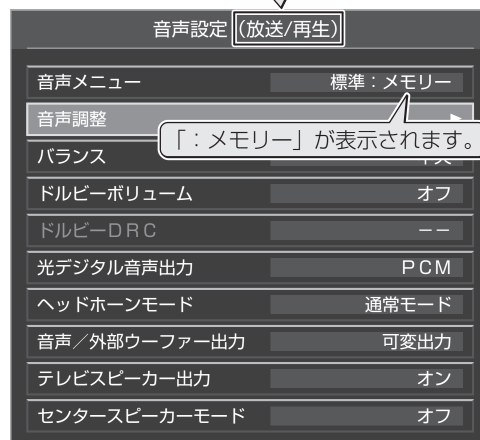
2 調整項目を▲･▼で選んで 決定 を押し、以降（次ページまで）の手順で調整する





音声を調整した場合

- 音声を調整すると、そのときに選択していた映像メニューに調整状態が記憶され、音声メニューの表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、（放送/再生）の「標準：メモリー」と（HDMI1）の「標準：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。



イコライザー設定

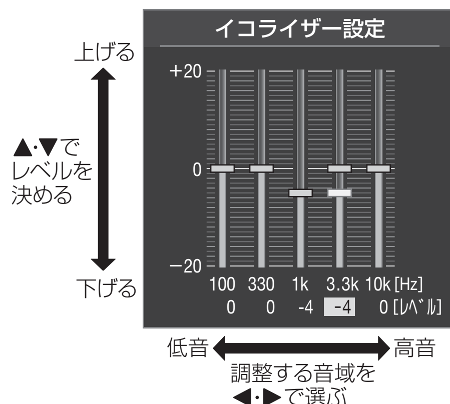
- グラフィックイコライザーで、より詳細に音質の調整をすることができます。

❶調整する音域を◄･►で選び、▲･▼でレベルを変える
- いくつもの音域を調整する場合は、この操作を繰り返します。
- 調整前の音に戻すには、 赤 を押します。

調整例① ……人の声がこもって聞き取りにくい場合は、330Hzのレベルを上げます。

調整例② ……バラエティ番組などのにぎやかな感じを抑えたい場合は、3.3kHzと1kHzのレベルを下げます。

音声メニューが「おまかせ」以外の場合（調整例②）



サラウンド

● 本機のスピーカーだけでステレオ音声の音に広がりを持たせます。
※ 音声多重放送を視聴しているときに、「主：副」を選んでいる場合は、効果が得られません。

❶ ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す
● 「音声メニュー」によって設定できる項目が異なります。

音声メニュー	設　定
「おまかせ」	「おまかせ」、「オフ」
「おまかせ」以外	「ライブサラウンド」、「シネマサラウンド」、「オフ」

- **おまかせ** ………………… 自動的に切り換わります。
- **ライブサラウンド**…… 音に広がりが出ます。
- **シネマサラウンド**…… ステレオ放送や、接続機器からのドルビーサラウンド音声に適したモードです。左右への広がりに合わせて、奥行きも加わります。
- **オフ** ……………………… サラウンド機能は働きません。

低音強調（外部ウーファー）

● 低音域の強さを細かく調整することができます。
※ 「音声/外部ウーファー出力」（準備編 88）を「外部ウーファー出力」に設定している場合は、項目の名称が変わります。
- 低音強調 → 外部ウーファー
- 低音強調周波数 → カットオフ周波数
- 低音強調レベル → ウーファーレベル

❶ ▲·▼で調整項目（「低音強調周波数」または「低音強調レベル」）を選び、決定を押す
● 「お好み調整」の場合は、この選択はありません。
● 「低音強調周波数（カットオフ周波数）」を設定する場合は、先に「低音強調レベル（ウーファーレベル）」を「オフ」以外に設定してください。

❷ ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

音声メニュー	調整項目	調整レベル
「おまかせ」	―	「おまかせ」「オフ」
「おまかせ」以外	低音強調周波数（カットオフ周波数）	「150Hz」「120Hz」「90Hz」
	低音強調レベル（ウーファーレベル）	「強」「中」「弱」「オフ」

CM検出補正

● 番組中のCMが検出できた場合に、「おまかせ」の効果を抑えて聴きやすくします。
※ 「音声メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合に設定できます。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オン**………CM検出補正機能が働きます。
- **オフ**………CM検出補正機能は働きません。

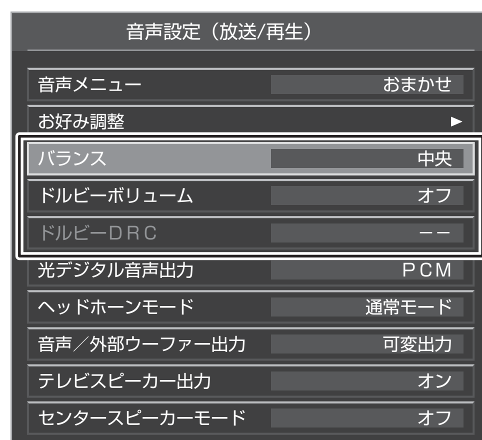
初期設定に戻す

● 「お好み調整」、「音声調整」をお買い上げ時の設定に戻します。

❶ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

その他の音声設定

● 「音声設定」のメニューに表示されている「バランス」、「ドルビーボリューム」、「ドルビー DRC」は、項目を選択したあと、以下の手順で設定します。



バランス

● 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

❶ ◀·▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

ドルビーボリューム

● 番組からCMに切り換わったときの音量差や、映像ソフト再生時の音量差が自動で調整されます。小さな音量での視聴時でも聴きやすい音声で楽しむことができます。
※ 「ドルビー DRC」を「オン」にすると、「ドルビーボリューム」は、自動的に「オフ」に切り換わります。

❶ ▲·▼で「強」、「弱」、「オフ」から選び、決定を押す

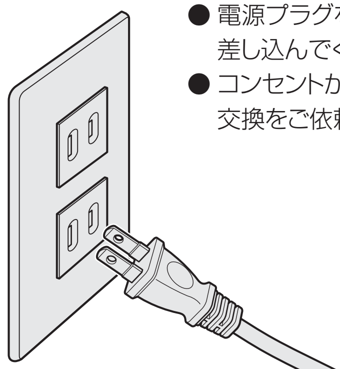
ドルビー DRC

● コンテンツなどの違いで生じる音量差を減らして聞きやすくなるように、音声レベルが自動的に補正されます。
● ドルビーデジタルで記録されたコンテンツなどを視聴する場合に使用できます。（HDMI入力端子やLAN端子に接続した機器からのコンテンツ）
※ 放送番組を視聴しているときは、効果は得られません。
※ 「ドルビーボリューム」を「オフ」以外に設定すると、「ドルビー DRC」は、自動的に「オフ」に切り換わります。
※ HDMI入力端子に接続した機器からのコンテンツを視聴するときは、ドルビーデジタルの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください。

❶ ▲·▼で以下から選び、決定を押す
- **オン**………ドルビー DRCの機能が働きます。
- **オフ**………ドルビー DRCの機能は働きません。

はじめにご確認ください

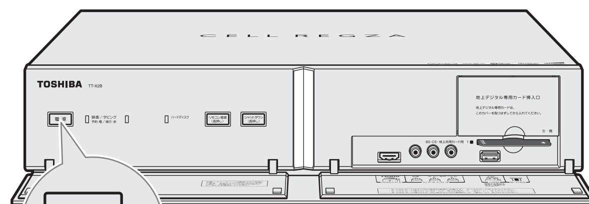
電源プラグが抜けていませんか？



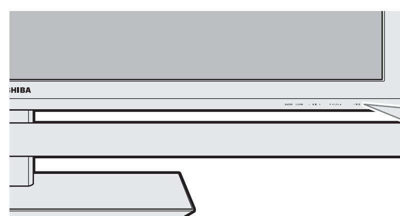
- 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
- コンセントがゆるいときは、電気店に交換をご依頼ください。

モニターの電源表示ランプが消えていませんか？

- チューナー本体の電源ボタンまたはモニターのタッチパネルで電源を入れてください。（モニターの電源表示ランプが消えているとリモコンでは操作できません）

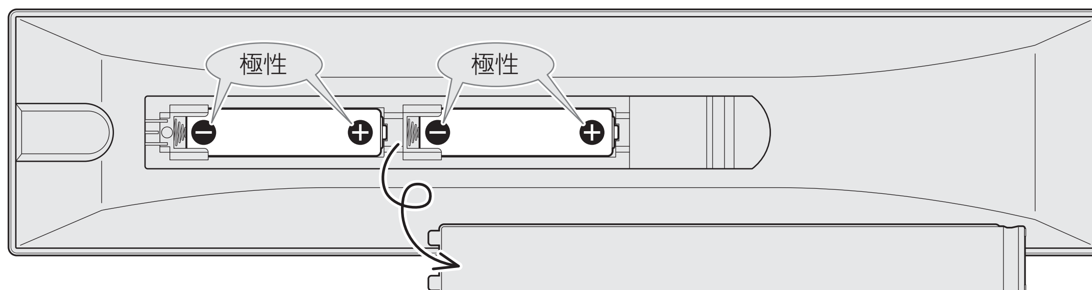


モニターの電源表示ランプが消えていたら



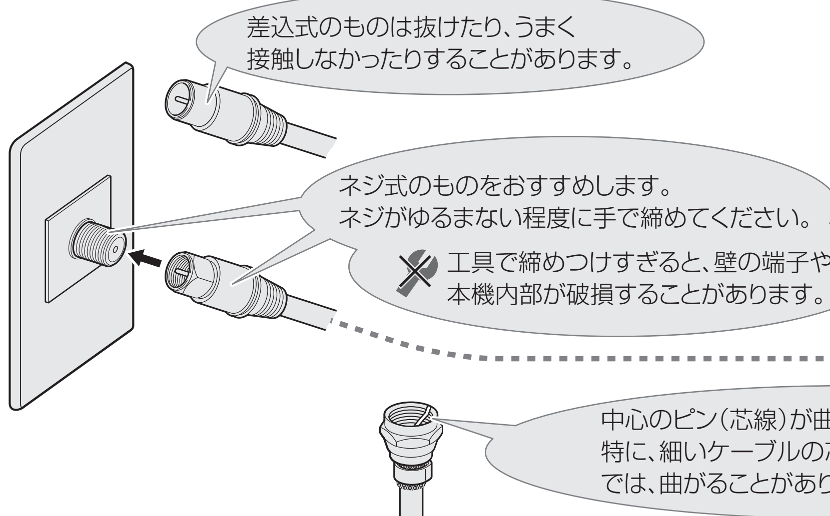
リモコン乾電池の極性（向き）は正しいですか？　乾電池が古くなっていませんか？

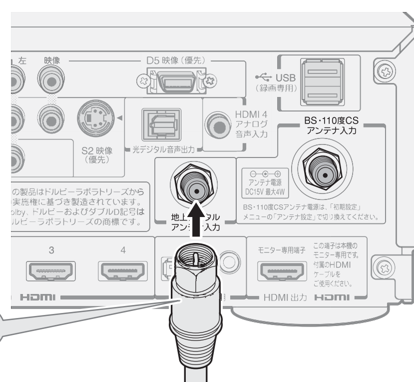
- 乾電池に表示された極性（+、−）の向きを確認してください。
- 新しい乾電池と交換してみてください。



アンテナ線のプラグがゆるんでいたり、抜けていたりしていませんか？

- 壁のアンテナ端子および本機にしっかりと接続してください。





こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

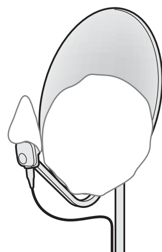
大雨が降っている



大雪が降っている



アンテナに雪が積もっている

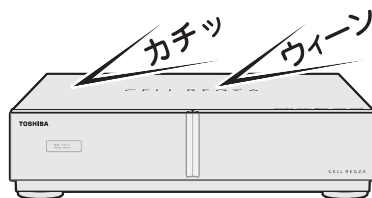


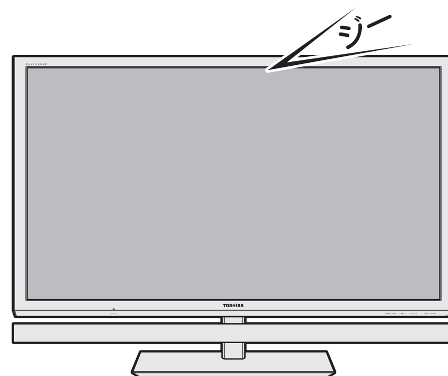
アンテナ接続か受信環境に問題があるため、ご覧になれません。
ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。
青 ボタンでアンテナレベルをご確認ください。
コード ： E202

現在放送されていません。
コード ： E203

テレビ内部からの動作音

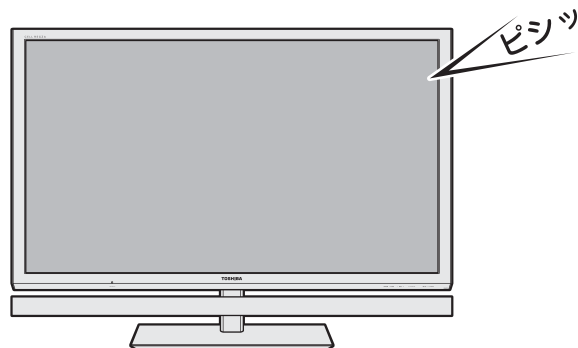
- 電源が「待機」や「切」のときに、番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 電源が「待機」や「切」のときでも、録画をしている場合にはハードディスクの動作音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえるが聞こえることがあります。





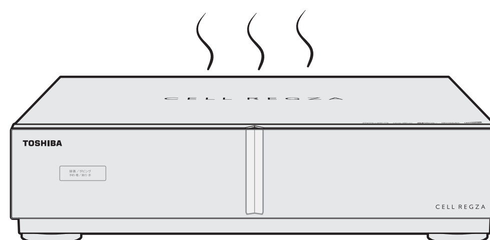
キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。



使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、録画などの動作をしているときは、本機の温度が上昇します。



症状に合わせて解決法を調べる

● テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
● 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
● 表の「ページ」の欄は関連事項が記載されているページです。準☞は、別冊「準備編」のページです。

テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする

● リモコンでもテレビ本体の操作ボタンでも操作できなくなった場合や、USBハードディスクが認識されないなどの場合は、以下の操作をしてみてください。

リセットのしかた	操作で対処するとき
● チューナーのハードディスク表示ランプが点灯しているときは、この方法ではなく、右記の操作をしてください。 ❶ チューナーの電源プラグをコンセントから抜く ❷ 1分間以上待つ ❸ 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる	❶ チューナーの電源ボタンを押し続ける ❷ 表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す ● しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。 点滅 点滅 電源 押し続ける

操作

電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
正しく接続されていますか。	• 電源プラグをコンセントに差し込みます。 • 付属のHDMIケーブルでチューナーとモニターを接続します。	– 準31☞
モニターの電源表示ランプが消えていませんか。	• チューナーの電源ボタンまたはモニターのタッチパネルで電源を入れます。 ※ モニターの電源表示ランプが消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	11☞
モニターまたはチューナーの表示ランプが赤色に点滅していますか。	• 表示ランプが赤色に点滅しているモニターまたはチューナーの電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	–

リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
リモコンを登録しましたか。	• リモコンを登録します。	準89☞
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換します。	準37☞
リモコンの乾電池の向き（+、−）が合っていますか。	• 向き（+、−）を確認し、正しく入れてください。	準37☞
近くで電子レンジなどを使用中ではありませんか。	• 使用中の電子レンジや無線装置が近くにあると、リモコンの操作ができないことがあります。	–
モニター本体のタッチパネルでは操作ができますか。	• 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。	–

映像

放送の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	• アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	準32～準36
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	• 確認して、まっすぐにします。(折らないようにご注意ください)	－
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	• アンテナ線を交換します。	－
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。(販売店にご相談ください)	－
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。 • アンテナ線を分配して接続します。	準36

接続した機器の映像が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
機器が正しく接続されていますか。	• 確認して正しく接続します。	準65～準72
機器の電源がはいっていますか。	• 機器の電源を入れます。	－
接続した機器の入力に切り換えましたか。	• リモコンの入力切換またはモニターのタッチパネルの「入力切換」を操作して、外部機器を接続した入力端子を選びます。	30

放送がきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	ページ
アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けます。(販売店にご相談ください)	－
アンテナ線に平行フィーダー線(下図)を使っていませんか。	• 同軸ケーブルに交換します。 ※ 平行フィーダー線を使用すると、自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、ヘアードライヤーなどからの妨害や、他の機器や無線局などからの電波混信の影響を受けやすくなります。	－

画面が暗い、または暗くなるときがある

確認すること	解決法・その他	ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	• 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせ」を選択してみます。 •「バックライト」や「明るさ調整」で適切な明るさに調整します。	97 98
映像メニューが「おまかせ」の場合、色温度センサーの前に障害物がありませんか。	• 色温度センサーの前から障害物を取り除きます。 ※ 映像メニューが「おまかせ」の場合は、色温度センサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。	9

色がおかしい

確認すること	解決法・その他	ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	• 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 • お好みの映像に調整することもできます。	97 98

症状に合わせて解決法を調べる つづき

音声

音声が出ない

確認すること	解決法・その他	ページ
音量が最小になっていませんか。	• ［＋音量－］で音量を上げます。	15
画面に 消音 マークが表示されていませんか。	• ［消音］を押すと消音を解除できます。 （［＋音量－］でも解除されます）	15
正しく接続されていますか。	• スピーカーケーブルのコネクターを正しく差し込みます。 • 付属のHDMIケーブルでチューナーとモニターを接続します。	準27 準31
「テレビスピーカー出力」が「オフ」に設定されていませんか。	• テレビのスピーカーで音声を聴く場合は、「テレビスピーカー出力」を「オン」に設定します。	準88
55X2の場合、「センタースピーカーモード」が「オン」に設定されていませんか。	• テレビのスピーカーをセンタースピーカーとして使用する場合は、外部の5.1chサラウンドシステムなどから音声を出してください。 • テレビのスピーカーで音声を聴く場合は、「センタースピーカーモード」を「オフ」に設定してください。	－ 準88
オーディオ機器で音声を聴くようにしている場合、接続や設定は正しいですか。	• 確認して正しく接続します。 • 確認して正しく設定します。	準67～準68 準87～準88

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
B-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送は受信できません。	準28
地上デジタル放送に適合したUHFアンテナを使用していますか。	• 地上デジタル放送に対応したアンテナに接続します。 お買い上げの販売店にご相談ください。	準32
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。 • 「地上デジタルアッテネーターレベル」の設定を変えてみてください。	準45 準46 準47
「初期スキャン」をしましたか。	• 「初期スキャン」をします。	準48
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかを、お近くの電気店などにお聞きください。 • 社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（www.dpa.or.jp/）で確認することもできます。	－
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）	－

引越しをしたら、地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	ページ
引越し後、「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」をします。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」をします。	準48

BS/110度CSデジタル放送

BS/110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	ページ
B-CASカードが正しく挿入されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか)	• B-CASカードを正しい向きで奥まで挿入します。 ※ B-CASカードを挿入しないとデジタル放送や「放送局からのお知らせ」の受信はできません。	準28
電波の種類(BS/110度CSデジタル)に適合したアンテナを使用していますか。	• 放送に対応したアンテナに接続します。 お買い上げの販売店にご相談ください。	準32
アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外では、本機のアンテナ電源供給を「供給する」に設定します。	準47
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	• 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	準36
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	• クイックメニューの「その他の操作」の「アンテナレベル」でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	準45
有料放送ではありませんか。	• 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。 ※ 同梱の「ファーストステップガイド」をご覧ください。	—
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	• 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 • ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) • BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	準34

番組表

番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
電源プラグを抜いていませんでしたか。	• 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。 • 「番組表を更新する」の操作をします。	— 19

番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	ページ
—	• 番組表のクイックメニューの「文字サイズ変更」で、文字の大きさを変更することができます。	20

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	ページ
「1チャンネル表示」にしていませんか。	• 番組表のクイックメニューで「マルチ表示」を選択します。	20
「チャンネルスキップ設定」で「スキップ」に設定していませんか。	• 「チャンネルスキップ設定」で「受信」に設定します。	準50

お知らせアイコン i が消えない

確認すること	解決法・その他	ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• クイックメニューの「お知らせ」で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、アイコンは消えません。	121

症状に合わせて解決法を調べる つづき

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

確認すること	解決法・その他	ページ
本機で接続確認済のハードディスクですか。	• 「対象機器一覧」で確認します。 ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	準112
ハードディスクが正しく接続されていますか。	• 「USBハードディスクを接続する」に従って、正しく接続します。	準55
ハードディスクの電源がはいっていますか。	• ハードディスクの電源を入れます。	–
ハードディスクを本機に登録しましたか。	• ハードディスクを本機に登録します。	準56
USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。	• 「対象機器一覧」でUSBハブが推奨機器であることを確認します。 ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクを接続する」の「お知らせ」をご覧ください。	準112 準55

録画ができない、または録画されなかった(内蔵・USBハードディスク)

確認すること	解決法・その他	ページ
ハードディスクの残量が足りていますか。	• 残量を確認する。 • 不要な番組を削除する。自動的に消す。	64 63
コピー禁止の番組ではありませんか	• 録画はできません。	–
外部機器からの映像ではありませんか。 ブロードバンドの映像ではありませんか。	• 本機は左記の番組や映像の録画には対応しておりません。	47
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	• 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ 「録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	55
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	• 「連ドラ設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード(「第○○話」や出演者名など)を削除することがポイントです。	55
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	• クイックメニューの「お知らせ」で、内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	121

録画した番組が消えた(内蔵・USBハードディスク)

確認すること	解決法・その他	ページ
「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。	• 「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 • または、消したくない番組を保護する。	準54 準57 63
録画中(前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯中)に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。	• 録画中は電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。	–

ほかのレグザで再生できない(USBハードディスク)

• USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません。
(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)

タイムシフトマシン録画・再生ができない、録画番組が消えた

確認すること	解決法・その他	ページ
「タイムシフトマシン録画」が「しない」になっていませんか。	• 確認して「する」に設定する。	準79
録画チャンネル数を変更しませんでしたか。	• 録画チャンネル数を変更すると、タイムシフト録画番組は削除されます。 ※ 設定を変更しなくても、古い番組は自動的に削除されます。	準79

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーが認識されない､再生できない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• ルーターを通して正しく設定します。	準59
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。	• ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。 ※ プライベートアドレスの範囲 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255 または、172.16.0.0 ～ 172.31.255.255 または、192.168.0.0 ～ 192.168.255.255	–
本機の通信設定および接続機器はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	•「IPアドレス自動取得」を「する」に設定します。 ※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。	準75
DLNA認定サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、通信設定のメニューで確認することができます。	– 準75
本機が再生できる種類のコンテンツですか。	• 本機で対応しているコンテンツであるか、機器の取扱説明書で確認します。	準58

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。 ※ はじめてHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、HDMI連動対応のオーディオ機器に接続した機器も含めて、すべての機器が連動しているか確認してください。	準66 準67 準70
推奨機器ですか。	•「対象機器一覧」で確認します。(最新情報はホームページ www.toshiba.co.jp/regza でお知らせしています) ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。	準112
本機と接続機器の設定は正しいですか。	• 接続機器側の連動設定を確認します。(機器の取扱説明書を参照してください) • 本機の「HDMI連動設定」を確認します。	– 準73

ブロードバンド機能

ブロードバンド機能が利用できない

確認すること	解決法・その他	ページ
プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。 • ひかりTVの場合は申込みが必要です。	– 準77
接続や設定は正しいですか。	• 確認して、正しく接続・設定します。	準74 準75
ひかりTVの場合、「IPTV設定」の「システム情報」で、「ネットワーク状態」が「接続中」になっていますか。	•「ネットワーク状態」が「未接続」の場合は、「IPTV設定」の「接続テスト」をしてみてください。	準77
ひかりTVの場合、回線終端装置の表示ランプが点灯していますか。	• 点灯していない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。	–

症状に合わせて解決法を調べる つづき

写真再生

USB機器の写真が見られない

確認すること	解決法・その他	ページ
接続は正しいですか。	• チューナー前面とびら内のUSB端子に接続します。 ※ チューナー背面のUSB端子は録画専用です。	準72
本機で再生できる写真ですか。	• 「再生できる写真」を確認します。	75
本機で使用できる機器ですか。	• 「対応できるファイルシステム」、「対応できるUSB機器の規格」を確認します。 ※ すべてのUSB機器の動作を保証することはできません。	75

USB機器の一部の写真が見られない

確認すること	解決法・その他	ページ
同じ階層内に1000以上のファイルが保存されていませんか。	• パソコンやデジタルカメラなどで不要なファイルを削除します。	–
ファイル名やフォルダ名に長い名前のものがありませんか。	• ファイル名を短くします。 ※ 見たい写真のファイル名とそのファイルが収容されているフォルダ名の合計文字数を200文字以内にします。	–

写真が表示されるのが非常に遅い

確認すること	解決法・その他	ページ
USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。(変更方法はUSB機器の取扱説明書で確認してください)	–
ファイルサイズが大きすぎませんか。	• ファイルサイズを小さくしてください。 ※ パソコンなどで加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。	–

写真リストの表示モード切換ができない

確認すること	解決法・その他	ページ
USB機器の接続設定を確認してください。	• USB機器の接続設定がPC接続モードのときに表示モード切換ができます。	–
DLNA認定サーバーを選択していませんか。	• DLNA認定サーバーを選択しているときは、表示モードの切換えはできません。	–
第1階層にDCIMフォルダはありますか。	• 第1階層にDCIMフォルダがない場合、「すべて表示」のモードには切り換えられません。	–

3D映像

3D映像(立体映像)にならない

確認すること	解決法・その他	ページ
3Dグラスの電源が切れていませんか。	• 3Dグラスの電源を入れます。 ※ テレビ本体(モニター)と3Dグラスの赤外線通信が約5分間途絶えると、3Dグラスの電源が切れます。	33
3D対応の番組やコンテンツですか。	• 番組情報やコンテンツの説明書などで確認します。	–
外部機器からの映像の場合、機器と本機の接続は正しいですか。	• 3D対応のBDプレーヤーやパソコンなどの機器を接続するときは、ハイスピードHDMI®ケーブルを使って本機のHDMI入力端子に接続します。 • 機器から3Dの再生信号が出力されるようにします。	準66 準70 –
3D映像に切り換わっていますか。	• 自動で3D表示に切り換わらない場合は、リモコンの 3D を押し、表示されるメニューから「3D」を選択します。	34
モニターの赤外線発信部の前に物を置いていませんか。	• モニターの赤外線発信部の前から障害物を取り除きます。	9
指定の3Dグラスを着用していますか。	• 指定の3Dグラス(形名：FPT-AG01(J))を着用します。	–
3Dグラスの赤外線受信部にシールなどを貼りつけていませんか。毛髪がかぶさっていませんか。	• 3Dグラスの赤外線受信部が現れるようにします。	33
左右の視力差が大きい場合や乱視の場合、視力矯正グラスなどで矯正していますか。	• 視力矯正用のコンタクトレンズまたはメガネを着用したうえで、3Dグラスを着用します。	–

3D映像が不自然に見える

確認すること	解決法・その他	ページ
3D映像の左右を入れ替えると改善される場合があります。	• クイックメニューの「その他の操作」で「3D左右映像反転」を「オン」にしてみます。	35
3D映像の方式が違っている場合があります。	• クイックメニューの「3D表示モード切換」で切り換えてみます。	34

3Dグラスの電源がはいらない

確認すること	解決法・その他	ページ
絶縁シートを抜き取りましたか。	• 3Dグラスをはじめて使うときは、電池カバー部の絶縁シートを抜き取ります。	33
電池が消耗していませんか。	• 3Dグラスの電池を交換してみます。	35

3D映像を通常の映像(2D表示)で見たい

確認すること	解決法・その他	ページ
–	• リモコンの 3D を押し、表示されるメニューから「2D」を選択します。 • 3D映像を2D表示にした場合は、必要に応じてクイックメニューの「2D表示モード切換」をします。	34

通常の映像を3D表示で見たい

確認すること	解決法・その他	ページ
–	• リモコンの 3D を押し、表示されるメニューから「2D3D」を選択します。 • 必要に応じて設定メニューの「2D3D効果設定」を変えてみます。 ※ 映像によっては3D効果が表れにくいことがあります。また、見えかたには個人差があります。	34

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。	39
「アンテナ接続か受信環境に問題があるため、ご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 青ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • BS/110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 • アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。（販売店にご相談ください） • BS/110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	準32～準36 準47
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	−
「該当するチャンネルはありません コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	−
「B-CASカード挿入口1にカードが入っていません。 BS・CS・地上共用カード(赤カード)を入れてください。	B-CASカード挿入口１にB-CASカードが挿入されていない。	B-CASカード挿入口１にBS・CS・地上共用カード(赤カード)を挿入してください。	準28
「B-CASカード挿入口Xにカードが入っていません。 地上デジタル専用カード(青カード)を入れてください。」	B-CASカード挿入口2～6のいずれかにB-CASカードが挿入されていない。	指定されたB-CASカード挿入口に地上デジタル専用カード(青カード)を挿入してください。	準28
「B-CASカード挿入口1にBS・CS・地上共用カード(赤カード)が入っていません。カードをご確認ください。」	B-CASカード挿入口１にBS・CS・地上共用カード(赤カード)以外のカードが挿入されている。	B-CASカード挿入口１にBS・CS・地上共用カード(赤カード)を挿入してください。	準28
「B-CASカード挿入口Xにカードが正しく入っていません。カードをご確認ください。」	B-CASカード挿入口Xにカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	準28

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。	接続・設定の状態を確認します。	準74 準75
	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作します。	–
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	準51
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。	準51
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	ルート証明書の有効期限が切れている。		
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。(本機の動作は正常です)	–
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。		
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	接続先の証明書が改ざんされている。		
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	認証エラーが発生した。		

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「録画機器の動作により設定できません。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	レコーダーの動作との競合(何らかの操作、動作、表示をしている)がある。	しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。	–
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。	レコーダーで予約を取り消します。	–
「指定した時刻情報では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。	指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。	–
「予約を設定しました。 予約時間に重複があります。 録画機器で設定内容をご確認ください。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。	–
「録画機器に時刻が設定されていません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。	レコーダーの時刻設定をします。	–
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。	レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。	–
	レコーダーが正しく接続されていない。	本機とレコーダーを正しく接続します。HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。	準66

エラーメッセージが表示されたとき つづき

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	–
	ハードディスクの電源が切れている。	ハードディスクの電源を入れます。	–
	ハードディスクにエラーが発生した。	ハードディスクの電源を入れ直してみます。	–
「再生できません。」	本機で対応しているフォーマットではない。	本機では再生できません。	–
「USB端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① チューナーのシャットダウンボタンを押し続けて電源を切る ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ チューナーの電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ チューナーの電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。	–

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「検索に失敗しました。」	DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	確認して、ルーターを通して正しく接続します。	準59
「機器(メディア)にアクセスできません。」	DLNA認定サーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、「通信設定」のメニューで確認できます。	– 準75
「再生できません。」	コンテンツが本機で対応しているフォーマットではない。	本機では再生できません。	–
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	• DLNA認定サーバーが起動準備中。 • DLNA認定サーバーが他の機器で使用中。	しばらくしてからやり直します。	–
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れている。	お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。	–

「インターネット」、「YouTube」に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「URLが正しくありません。」	• URLの形式が正しくない。 • URLに無効な文字が入力されている。 • サーバーが扱えるURLの上限値を超えた。	• URLの形式（http://など）を確認してください。 • URLの文字を確認してください。 • URLの文字数を減らしてください。	83
「このアドレスにはアクセスできません。 URLをご確認ください。」	DNSからサーバーのIPアドレスが見つからない。（ドメイン自体が見つからない）	• URLを確認してください。 ※ URLが正しくても、そのサイトがなくなっていることがあります。	83
「サーバーが見つかりませんでした。 URLをご確認ください。」	DNSからサーバーのIPアドレスが見つからない。（ドメインは見つかったが、サーバー自体が見つからない）		
「サーバーに接続できませんでした。 ネットワークの設定をご確認ください。」	• ケーブルが接続されていない。 • ネットワークの設定が間違っている。	• ケーブルの接続や、ネットワークの設定を確認してください。 • プロバイダから提供されている内容に設定されているか確認してください。	準74 準75 –
「接続できませんでした。 ネットワークの接続や設定をご確認ください。」	ネットワークがダウン、または、切断されている。		
「サーバーに接続できませんでした。 しばらくしてからやりなおしてください。」	サーバーやネットワークが混んでいるなどの理由で、サーバー接続中にタイムアウトが発生した。	しばらく待ってから再接続してください。 ※ そのサイトがすでになくなっていることがあります。	–
「サーバーから接続が切断されました。 再読込みをしてください。」	サーバーから接続を切断された。	再読込みをしてください。（再読込みしても同様の場合は、このページは見ることはできません）	84
「認証に失敗しました。 ユーザー名とパスワードをご確認ください。」	コンテンツのHTTPダイジェスト認証に失敗した。	認証に必要なユーザー名とパスワードを確認してください。	–
「認証に失敗しました。 ユーザー名とパスワードをご確認ください。」	プロキシ経由のコンテンツのHTTPダイジェスト認証に失敗した。		
「ページの安全性を確認できません。 サーバー認証でエラーが発生しました。 接続しますか？」	サーバーの認証エラーが発生した。	このページが安全であることを確認できませんでした。問題があるかわからない場合は、「いいえ」を選んで表示しないでください。「はい」を選んだ場合は、そのままページか表示されます。	–
「ページの安全性を確認できません。 サーバー証明書のCNがホスト名と一致しません。 接続しますか？」	サーバーの証明書がホスト名と一致しない。		
「ページの安全性を確認できません。 サーバー証明書の有効期限が切れています。 接続しますか？」	サーバーから提供された証明書の一つが有効期限切れ。		
「メモリ不足です。 他のウィンドウを閉じてからやりなおしてください。」	メモリー不足のためコンテンツの読込みや表示ができない。	• 他のタブをすべて閉じてからもう一度操作してください。 • ブロードバンド機能を一度終了してから再度起動してください。	–
「このコンテンツは再生できません。」	• Flash Pluginが対応していないコンテンツを見ようとした。	このコンテンツを見ることはできません。	–
「コンテンツの再生中にエラーが発生しました。」	• Flash Pluginの内部でエラーが発生した。	このコンテンツを見ることはできません。	–

エラーメッセージが表示されたとき つづき

「アクトビラ」、「Yahoo! JAPAN」に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	ページ
「アドレスが正しくありません。」	処理できないスキーム(ftp,mailto,fileなど)を開こうとした。	URLを確認してください。 正しいURLを入力しても同様のメッセージが表示される場合、このページを見ることはできません。	83
「サーバが見つかりません。」	HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバーが見つからない。	「通信設定」の「DNS設定」が正しく設定されているか確認してください。	準 75
「サーバからの応答に含まれている認証パラメータが正しくありません。」	認証の際にHTTPヘッダが不正である。	左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)	–
「サーバからの応答が正しくありません。 リダイレクトできません。」	リダイレクトの際にHTTPヘッダが不正である。		
「ページの安全性を確認できません。 サーバが証明書をサポートしていません。 接続しますか?」	証明書認証時にブラウザの証明DBに発行元のルートCA証明書がない。	このページが安全であることを確認できませんでした。問題があるかわからない場合は、「キャンセル」を選んで表示しないでください。「OK」を選んだ場合は、そのままページが表示されます。	–
「ページの安全性を確認できません。 ルートCA 証明書の有効期限が切れています。 接続しますか?」	ルートCA証明書の有効期限が切れている。		
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書のCNがホスト名と一致しません。 接続しますか?」	サーバ証明書のCN(一般名)がホスト名と一致しない。		
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書の有効期限が切れています。 接続しますか?」	サーバ証明書の有効期限が切れている。		
「メモリ不足のため、コンテンツを表示できませんでした。」	極度のメモリー不足状態から強制復帰した	他のウインドウを閉じてから「再読込み」をしてください。「再読込み」をしても同様のメッセージが出る場合は、このページを見ることはできません。	–
「ページがありません。」	コンテンツが見つからなかった。	このページを見ることはできません。	–

お手入れについて

ベンジン・アルコールなどは使わない

● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

キャビネットのお手入れ

● キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれたクリーニングクロスや硬い布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

画面(液晶パネル)のお手入れ

● 付属のクリーニンググロスで軽くふいてください。
※ 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。
※ アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

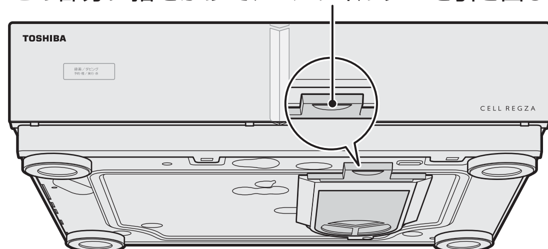
エアフィルターの清掃

● チューナー底面のエアフィルターにホコリがたまると画面にメッセージが表示されます。その場合はチューナーの電源を切り、エアフィルターを取り出して掃除機などで清掃してください。
※ エアフィルターを取りはずしたままで本機を使用しないでください。

❶ チューナーの前面側を少し持ち上げ、底面のエアフィルターを引いて取り出す

● 背面に接続しているケーブル類のプラグなどに負担がかからない程度に持ち上げてください。

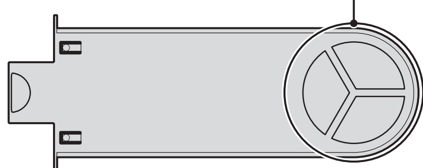
この部分に指をかけて、エアフィルターを引き出します。



❷ エアフィルターを清掃する

● エアフィルターのほこりを掃除機などでていねいに吸い取ります。

この部分を清掃します。



❸ エアフィルターをチューナー底面に取り付ける

● カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。

お知らせを見る

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
● 未読のお知らせ(「ボード」を除きます)があると、チャンネル切換時や画面表示を押したときに、画面に「お知らせアイコン」16 が表示されます。

1 クイックを押し、▲·▼で「お知らせ」を選んで決定を押す

2 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定を押す



未読のお知らせがある場合はオレンジ色で表示されます。

- **放送局からのお知らせ**……デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**……録画予約などについて本機が発行したお知らせです。
- **ボード**……110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

3 見たいお知らせを▲·▼で選び、決定を押す

「本機に関するお知らせ」を削除するには

※削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。



■ エアフィルターについて
● エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなってチューナー内部の温度が上昇し、動作停止や故障の原因となります。
● エアフィルターは最後まできちんと取り付けてください。すき間が空いていると、ほこりやごみがチューナーの内部にはいってしまいます。
● エアフィルターが傷んだときは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、新しいものと交換してください。

■ お知らせについて
●「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
●「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
●「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

B-CASカードの情報を確認する

● B-CASカードの挿入状態や、ID番号などの情報を確認することができます。

1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲·▼と決定で「初期設定」⇨「B-CASカードの確認」の順に進む

初期設定
- はじめての設定 ►
- リモコン設定 ►
- アンテナ設定 ►
- チャンネル設定 ►
- データ放送設定 ►
- 通信設定 ►
- ＩＰＴＶ設定 ►
- 地デジ機能設定 ►
- Ｂ－ＣＡＳカードの確認 ►
- ソフトウェアのダウンロード ►
- 設定の初期化 ►



2 確認するB-CASカードを▲·▼で選び、決定を押す

Ｂ－ＣＡＳカード

	状態
Ｂ－ＣＡＳ６	正常に動作しています。
Ｂ－ＣＡＳ５	正常に動作しています。
Ｂ－ＣＡＳ４	正常に動作しています。
Ｂ－ＣＡＳ３	正常に動作しています。
Ｂ－ＣＡＳ２	正常に動作しています。
Ｂ－ＣＡＳ１	正常に動作しています。

Ｂ－ＣＡＳ１►
チューナー前面



3 情報を確認したら、戻るを押す

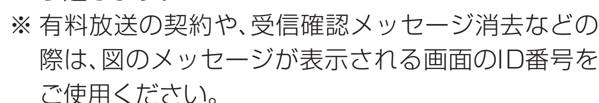
B-CASカードID番号

Ｂ－ＣＡＳカード　B-CAS1

カード識別番号	XXXX
カードID番号	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
グループID番号	

有料放送の契約や受信確認メッセージの消去の際は、このカードのID番号をご使用ください。

メッセージ



● ほかのB-CASカードを確認するには、手順**4**、**5**を繰り返します。

※ 有料放送の契約や、受信確認メッセージ消去などの際は、図のメッセージが表示される画面のID番号をご使用ください。

● B-CASカードのID番号を記入しておくと、お問い合わせの際に役立ちます。
● B-CAS-1（赤）のID番号は、有料放送のお申し込みやお問い合わせにご使用ください。

B-CAS-1（赤）																				
B-CAS-2（青）																				
B-CAS-3（青）																				
B-CAS-4（青）																				
B-CAS-5（青）																				
B-CAS-6（青）																				

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア（制御プログラム）で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
  ※ 本機の使用状態によっては自動更新ができない場合があります。また、モニターのソフトウェア更新には手作業が必要です。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページでお知らせしています。（www.toshiba.co.jp/regza/support/）
  ※ 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 何らかの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

- ダウンロードをするには、あらかじめ電源「入」の状態でBSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）

自動ダウンロードの設定をする

- お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。「ダウンロードする」のまま、お使いいただくことをおすすめします。

1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲･▼と決定で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む

2 ▲･▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す
- 青を押せば、自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。

本機がソフトウェアをダウンロードしたとき

- 本機が更新用のソフトウェアをダウンロードすると、画面に「お知らせアイコン」が表示されます。（自動更新ができた場合は、表示されないことがあります）
- 「お知らせを見る」121 の操作で内容を確認してください。（ダウンロードのお知らせは、「本機に関するお知らせ」として本機から発行されます）
- チューナーのソフトウェア更新と、モニターのソフトウェア更新の2種類の「ソフトウェア更新のお知らせ」があります。

任意ダウンロードの予約をする

- 任意でダウンロードできるソフトウェアが用意されることがあります。ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

※ ソフトウェアがない場合、メニューで「ダウンロードの予約」を選択することはできません。

1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲･▼と決定で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」⇨「ダウンロードの予約」の順に進む

2 ダウンロードの予約をする場合は、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で予約日時を選び、決定を押す

4 画面のメッセージを読み、決定を押す
- 予約できるダウンロードは一つです。

※ 予約の開始時刻の前までに電源を「待機」にしておいてください。

任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶ 上記の手順*1*～*2*の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 変更後の日時を▲･▼で選び、決定を押す
❸ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す
❹ 画面のメッセージを読み、決定を押す

※ 予約の開始時刻の前までに、電源を「待機」にしておいてください。

用語
- ■ **ダウンロード**　本書の場合は、放送波やインターネットを使ってソフトウェアを本機に転送することをさします。
- ■ **ソフトウェア**　本書の場合は、本機内部の制御プログラムをさします。

お知らせ
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。

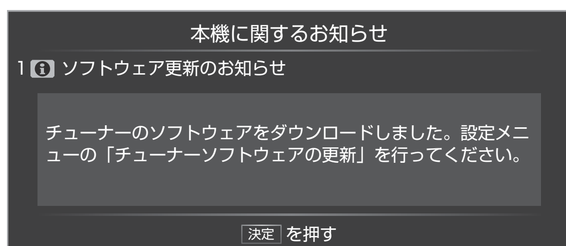
ソフトウェアを更新する つづき

任意ダウンロード予約を取り消すには

❶ 上記の手順*1*～*3*の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 予約済のダウンロード日時を▲·▼で選び、決定を押す
❸ 画面のメッセージを読み、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

チューナーのソフトウェアを更新する

● 終日タイムシフトマシン録画をしているなどでソフトウェアの自動更新ができない場合は、以下の「お知らせ」が届きます。



1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲·▼と決定で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「放送からのダウンロード」⇨「チューナーソフトウェアの更新」の順に進む

● チューナーのソフトウェアの更新が始まります。
● ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

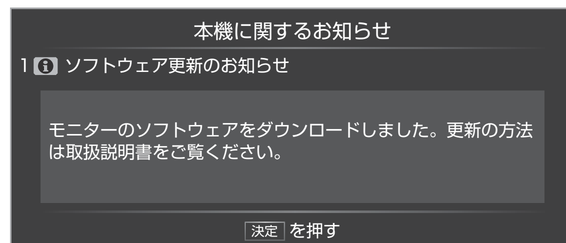
※ ソフトウェアの更新中に電源プラグを抜いたりすると、本機が使用できなくなることがあります。

2 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、決定を押す

● 本機が再起動します。
● 「モニターのソフトウェアも更新してください。」のメッセージも表示されていた場合は、右記の「モニターのソフトウェアを更新する」の操作をしてください。

モニターのソフトウェアを更新する

● モニターのソフトウェア更新には手作業が必要です。その場合は、チューナーのソフトウェア更新終了時にメッセージが表示されたり、以下のお知らせが届いたりします。



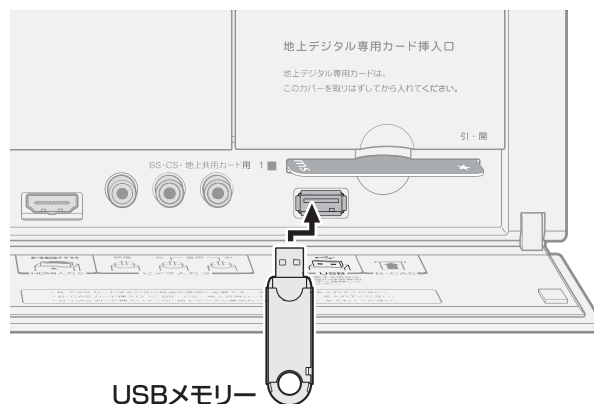
● モニターのソフトウェアを更新するにはUSBメモリーが必要です。以下のものをご用意ください。
- 機器種別　：USBマスストレージクラス対応のUSBメモリー
- 空き容量　：128MB以上
- フォーマット：FAT12/FAT16/FAT32

モニターソフトウェアを書き出す

● はじめに、チューナーがタウンロードしたモニターのソフトウェアをUSBメモリーに書き出します。

1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲·▼と決定で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「モニターソフトウェアの書出し」の順に進む

2 チューナー前面とびら内のUSB端子にUSBメモリーを挿入する



3 書出しをする場合は、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

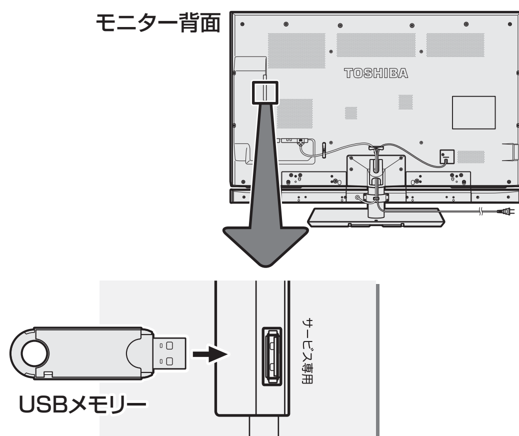
● モニターのソフトウェアの書出しが始まります。

4 「ソフトウェアの書出しを完了しました。」のメッセージが表示されたら、USBメモリーをチューナーから抜き、決定を押す

モニターにソフトウェアを書き込む

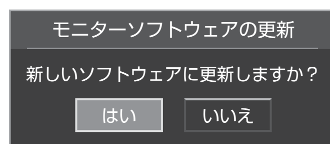
● チューナーでUSBメモリーに書き出したソフトウェアをモニターに書き込みます。

1 USBメモリーをモニターのサービス専用端子に挿入する



● 「モニターソフトウェアの更新」の画面が表示されます。

2 モニターのソフトウェアを更新する場合は、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す



3 画面の説明を読み、決定を押す

● モニターのソフトウェア更新が始まります。
● ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

※ ソフトウェアの更新中に電源プラグを抜いたりすると、本機が使用できなくなることがあります。

4 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、USBメモリーをモニターから抜き、決定を押す

● 本機が再起動します。

東芝サーバーからダウンロードする

● イーサネット通信を利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードして、本機内部のソフトウェアを更新します。
● インターネットへの接続と設定が必要です。（準備編 74 ～ 75 ）

1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲·▼と決定で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「サーバーからのダウンロード開始」の順に進む

2 ソフトウェアダウンロード確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

● ソフトウェアのダウンロードが始まります。

3 ソフトウェア更新確認画面で、◀·▶で「はい」を選んで決定を押す

● ソフトウェアの更新をしない場合は、「いいえ」を選びます。
● 「はい」を選ぶとチューナーのソフトウェア更新が始まります。
● ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

※ ソフトウェアの更新中に電源プラグを抜いたりすると、本機が使用できなくなることがあります。

4 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、決定を押す

● 本機が再起動します。
● 「モニターのソフトウェアも更新してください。」のメッセージも表示されていた場合は、前ページの「モニターのソフトウェアを更新する」の操作をしてください。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 設定メニュー（ふたの中）を押し、▲·▼と決定で「初期設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアバージョン」の順に進む

● ソフトウェアのバージョンが表示されます。



■ **東芝サーバーからのダウンロードについて**

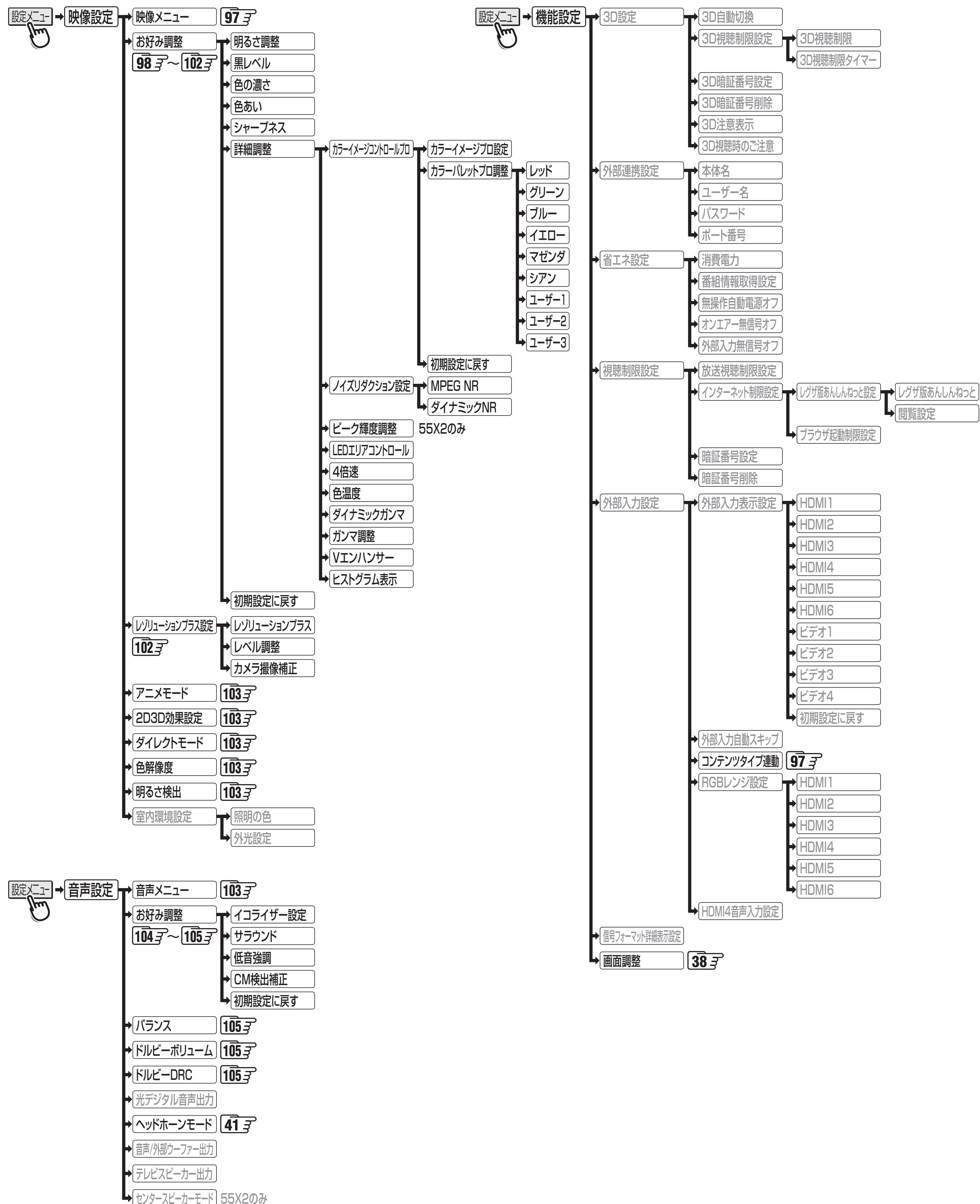
● 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

メニュー 一覧

● 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。(薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です)
「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 93 ～ 94 をご覧ください。

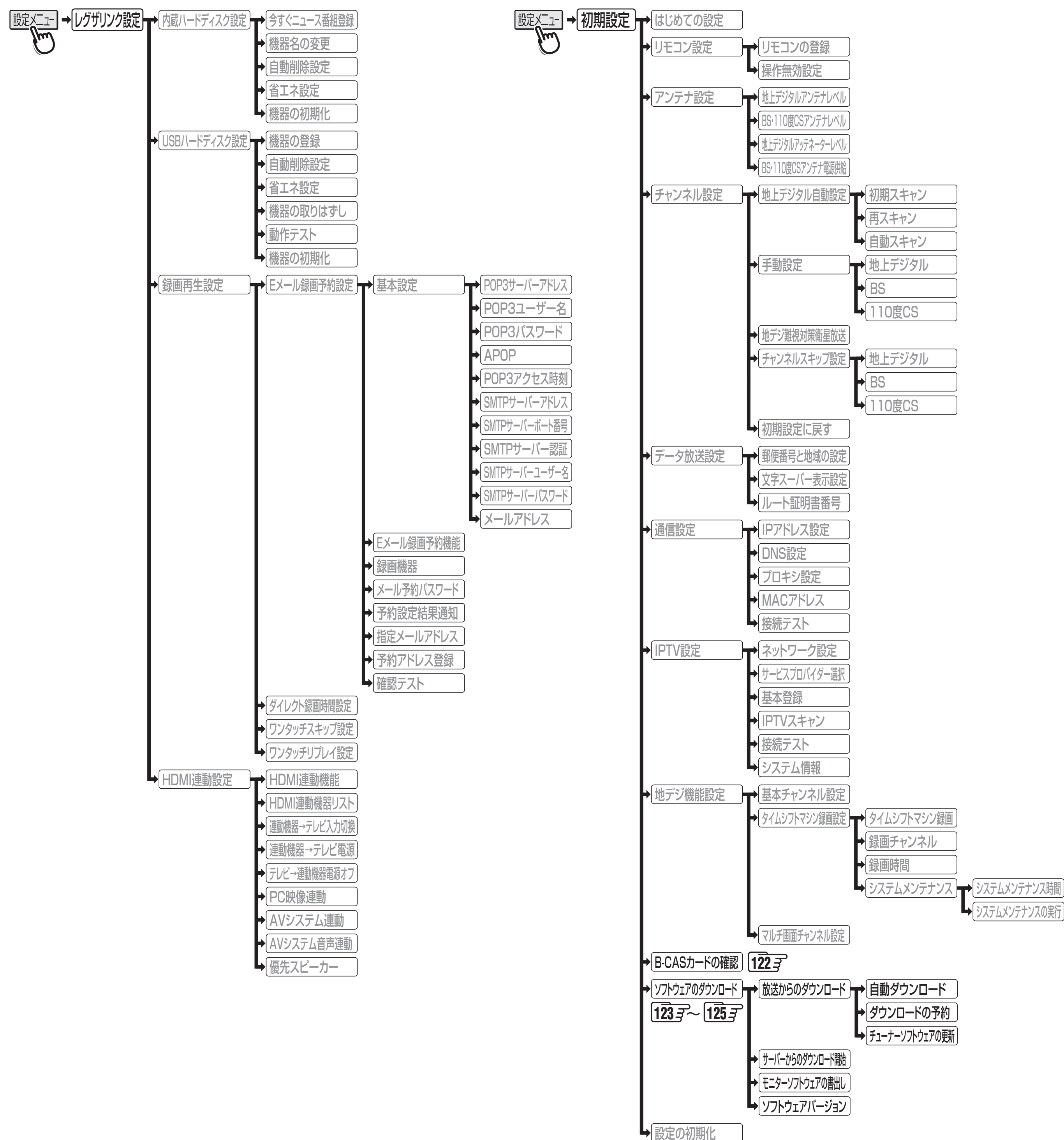
● メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。

● 以下は、「映像メニュー」、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合のメニュー 一覧です。



メニュー 一覧

その他


設定メニュー
レグザリンク設定
内蔵ハードディスク設定
今すぐニュース番組登録
機器名の変更
自動削除設定
省エネ設定
機器の初期化
USBハードディスク設定
機器の登録
自動削除設定
省エネ設定
機器の取りはずし
動作テスト
機器の初期化
録画再生設定
Eメール録画予約設定
基本設定
POP3サーバーアドレス
POP3ユーザー名
POP3パスワード
APOP
POP3アクセス時刻
SMTPサーバーアドレス
SMTPサーバーポート番号
SMTPサーバー認証
SMTPサーバーユーザー名
SMTPサーバーパスワード
メールアドレス
Eメール録画予約機能
録画機器
メール予約パスワード
予約設定結果通知
指定メールアドレス
予約アドレス登録
確認テスト
ダイレクト録画時間設定
ワンタッチスキップ設定
ワンタッチリプレイ設定
HDMI連動設定
HDMI連動機能
HDMI連動機器リスト
連動機器→テレビ入力切換
連動機器→テレビ電源
テレビ→連動機器電源オフ
PC映像連動
AVシステム連動
AVシステム音声連動
優先スピーカー
設定メニュー
初期設定
はじめての設定
リモコン設定
リモコンの登録
操作無効設定
アンテナ設定
地上デジタルアンテナレベル
BS·110度CSアンテナレベル
地上デジタルアッテネーターレベル
BS·110度CSアンテナ電源供給
チャンネル設定
地上デジタル自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
手動設定
地上デジタル
BS
110度CS
地デジ難視対策衛星放送
チャンネルスキップ設定
地上デジタル
BS
110度CS
初期設定に戻す
データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
IPTV設定
ネットワーク設定
サービスプロバイダー選択
基本登録
IPTVスキャン
接続テスト
システム情報
地デジ機能設定
基本チャンネル設定
タイムシフトマシン録画設定
タイムシフトマシン録画
録画チャンネル
録画時間
システムメンテナンス
システムメンテナンス時間
システムメンテナンスの実行
マルチ画面チャンネル設定
B-CASカードの確認
122
ソフトウェアのダウンロード
123～125
放送からのダウンロード
自動ダウンロード
ダウンロードの予約
チューナーソフトウェアの更新
サーバーからのダウンロード開始
モニターソフトウェアの書出し
ソフトウェアバージョン
設定の初期化

メニュー一覧

その他

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	MV	マルチビューサービス（複数の映像・音声があり、映像・音声が連動して切り換わる番組）
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
16：9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
4：3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD	デジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送	SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
二重音声	二重音声放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
字	字幕放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です	ダビング	録画可能回数が制限されている番組の場合
	未読の「おしらせ」	デジタルコピー¥	デジタル録画できない番組の場合
	録画予約	光デジタルコピー可	光デジタル録音できます
	録画中	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音できます
	通常録画番組	光デジタルコピー¥	光デジタル録音できません
	タイムシフトマシン録画番組	光デジタルコピーX	光デジタル録音できません
	非リンク型サービス（通信番組）17	デジタルコピー可	デジタル録画できます
	SSLなどの暗号通信をしている場合17		

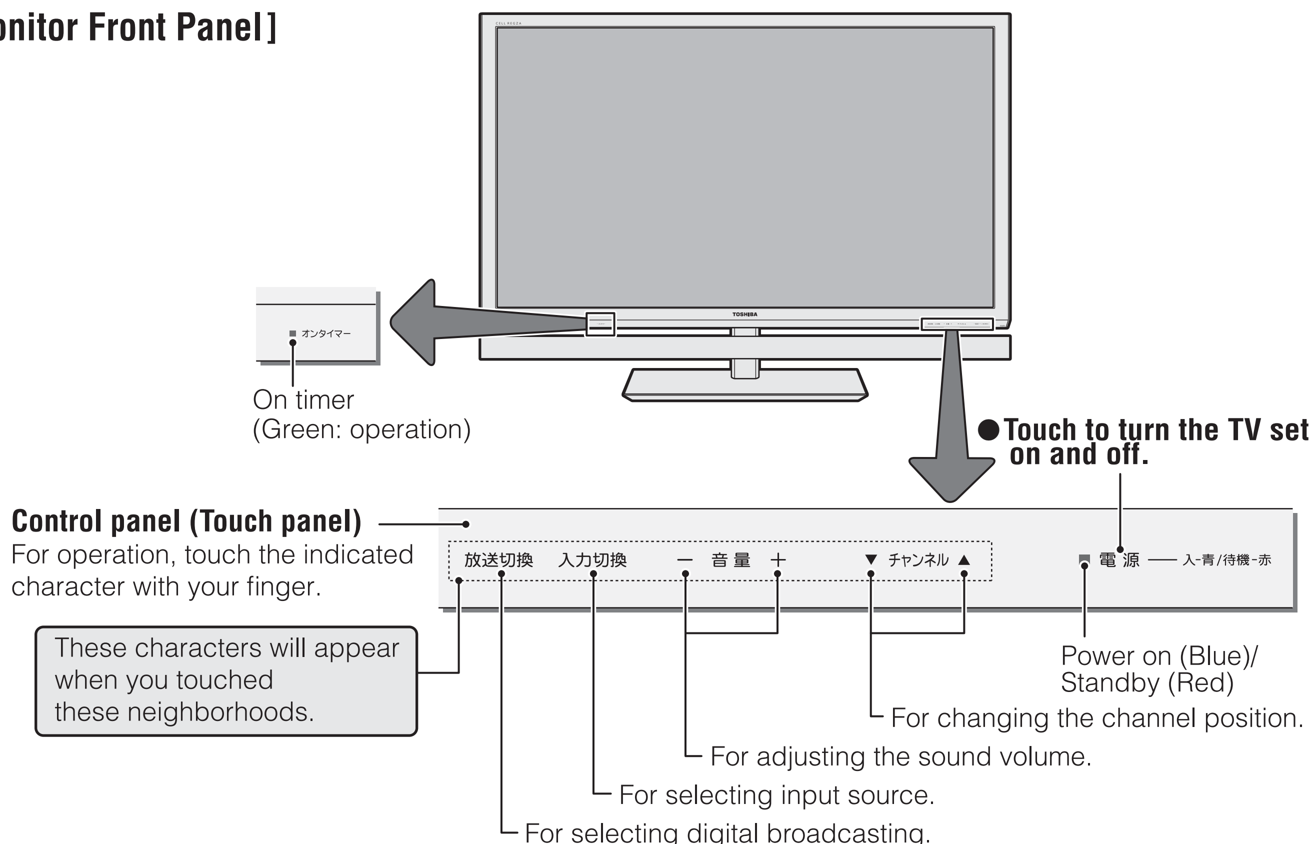
本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されることがあり、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されなかったりすることがあります。その場合は下表に示されている入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- リフレッシュレートが24/70/72/75Hzの信号は60Hzに変換して表示されます。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

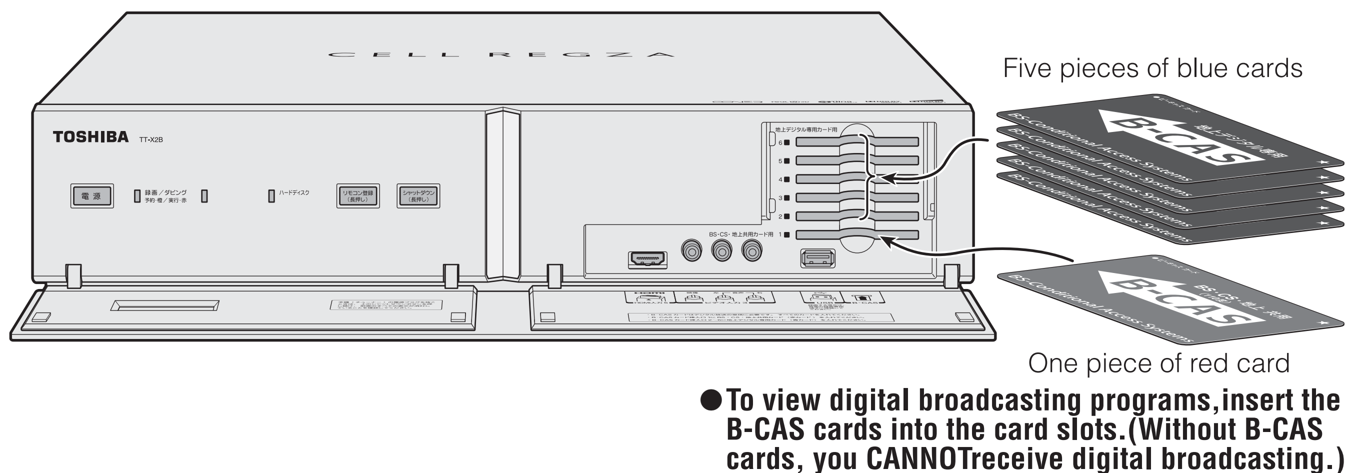
フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレートまたは垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

Basic Operations

[Monitor Front Panel]

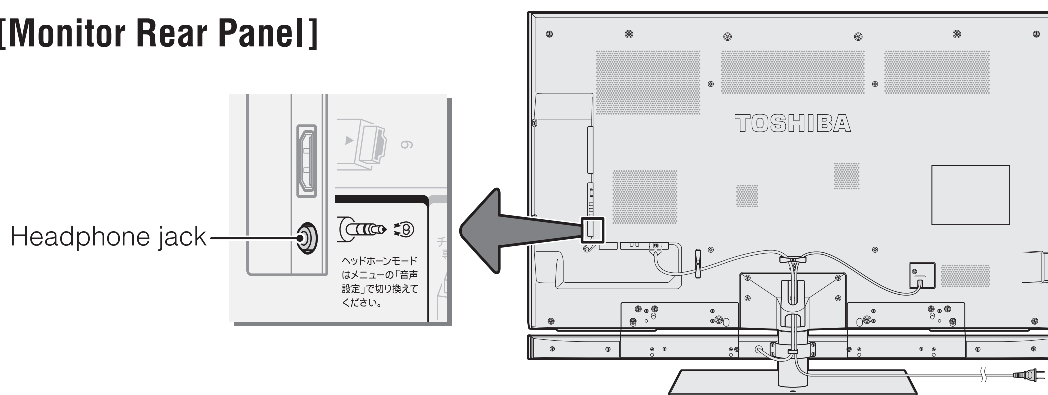


[Tuner Front Panel]



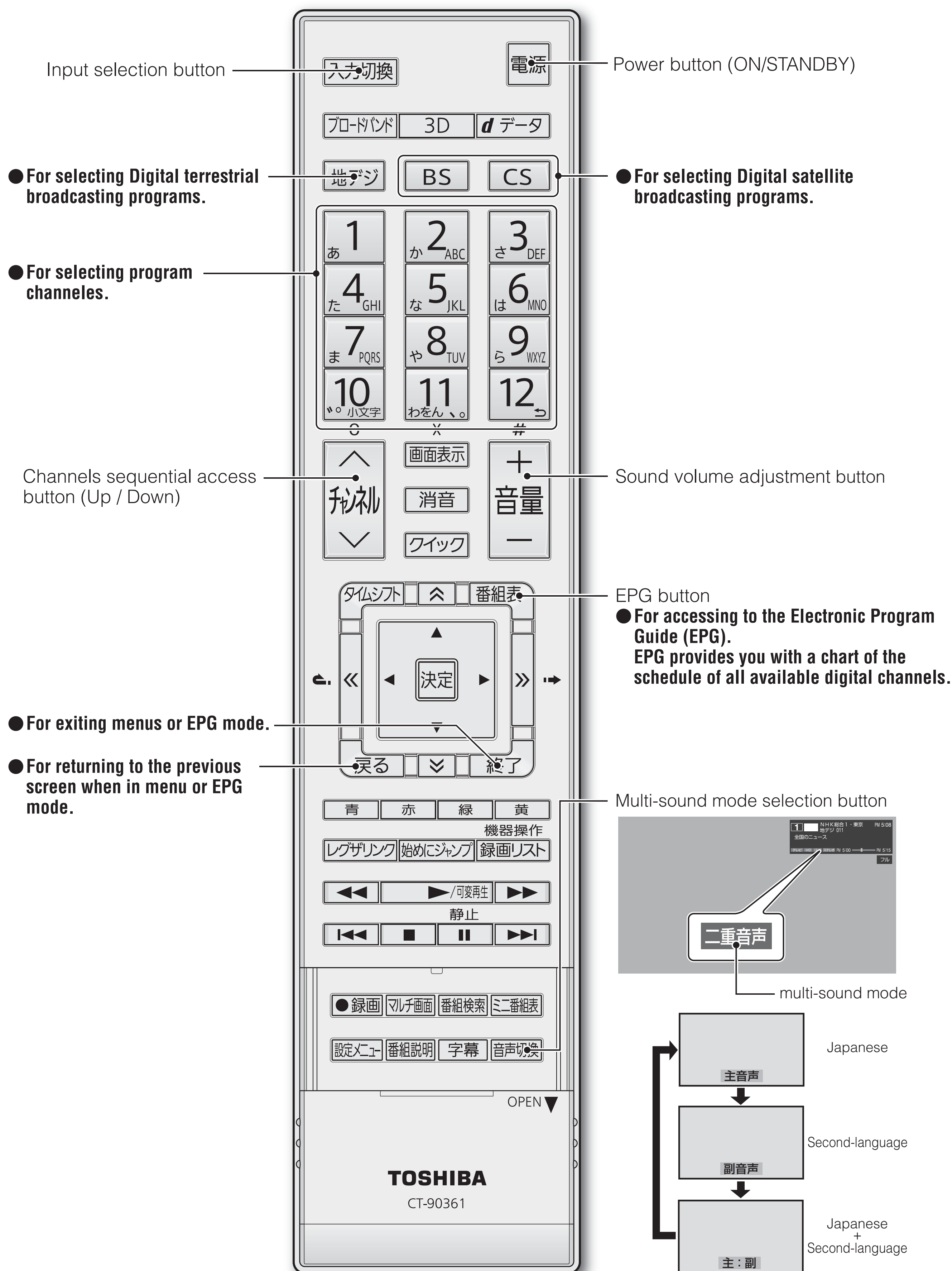
● **To view digital broadcasting programs,insert the B-CAS cards into the card slots.(Without B-CAS cards, you CANNOTreceive digital broadcasting.)**

[Monitor Rear Panel]



● For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[Remote controller]



仕様

共通

種類		ハードディスク内蔵　地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名		46XE2 ／ 55XE2 ／ 55X2
電源		AC 100V 50/60Hz共用
受信チャンネル		地上デジタル：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） BSデジタル：BS000～BS999、110度CSデジタル：CS000～CS999
入力・出力端子	ビデオ入力1～4	D5映像※1：Y:1V(p-p)、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7V(p-p)、14ピン、1.27mmピッチ S2映像※2：Y入力：1V(p-p)、75Ω、同期負、C入力：0.286V(p-p)（バースト信号）、75Ω 映像：1V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック 音声：200mV(rms)、22kΩ以上、ピンジャック
	HDMI 1～6	HDMI 1～6（DeepColor, Lip Sync、ARC※3） HDMI 4アナログ音声入力：200mV(rms)、22kΩ以上、口径3.5mmステレオミニジャック
	USB（録画専用）端子	USB2.0
	USB端子	USB2.0
	光デジタル音声出力	トスリンク
	音声出力（固定）	200mV(rms)、2.2kΩ以下、ピンジャック
	音声／外部ウーファー出力(可変)	200mV(rms)、2.2kΩ以下、ピンジャック
	センター入力（55X2のみ）	200mV(rms)、22kΩ以上、ピンジャック
	LAN端子	RJ-45
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω
使用環境条件		使用周囲温度：0℃～35℃、使用周囲湿度：20%～80%（結露のないこと）
付属品		「付属品を確認する」（準備編 6 ）をご覧ください。

※1：D5映像端子はビデオ入力1、ビデオ入力4のみ対応しています。
※2：S2映像端子はビデオ入力2のみ対応しています。
※3：ARC機能はHDMI入力1端子のみ対応しています。

機種別・部分別

		モニター部			チューナー部
		46XE2	55XE2	55X2	
消費電力		173W 電源「待機」時0.15W 電源「切」時0.11W	194W 電源「待機」時0.17W 電源「切」時0.10W	252W 電源「待機」時0.15W 電源「切」時0.10W	146W 電源「待機」時0.3W （機能動作時は122W）※4
区分名（チューナー部含む）		DH2（FHD、液晶4倍速、付加機能数2）	DH2（FHD、液晶4倍速、付加機能数2）	DH2（FHD、液晶4倍速、付加機能数2）	
年間消費電力量［標準］時（チューナー部含む）		419kW/年	424kW/年	465kW/年	
受信機型サイズ		46V	55V	55V	
外形寸法 幅×高さ×奥行き	本体のみ	110.0×65.7×2.9 cm	129.2×76.6×2.9 cm	129.2×76.6×5.0 cm	43.6×10.9×39.9 cm
	スピーカー付	110.0×73.1×4.8 cm	129.2×84.0×4.8 cm	129.2×85.0×6.5 cm	
	スタンド・スピーカー付	110.0×79.3×28.8 cm	129.2×91.6×35.5 cm	129.2×91.6×35.5 cm	
質量	本体のみ	15.9kg	21.4kg	27.4kg	9.5kg
	スピーカー付	18.2kg	23.9kg	30.9kg	
	スタンド・スピーカー付	21.5kg	29.0kg	36.0kg	
スピーカー		ツイーター：2cm丸型2個 ウーファー：4×11cm 4個	ツイーター：2cm丸型2個 ウーファー：4×11cm 4個	ツイーター：3cm丸型3個 ウーファー：5×11cm 4個	
音声出力		ツイーター：12W（JEITA） ウーファー：18W（JEITA）	ツイーター：14W（JEITA） ウーファー：26W（JEITA）	センターツイーター：20W（JEITA） ツイーター：40W（JEITA） ウーファー：60W（JEITA）	
液晶画面	画面寸法 幅×高さ／対角	101.8×57.3／116.8 cm	121.0×68.0／138.8 cm	121.0×68.0／138.8 cm	
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス			
	画素数	水平1920×垂直1080			

※4：電源「待機」時に以下の動作をしているときの消費電力です。
- 内蔵ハードディスクで録画しているとき（タイムシフトマシン録画、今すぐニュース自動録画、予約録画）
- 番組情報などを取得しているとき
- 「Eメール録画予約設定」の「POP3アクセス時刻」で設定した時刻に、メールサーバーにアクセスしているとき

ブラウザの仕様（Yahoo! JAPAN、アクトビラ）

記述言語	HTML4.01, XHTML1.1, XHTML Basic
動作記述言語	ECMAScript（ECMA-262 3rd Edition）
DOM	DOM1.0, DOM2.0
スタイルシート	CSS1.0, CSS2.0
セキュア通信	SSL2.0, SSL3.0, TLS1.0
プラグイン	なし

3Dグラス（付属品）

3D方式	液晶シャッター方式
外形寸法	幅：181mm、高さ：46mm、奥行：171mm
質量	約61g（電池を含む）
使用温度範囲	0℃～40℃
材質	フレーム：樹脂、レンズ部：液晶ガラス
使用電池	CR2032
電池動作時間	連続で約75時間（電池の状態や使用環境によっては動作時間が短くなることがあります）

このシンボルマークはヨーロッパ連合内でのみ有効です。

このシンボルマークは中国国内でのみ有効です。

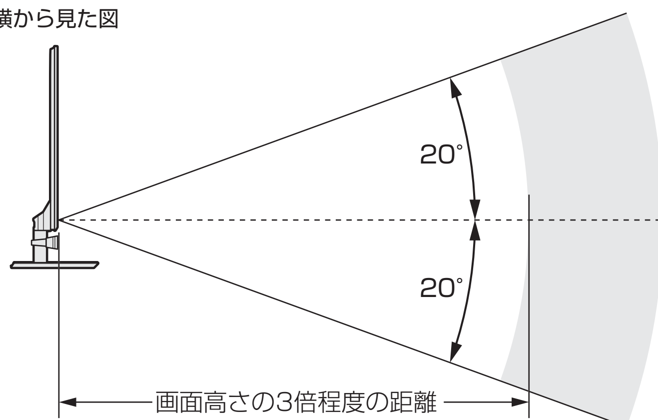
3Dグラス動作対応範囲

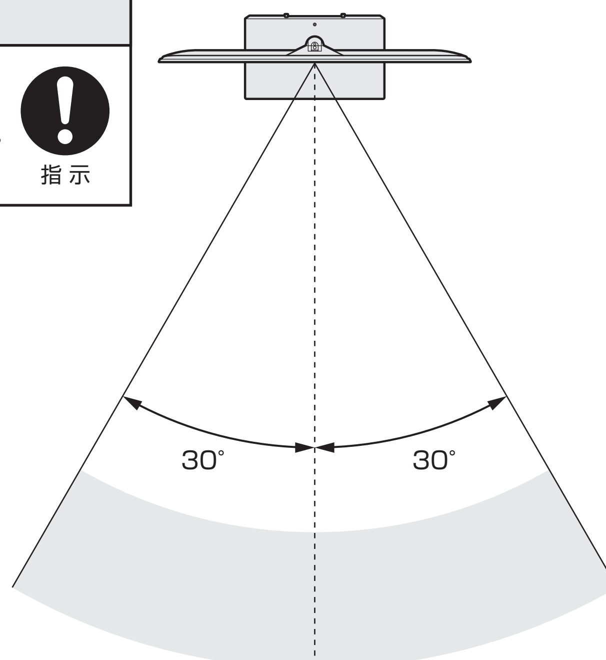
⚠注意

■ 画面（映像）の高さの3倍程度の距離で視聴する

近づいて視聴すると、目の疲れや視覚異常の原因となることがあります。

指示





仕様

その他

仕様 つづき

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ（46Ｖなど）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、1年間に使用する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」 - JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)



詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

ライセンスおよび商標などについて

- DOLBY DIGITAL / DOLBY VOLUME　この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ACCESS NetFront　本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- OPERA software　本製品はOPERA Software ASAの開発したOperaプラウザを搭載してます。OperaはOpera Software ASAの商標または登録商標です。Operaに関する詳細についてはhttp://www.opera.comをご覧ください
- SDHCロゴは商標です。
- CONEQ™　この製品はReal Sound Lab, SIAからの実施権に基づき製造されています。CONEQは、Real Sound Lab, SIA の商標です。CONEQ™は、スピーカの音響パワー周波数特性を補正すると同時に、タイムアライメントと位相を正確に合わせます。CONEQで補正されたスピーカシステムからは、限りなく原音に近い高音質が得られるばかりでなく、自然な音の広がりと奥行、それに明瞭度の高い音声が再生されます。
- DLNA®, DLNA認定ロゴはDigital Living Network Allianceの登録商標あるいは認定マークです。
- HDMI、MDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。
- トスリンクは東芝の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems Incorporatedが開発したAdobe® Flash® player テクノロジーを搭載しています。Adobe、FlashはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の登録商標です。
- テレビサーフモバイルサービスは株式会社東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
- iモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- EZwebはKDDI株式会社の商標です。
- Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品にはPPXP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**
  THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP//WWW.MPEGLA.COM
- **MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE**
  THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD (“MPEG-4 VIDEO”) AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM
- **PATENT LICENSE AGREEMENT mp3 Codec**
  MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer LLS and Thomson.
- Portions of this software are copyright © 2008 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by the Computer Systems Laboratory at the University of Utah.

さくいん

番号

B

C

D

E

H

L

P

S

T

U

V

Y

あ

い

う

え

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

り

れ

ろ

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

www.toshiba.co.jp/regza

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00~20:00

メモ 形名		製造番号	

形名と製造番号は、保証書およびモニター背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、

03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル **0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）

03-3258-0470

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、上記の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードおよび、リモコンと3Dグラスの電池は保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

● 106ページ以降に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	ハードディスク内蔵 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	46XE2、55XE2、55X2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　ー

廃棄時にご注意願います

● 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？

● 電源を入れても映像や音が出ない。
● 映像が時々、消えることがある。
● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
● 電源を切っても、映像や音が消えない。
● 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止 このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。



● 有機物質を含む廃液が少ない水なし印刷方式で作成しました。



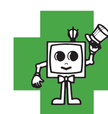
● この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

株式会社 **東芝**

ビジュアルプロダクツ社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。



ちょっとした心づかいでテレビの安全

(TD/T2)　VX1A00182000